

[illegible]

⑤

建具改修工事〔5章〕

1.改修工法の適用
[5.1.3～5.7]

2.性能及び構造
[5.2.2]

3.材料
[5.2.3]

4.形状及び仕上げ
[5.2.4]

5.工法 [5.2.5]

⑥障子取り外し方式

7.性能及び構造
[5.4.2]

8.形状及び仕上げ
[5.4.4]
[表5.4.2]

9.性能及び構造
[5.5.2]

10.材料
[5.5.3]

11.形状及び仕上げ
[5.5.4]

12.性能及び構造
[5.6.2]

13.材料
[5.6.3]

14.形状及び仕上げ
[5.6.4]

15.工法 [5.6.5]

16.材料
[5.7.2]

14.形状及び仕上げ
[5.7.3]

15.工法 [5.7.4]

16.材質、形状及び寸法
[5.8.2]

17.取付け施工
[5.8.3]

18.鍵
[5.8.4]

(1節 共通事項)

建具の種類	工 法	備 考
・アルミニウム製建具	・かぶせ工法 ・撤去工法	
・鋼製建具	・外部 ・かぶせ工法 ・撤去工法 ・内部 ・かぶせ工法 ・撤去工法	
・鋼製軽量建具	・かぶせ工法 ・撤去工法	
・ステンレス製建具	・かぶせ工法 ・撤去工法	

新規建具を設ける壁の開口方法、周囲の補修方法・範囲 ※図面図示による
防火戸の指定、「防犯建物部品」の適用 ※図面図示による
建具見本の製作 ・行う ※行わない
特殊建具の仮組 ・行う ・行わない

(2節 アルミニウム製建具)

外部に面する建具

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の厚み寸法 (mm)
・A種	S－4	A－3	W－4	※70 ・100
・B種	S－5			
・C種	S－6	A－4	W－5	※100 ・()

防音ドアセット、防音サッシ ・適用する(等級) ・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する(等級) ・適用しない
耐震ドアセット ・適用する(面内変形追随性等級) ・適用しない

網戸 ※合成樹脂製(線径0.25mm以上、網目16～18mm)
・ガラス繊維入り合成樹脂製(線径・網目)
・ステンレス製(SUS316)(線径・網目)

表面処理 外部 ・BB-1種 ・()
内部 ・AC-1種 ・()
色調 ※シルバー色
結露水処理 ※図面図示による
水切り板、ぜん板等 ※図面図示による

※内はずし ・外はずし ・図示
学校施設については、内はずしを標準とする。

(4節 鋼製建具)

外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6
簡易気密型ドアセット ※適用する(A-3、W-1) ・適用しない
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する(等級) ・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する(等級) ・適用しない
耐震ドアセット ・適用する(面内変形追随性等級) ・適用しない

鋼板類の厚さ ※表5.4.2による ・図面図示による
(注) 片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm
又は有効高さが2,400mmを超える場合は表16.4.2は適用しない。

(5節 鋼製軽量建具)

簡易気密型ドアセット ※適用する(等級：A－3) ・適用しない
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する(等級) ・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する(等級) ・適用しない
耐震ドアセット ・適用する(面内変形追随性等級) ・適用しない

鋼板	めっき付着量
・溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G3302)	※Z06又はF06 ・()
・電気亜鉛めっき鋼板(JIS G3313)	※E24 ・()
・ビニル被覆鋼板(JIS K6744) ・SG ・SE	・Z06又はF06 ・E24
・カラー鋼板 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板	※Z06又はF06 ・()
・電気亜鉛めっき鋼板	※E24 ・()

・召合せ、縦小口包み板等の材質
※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出材形

鋼板類の厚さ ※表5.5.1による ・図面図示による
(注) 片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm
又は有効高さが2,400mmを超える場合は表16.5.1は適用しない。

(6節 ステンレス製建具)

外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6
簡易気密型ドアセット ※適用する(A-3、W-1) ・適用しない
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する(等級) ・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する(等級) ・適用しない
耐震ドアセット ・適用する(面内変形追随性等級) ・適用しない

材質 屋外 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ・()
屋内 ※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ・()

表面仕上げ ※HL ・()

曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

(7節 木製建具)

含水率 ※A種 ・B種

・図面図示による。

ふすま 縁仕上げ ・図面図示による

(8節 建具用金物)

金物の種類及び見え掛り部の材質 ※図面図示する ・表5.8.1
樹脂製建具金物に使用する丁番 ※表5.8.3による

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置
※図面図示による

・マスターキー ※製作する ・製作しない ・既存に合わせる
・鍵の本数 ※3本1組 ・()
・鍵箱(既製品) ・用意する ・用意しない

19.材料
[5.14.2]

20.ガラス溝の寸法、形状等
[5.14.3]

21.ガラスブロック積み
[5.14.5]

22.ガラス用フィルム

23.アルミパネル

(14節 ガラス)

板ガラス 材料はJIS規格品とし、厚さ・種類等は図面図示による。
ガラス留め材 ・シーリング
・グレイジングガスケット(グレイジングチャンネル形)
・グレイジングガスケット(グレイジングビート形)
溝の大きさ ※建具製造所の仕様 ・()

ガラスブロックの表面形状、呼び寸法及び厚さ、壁用金属枠及び補強材、金属化粧カバーの材質、寸法、形状 ※図面図示による
化粧目地モルタル色 ・()
目地幅の寸法 ※5.14.5(2)(g)(a)による ・()
伸縮調整目地の位置 ※5.14.5(2)(g)(b)による ・()
目地部の横力骨の納まり ※製造所の仕様による ・図面図示による

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1

品質JIS A 5759による

アルミハニカムパネルとする
表裏アルミ板 厚1.0mm 芯材：アルミハニカム

⑥内装改修工事〔6章〕

①改修範囲
[6.1.3]

2.既存床の撤去及び下地補修
[6.2.2]

3.既存壁の撤去及び下地補修
[6.3.2]

④施工一般
[6.5.2]

⑤製材

(1節 共通事項)

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
・ 壁厚程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う
※ 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
・ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う
※ 図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
・ 既存のまま
※ 図示の範囲

ビニル床シート等の撤去
※ 仕上材のみ(接着剤とも)
・ 下地モルタルとも(・ 図示による ・ 撤去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法
・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※ 図示による
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※ 改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理 ※ 図示による)

材料のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ウ)(b)による
・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
古賀中学校 体育館 横羽目板		※2級 ・	※A種 ・B種	
		※2級 ・	※A種 ・B種	

・ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種	
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種	

・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※1級 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	
		※1級 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	
		※1級 ・	※10%以下 ・A種 ・B種	

⑦JAS 1083(製材)以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率
壁補修箇所 格調縁	現況による	() 造作材の場合(※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
壁補修箇所 見切材	現況による	() 造作材の場合(※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
古賀中学校 体育館 木製立木		() 造作材の場合(※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

・造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等 ・2等
					※1等 ・2等
					※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板：芯材：				※1等 ・2等
		化粧薄板：芯材：				※1等 ・2等
		化粧薄板：芯材：				※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板：芯材：				※15%以下 ・
	化粧薄板：芯材：				※15%以下 ・
	化粧薄板：芯材：				※15%以下 ・

・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理
				・適用する ・適用しない

・ JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

・ JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)

・「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない

⑤接合具等
[6.5.3]

⑥接着剤
[6.5.3、4]

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	()

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の性能	防虫処理
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の性能	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		・15 ・

・構造用パネル

施工箇所	品名	寸法 (mm)

・MDF


施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

造作材の化粧面の釘打ち
※ 隠し釘打ち
・ 釘頭埋め木
・ つぶし頭釘打ち
・ 釘頭現し

諸金物
※ かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)

・ (形状： 寸法： 材質：)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
・



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称

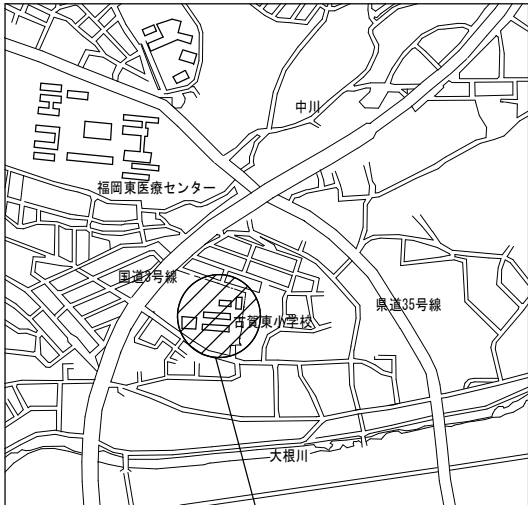
特記仕様書 (3)

A3 縮尺 —

No A-03

A1 縮尺 —

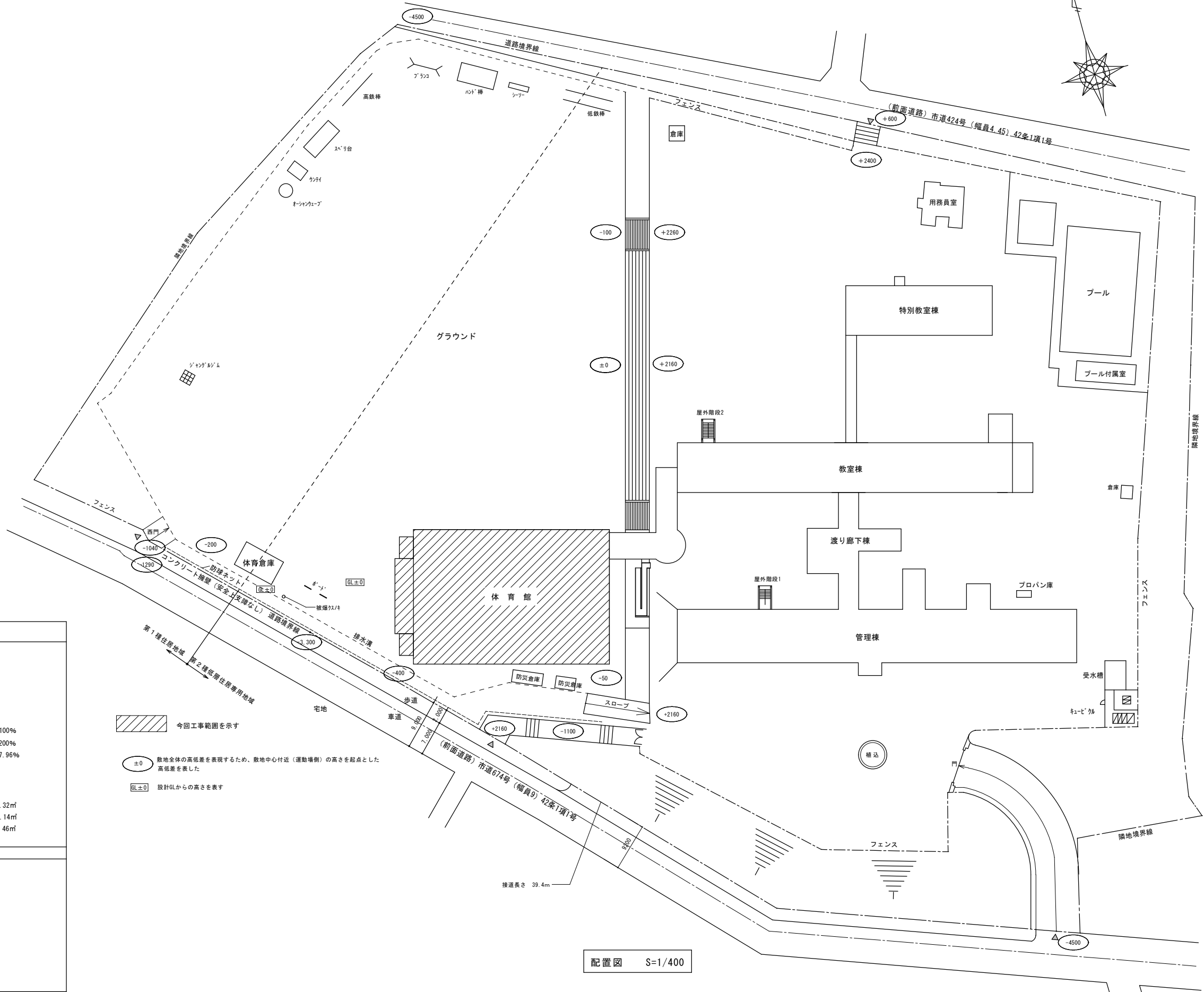
日付 2025年12月



工事場所：古賀市新久保二丁目1番1号

付近見取図

□ 工事概要	
□ 工事名称	古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事
□ 工事場所	古賀東小学校 体育館 古賀市新久保2丁目1番1号
□ 地域地区等	都市計画区域内
建蔽率・容積率	第2種低層住居専用地域 建ぺい率60% 容積率 100% 第1種住居地域 建ぺい率60% 容積率 200% 建ぺい率60% 容積率117.96%
防火地域	指定なし
その他の地域・地区	法第22条区域
□ 敷地面積	第2種低層住居専用地域 24,896.32㎡ 第1種住居地域 5,452.14㎡ 合計 30,348.46㎡
□ 建築面積	体育館 1,096.57㎡
□ 延べ面積	1,029.67㎡
□ 工事内容	空調設備設置工事 内部改修工事 外構工事



配置図 S=1/400



株式会社 海 渡 設 計


神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

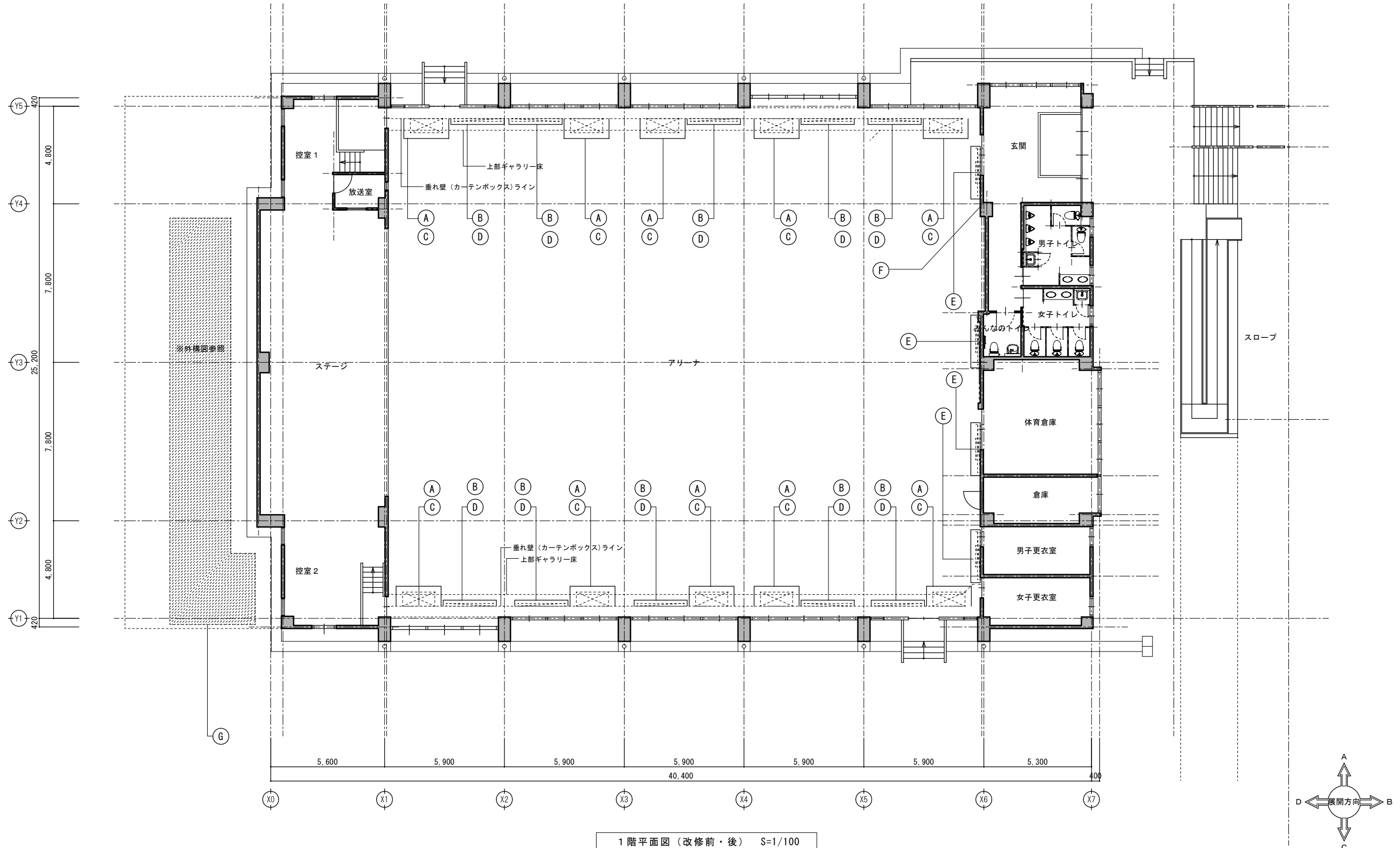
工事名称
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称
古賀東小学校
工事概要・付近見取図・配置図

A3 縮尺 S=1/800	No A-06
A1 縮尺 S=1/400	日付 2025年12月

■ 改 修 概 要 （ 古 賀 東 小 学 校 体 育 館 ） 空 調 設 備 改 修																								
1）外部の改修		・バルクタンク置場 基礎 新設 ・バルクタンク置場 フェンス新設 ・GHP室外機置場 基礎 新設 ・GHP室外機置場 遮音フェンス 新設 ・GHP室外機置場 基礎周辺 砂利敷き				・サイン新設 ・グレーチング設置				2）内部の改修		・空調設備等 取付下地 新設 ・エアコン用防球格子 新設 ・輻射冷暖房パネル用防球格子 新設 ・壁付けエアコン・輻射冷暖房パネル用防球格子 新設				・サイン新設								
■ 構 造 概 要 （ 古 賀 東 小 学 校 体 育 館 ） 空 調 設 備 改 修																								
地 業				基 礎				軀 体				屋 根				備 考								
砂利事業				鉄筋コンクリート造				鉄筋コンクリート造				鉄骨造				－								
■ 外 部 仕 上 表（ 古 賀 東 小 学 校 体 育 館 ） 空 調 設 備 改 修																								
	エ プ ロ ン			幅 木			壁			軒 天			バラベツト			屋 根			外部開口部			その他外部		
改修前	【玄関ポーチ】 モルタル下地150角タイル貼（既存のまま） （階段部分 ノンスリップタイル）（既存のまま） 【一般出入口部】 コンクリート直均シ塩ビ製長尺シート（既存のまま） 【大走り】 モルタル金コテ仕上（既存のまま）			コンクリート打放しモルタル金コテ （既存のまま）			RC面：コンクリート打放しの上 複層塗材RE（既存のまま） RC面：コンクリート打放しの上 一部撥水剤塗布（既存のまま）			軽天下地 コンクリート打放しの上撥水剤塗布（既存のまま） 【玄関】 軽天下地 コンクリート打放しの上目地切 撥水剤塗布（既存のまま）			－			ガルバリウム鋼板 t=0.6 特殊立ハゼ葺（既存のまま） 下地：アスファルトルーフィング22kg/品 下地：木毛セメント板（既存のまま） 【玄関庇：平場】 合成樹脂シート防水（既存のまま） 【玄関庇：立上】 塗膜防水（アルミ押工金物）（既存のまま）			－			U字溝300用 蓋（撤去） 堅種：φ100φ150硬質塩ビ管 EP-G塗装（既存のまま） ステンレス樋受金物（既存のまま） 防球用カバー：スチール製ネット（既存のまま） トップライト：アクリドーム600角（既存のまま）		
改修後	－			－			－			－			－			－			－			バルクタンク置場 基礎・フェンス （新設） GHP室外機置場 基礎・遮音フェンス・砂利敷き（新設） サイン（新設）、グレーチング（新設）		
■ 内 部 仕 上 表（ 古 賀 東 小 学 校 体 育 館 ） 空 調 設 備 改 修																								
階		室 名	床		巾 木	内 壁		外 壁 内 部		廻り縁	天 井			備 考										
			区分			区分	塗装	区分	塗装		区分	天井高												
1階	改修前	アリーナ	下地	鋼製床組 H=500（既存のまま） 針葉樹構造用合板t=15捨張（既存のまま）	木製巾木 CL塗り （既存のまま）	100	下地	RC型枠外しのまま 木組下地（既存のまま）	CL	下地	RC型枠外しのまま ポリスチレンフォームt=25充填貼（既存のまま）	CL	木製 CL （既存のまま）	下地	鉄骨現し（既存のまま）	SOP	直天井							
			仕上	桧フローリング t=15張 ウレタン3回塗り（既存のまま）			仕上	シナ合板、有孔シナ合板t=9.12 目隠し張り（既存のまま） ギャラリーFLより上は木間仕切り下地（既存のまま）		仕上	シナ合板、有孔シナ合板t=9.12 目隠し張り（既存のまま） ギャラリーFLより上は木間仕切り下地（既存のまま）			仕上	木毛セメント板t=25（既存のまま）				工場塗装 白色					
			下地	－			下地	－		下地	－			下地	－				下地	－				
			仕上	－			仕上	－		仕上	－			仕上	－									
	改修後	アリーナ	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	空調設備等 取付下地（新設） サイン（新設） エアコン用防球格子（新設） 輻射冷暖房パネル用防球格子（新設） 壁付けエアコン・輻射冷暖房パネル用 防球格子（新設）					
			仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－								
			改修前	ギャラリー	下地	RC直押え（既存のまま）	ビニル巾木 （既存のまま）	100	下地	RC化粧打ち放し（既存のまま）	－	下地	RC化粧打ち放し（既存のまま）	－	木製 CL （既存のまま）	下地	鉄骨現し（既存のまま）	SOP	直天井					
					仕上	無溶剤系エポキシ樹脂系塗床（既存のまま）			仕上	撥水材塗布（既存のまま）		仕上	撥水材塗布（既存のまま）			仕上	木毛セメント板t=25（既存のまま）				工場塗装 白色			
	下地	－			下地	－			下地	－		下地	－			下地	－				下地	－		
	仕上	－			仕上	－			仕上	－		仕上	－			仕上	－							
	改修後	ギャラリー	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－						
			仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－								
改修前			ステージ	下地	木製床組 H=800（既存のまま） ベースボードt=21捨張（既存のまま）	木製巾木 CL塗り （既存のまま）	100	下地	【上部】RC型枠外しのまま 【下部】RC型枠外しのまま	CL	下地	【上部】RC型枠外しのまま 【下部】RC型枠外しのまま	CL	木製 CL （既存のまま）	下地	RC型枠外しのまま グラスウールボードt=25（既存のまま）	－	直天井						
				仕上	ナラフローリング t=15張 ウレタン3回塗り（既存のまま）			仕上	【上部】塩化ビニル樹脂エナメル（既存のまま） 【下部】塩化ビニル樹脂エナメル（既存のまま）		仕上	【上部】t25GWクロス貼板（黒色塗装品）（既存のまま） 【下部】t25PF板打ち込みの上、木間縁下地へ`こ`（既存のまま）			仕上	クロス板張り 塩化ビニル樹脂エナメル（既存のまま）				（黒色）				
	下地	－		下地	－			下地	－		下地	－			下地	－				下地	－			
	仕上	－		仕上	－			仕上	－		仕上	－			仕上	－								
改修後	ステージ	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－	下地	－							
		仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－	仕上	－											
		改修前	玄関 廊下	下地	RC直押え（既存のまま）	ビニール （既存のまま）	100	下地	RC化粧打ち放し（既存のまま）	－	下地	RC化粧打ち放し（既存のまま）	－	ビニール （既存のまま）	下地	軽天下地（既存のまま）	－	2.600						
				仕上	【上足部】抗菌性塩ビ製長尺シートt=2mm（既存のまま） 【下足部】モルタル下地の、144角タイル t=13（既存のまま）			仕上	塩化ビニル樹脂エナメル（既存のまま）		仕上	塩化ビニル樹脂エナメル（既存のまま）			仕上	内部用岩綿吸音板（既存のまま）								
下地	－			下地	－			下地	－		下地	－			下地	－				下地	－			
仕上	－			仕上	－			仕上	－		仕上	－			仕上	－								

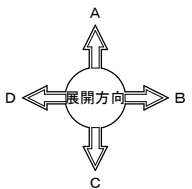
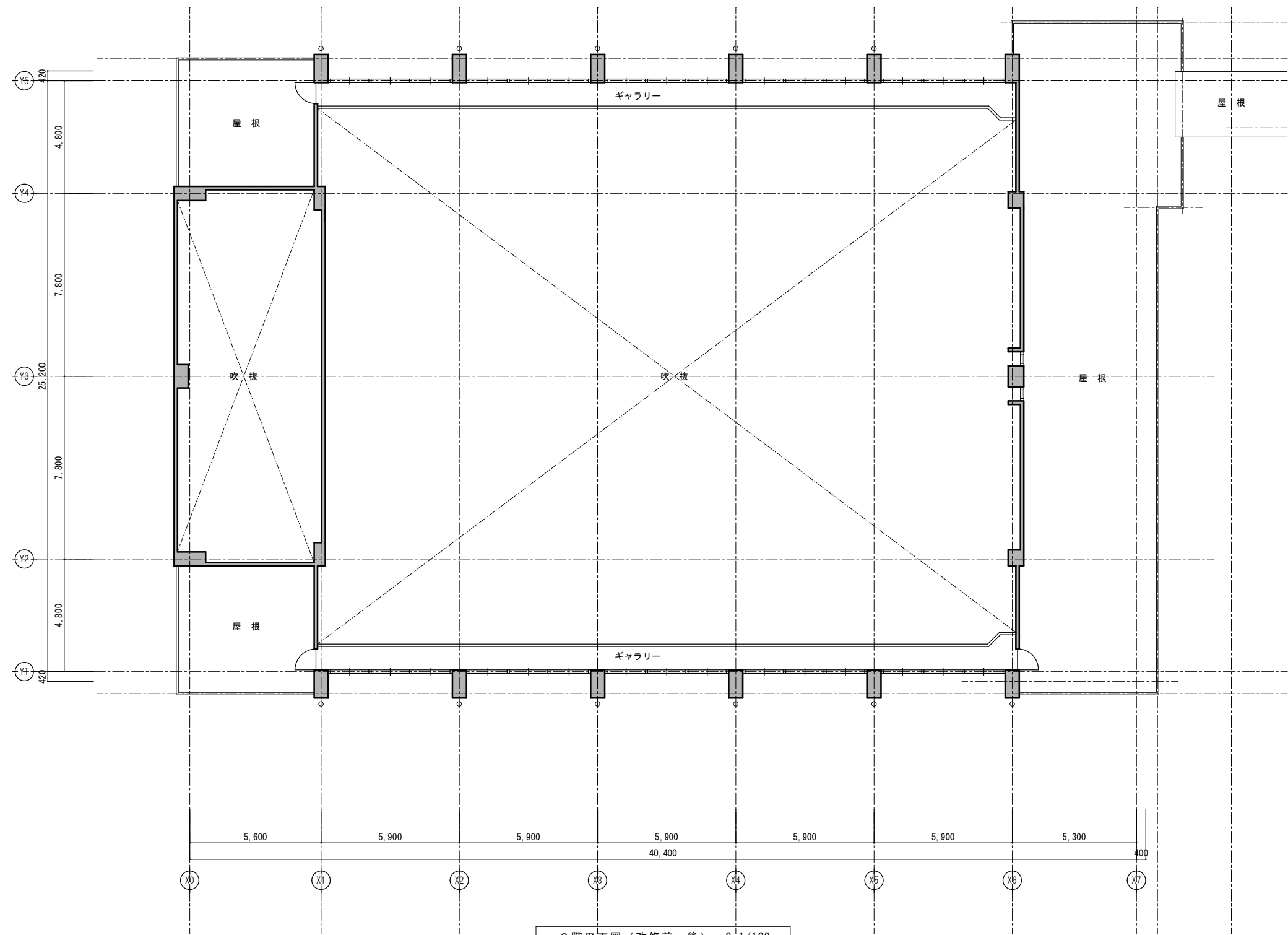
略 語																防 火 認 定 番 号				●・・・アスベスト含有建材を示す （本工事の建材には含有なし）											
S O P		合成樹脂調合ペイント塗り				E P-G		つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り				石膏ボード t=12.5		不燃 NM-8619																	
E P		合成樹脂エマルジョンペイント塗り										化粧石膏ボード t=9.5		準不燃 QM-0524																	
N A D		アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り										シーリング石膏ボード t=9.5		準不燃 QM-9828																	
 株式会社 海 渡 設 計																神崎信二 一級建築士 第323073号 福岡県知事登録第1-30027号				工事名称 古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事				図面名称 古賀東小学校 体育館 仕上表（ 改 修 前 ・ 後 ）				A3 縮尺 —		No A-07	
																A1 縮尺 —				日付 2025年12月											



1 階平面図 (改修前・後) S=1/100

凡例 (改修前・後)	Ⓐ	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 エアコン・防球格子 取付下地 新設 (10箇所) ・鉄骨下地ユニット(A)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	Ⓒ	【改修前】 — 【改修後】 エアコン用 防球格子 新設 (10箇所) ・W2210×D980×H340 アルミ製・鉄骨ユニット(A)にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	Ⓔ	【改修前】 — 【改修後】 壁付けエアコン・輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 (4箇所) ・W2620×H1485×D460 アルミ製・壁仕上のより躯体へ樹脂アンカーにて取付 ※設備図面「格子参考図」参照	Ⓖ	【改修前】 外構 【改修後】 バルクタンク置場・GHP空調室外機置場 新設 ・基礎新設、フェンス新設等 ※外構図参照
	Ⓑ	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 輻射冷暖房パネル・防球格子 取付下地 新設 (10箇所) ・鉄骨下地ユニット(B)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	Ⓓ	【改修前】 — 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 (10箇所) ・W2620×H950×D290 アルミ製・鉄骨ユニット(B)にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	Ⓕ	【改修前】 — 【改修後】 サイン 新設 (1箇所 2枚) ・297×420 アルミ複合板 t=3mm インクジェット印刷貼 角丸処理 ・非常時の機器等の操作方法を表示する		





凡例
(改修前・後)

2階 改修なし



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称

古賀東小学校 体育館
2階平面図 (改修前・後)

A3 縮尺

—

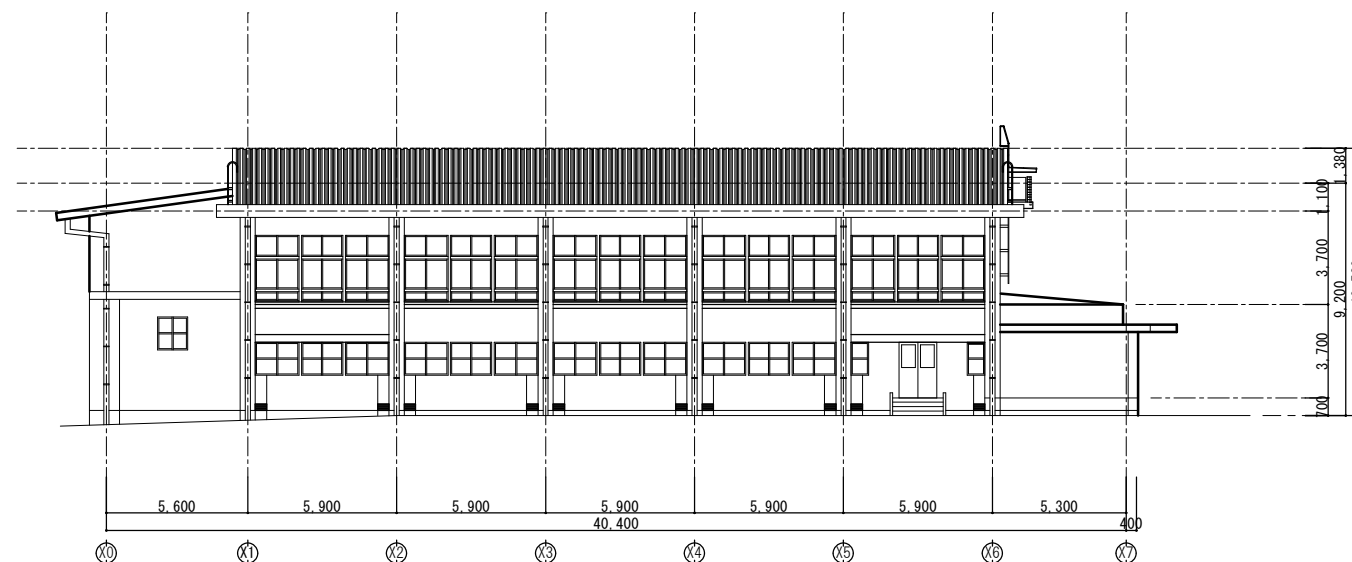
A1 縮尺
1 : 100

No

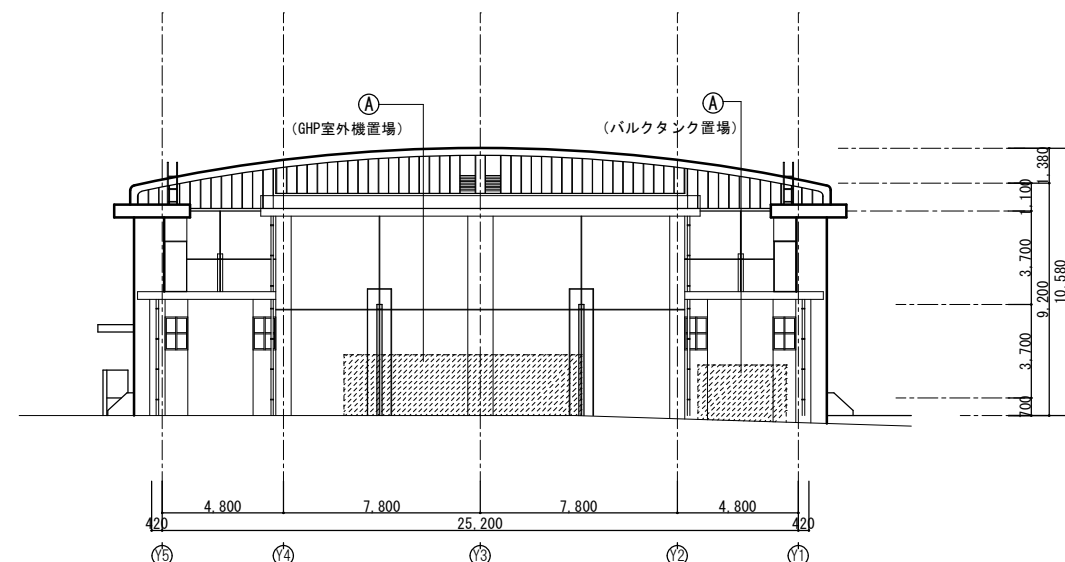
A-09

日付

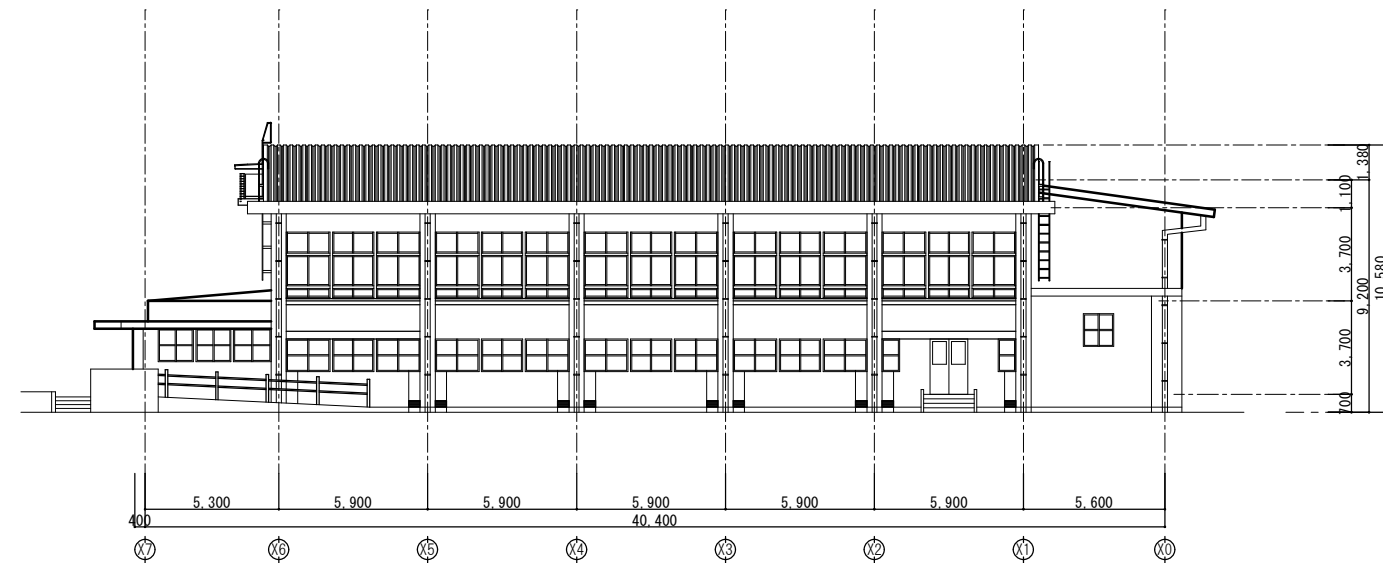
2025年12月



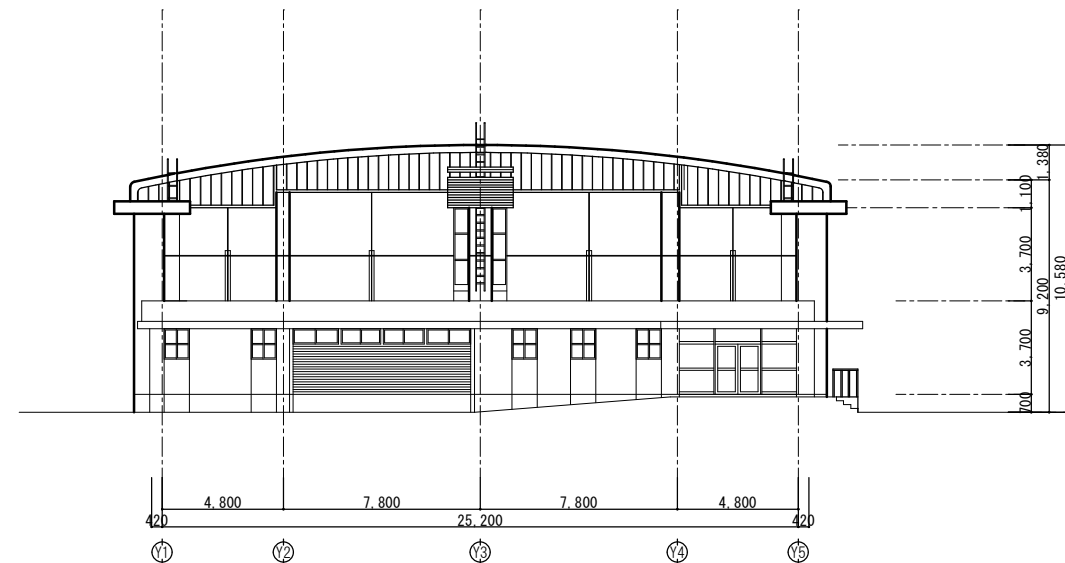
南側立面図（改修後）



西側立面図（改修後）



北側立面図（改修後）



東側立面図（改修後）

凡例 (改修前・後)	①	【改修前】 外構 【改修後】 バルクタンク置場・GHP空調室外機置場 新設 ・基礎新設、フェンス新設等 ※外構図参照



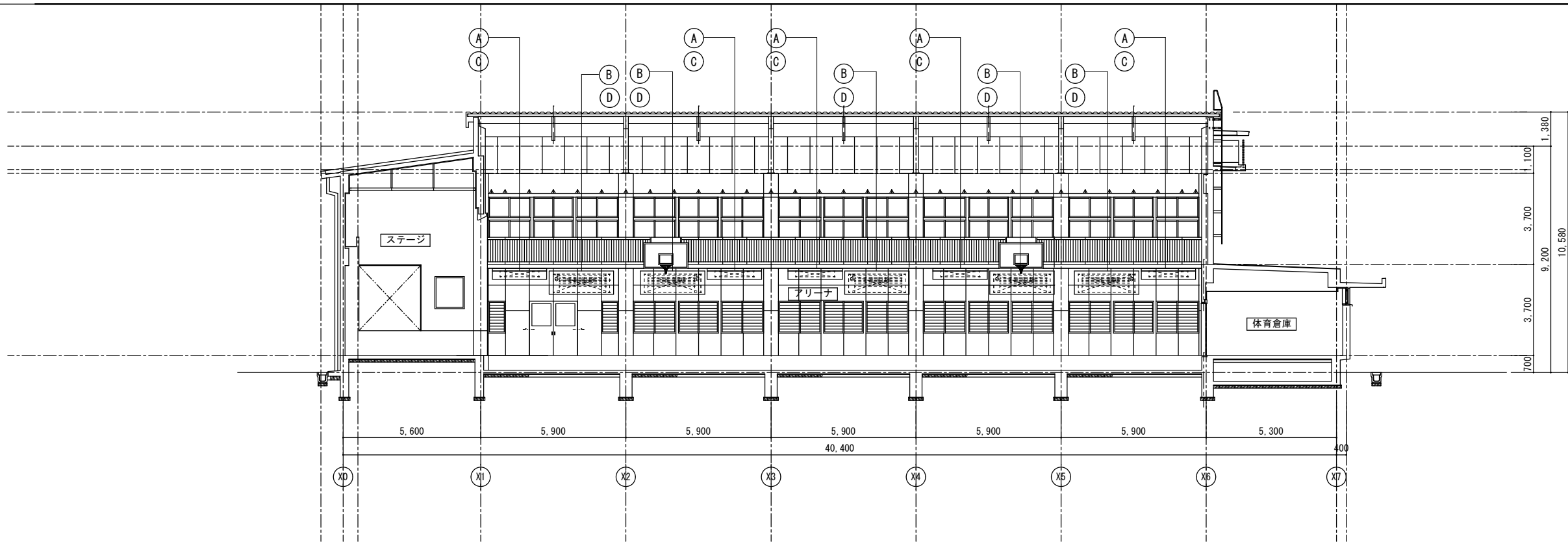
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

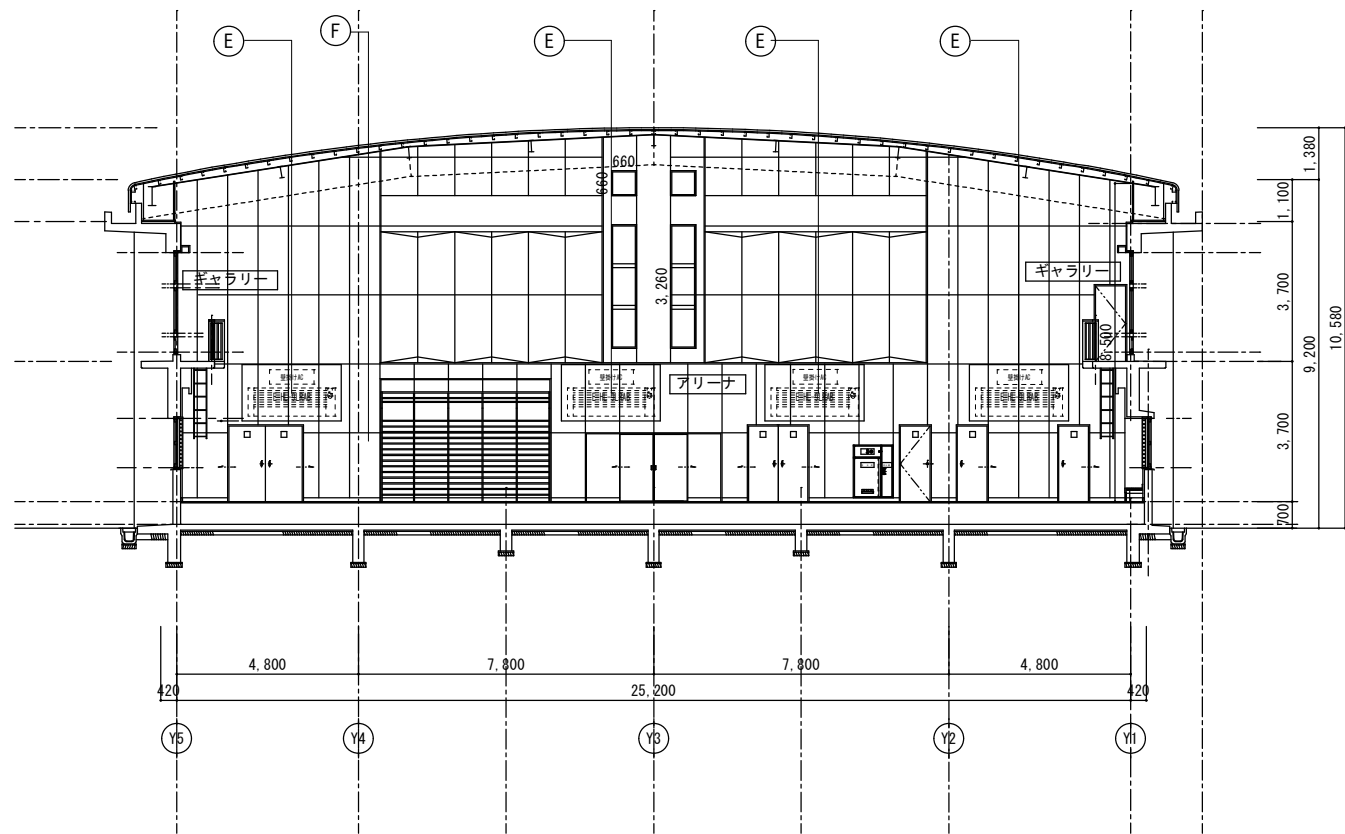
工事名称
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称
古賀東小学校 体育館
立面図（改修前・後）

A3 縮尺 —	No A-10
A1 縮尺 1:150	日付 2025年12月



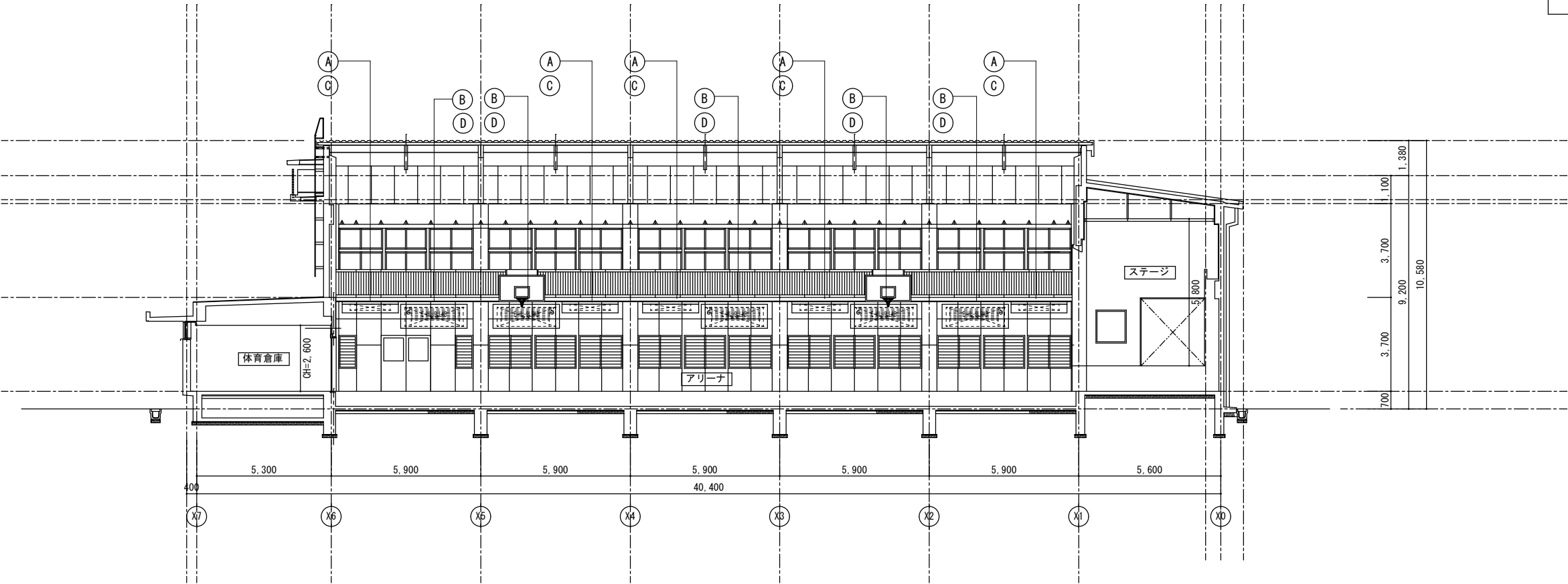
A断面図（改修前・後） S=1/100



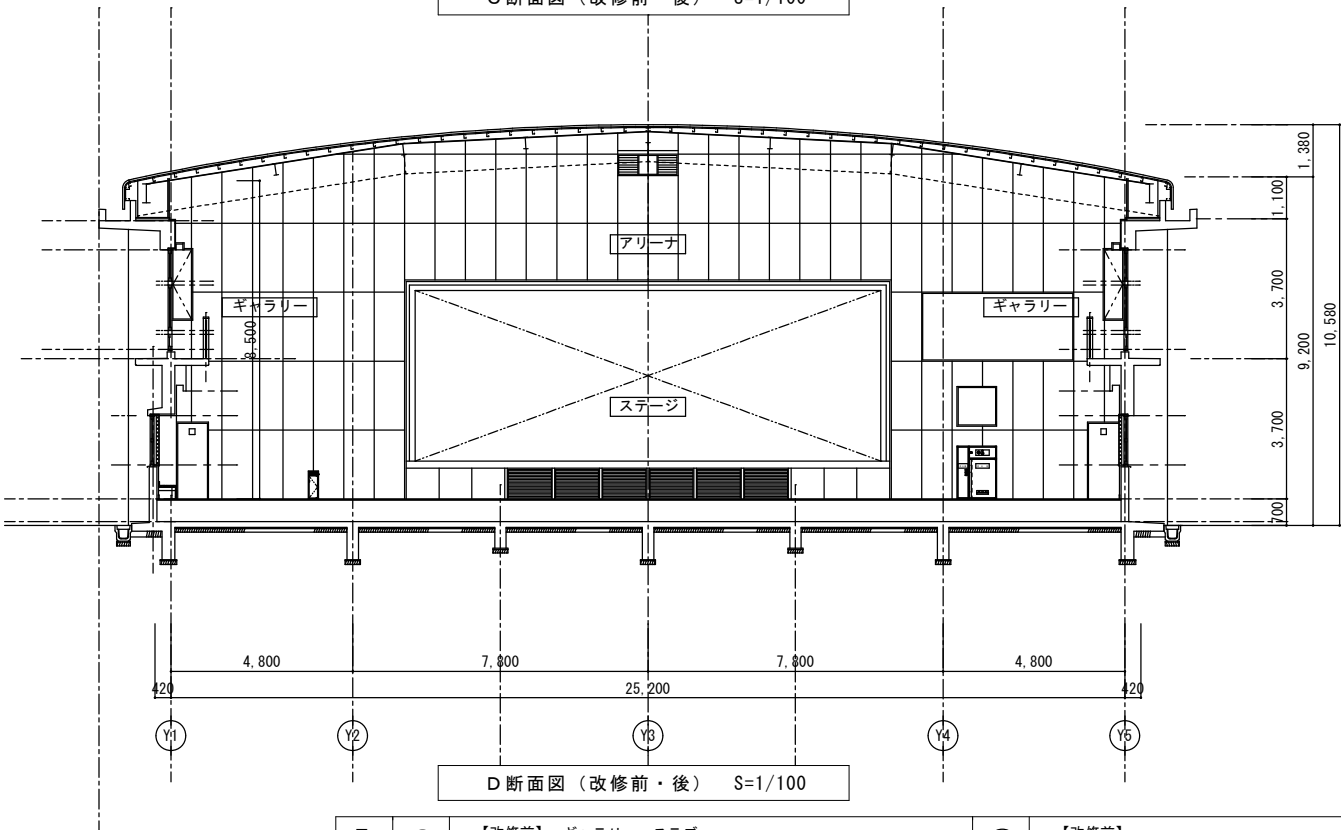
B断面図（改修前・後） S=1/100

凡例 （改修前・後）	Ⓐ	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 エアコン・防球格子 取付下地 新設（計10箇所） ・鉄骨下地ユニット(A)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	Ⓒ	【改修前】 — 【改修後】 エアコン用 防球格子 新設（計10箇所） ・W2210×D980×H340 アルミ製 ・鉄骨ユニット(A)にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	Ⓔ	【改修前】 — 【改修後】 壁付けエアコン・輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設（計4箇所） ・W2620×H1485×D460 アルミ製 ・壁仕上のより躯体へ樹脂アンカーにて取付 ※設備図面「格子参考図」参照
	Ⓑ	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 輻射冷暖房パネル・防球格子 取付下地 新設（計10箇所） ・鉄骨下地ユニット(B)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	Ⓓ	【改修前】 — 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設（計10箇所） ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・鉄骨ユニット(B)にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	Ⓕ	【改修前】 — 【改修後】 サイン 新設（1箇所 2枚） ・297×420 アルミ複合板 t=3mm インクジェット印刷貼 角丸処理 ・非常時の機器等の操作方法を表示する





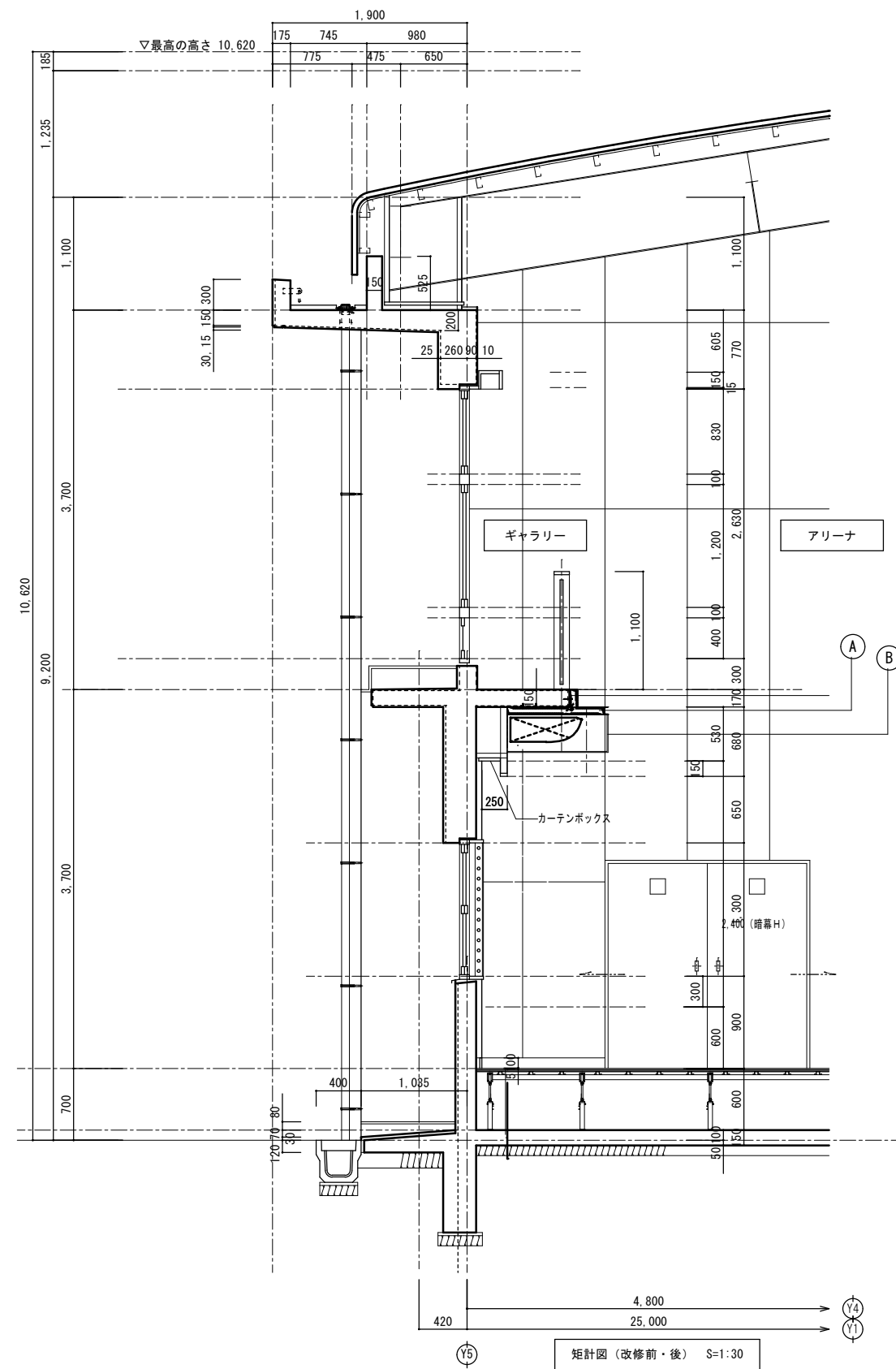
C断面図（改修前・後） S=1/100



D断面図（改修前・後） S=1/100

凡例 （改修前・後）	Ⓐ	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 エアコン・防球格子 取付下地 新設（計10箇所） ・鉄骨下地ユニット(A)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	Ⓒ	【改修前】 — 【改修後】 エアコン用 防球格子 新設（計10箇所） ・W2210×D980×H340 アルミ製・鉄骨ユニット(A)にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	Ⓔ	【改修前】 — 【改修後】 壁付けエアコン・輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設（計4箇所） ・W2620×H1485×D460 アルミ製・壁仕上の上より躯体へ樹脂アンカーにて取付 ※設備図面「格子参考図」参照
	Ⓑ	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 輻射冷暖房パネル・防球格子 取付下地 新設（計10箇所） ・鉄骨下地ユニット(B)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	Ⓓ	【改修前】 — 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設（計10箇所） ・W2620×H950×D290 アルミ製・鉄骨ユニット(B)にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	Ⓕ	【改修前】 — 【改修後】 サイン 新設（1箇所 2枚） ・297×420 アルミ複合板 t=3mm インクジェット印刷貼 角丸処理 ・非常時の機器等の操作方法を表示する





凡例 (改修前・後)	①	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 エアコン・防球格子 取付下地 新設 ・鉄骨下地ユニット(A)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照
	②	【改修前】 — 【改修後】 エアコン用 防球格子 新設 (計10箇所) ・W2210×D980×H340 アルミ製・鉄骨ユニット(A)にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

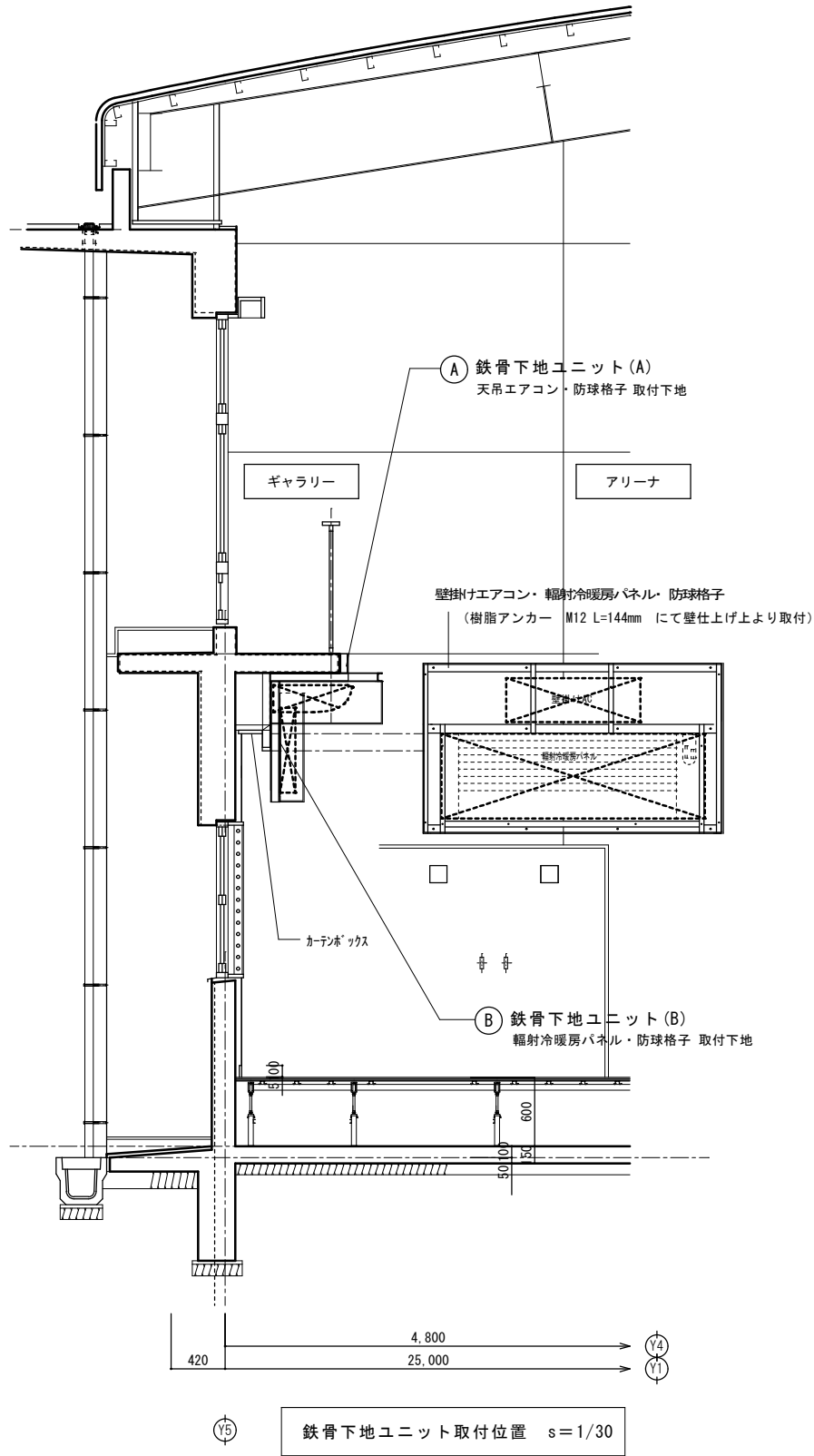
工事名称
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称
古賀東小学校 体育館
矩計図 (改修前・後)

A3 縮尺	—	No	A-1 3
A1 縮尺	1:30	日付	2025年12月

鉄骨下地ユニットの製作・取付に関する注意事項

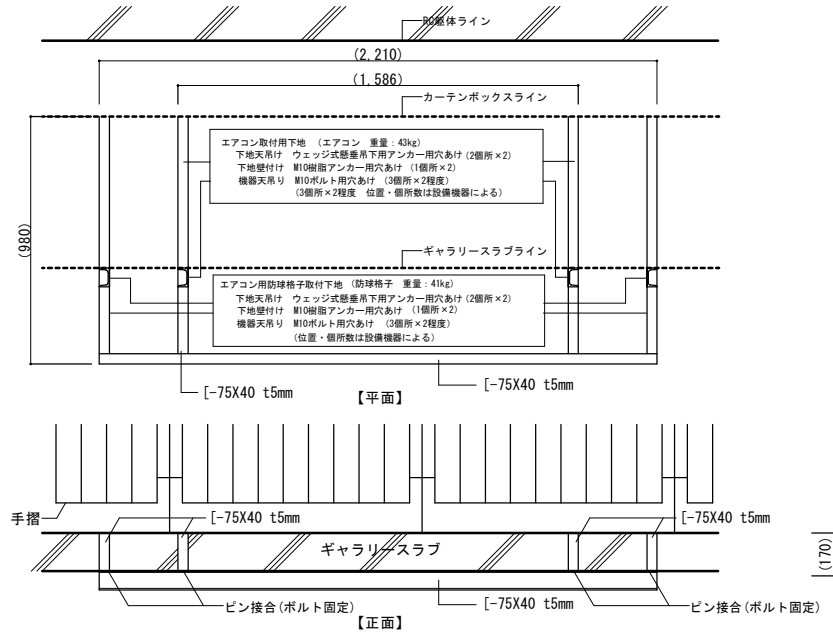
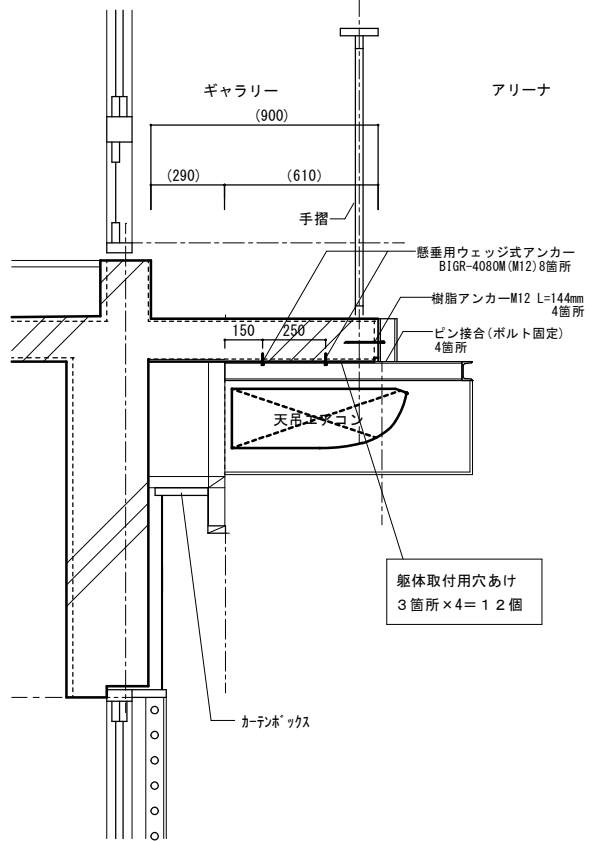
- ・本図に示す納まり・寸法は、設備位置に従い、施工時に調整のうえ施工すること。必要に応じ、監督員の承諾を得ること。
- ・本図は意匠上の参考図であり、施工方法、設備工事との取り合い、構造安全性については現場条件を優先し、施工者の責任において検討・調整すること。構造計算等により安全性を確認のうえ、監督員の承諾を得て施工すること。



① 鉄骨下地ユニット(A)

エアコン・防球格子
取付下地(参考)

※ 壁仕上げ・天井仕上げ等 現況のまま



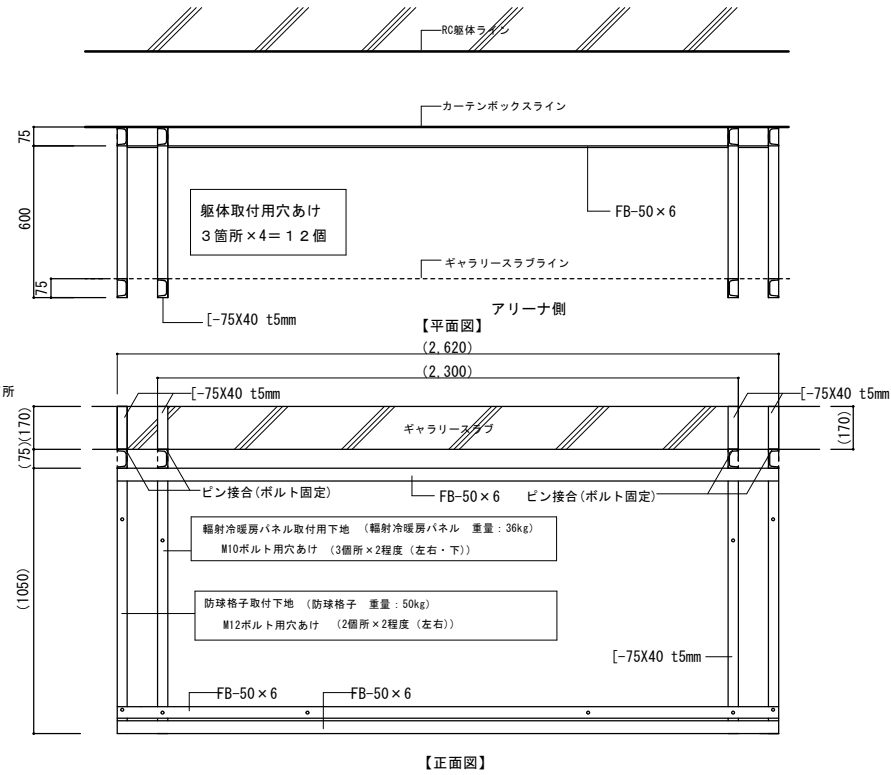
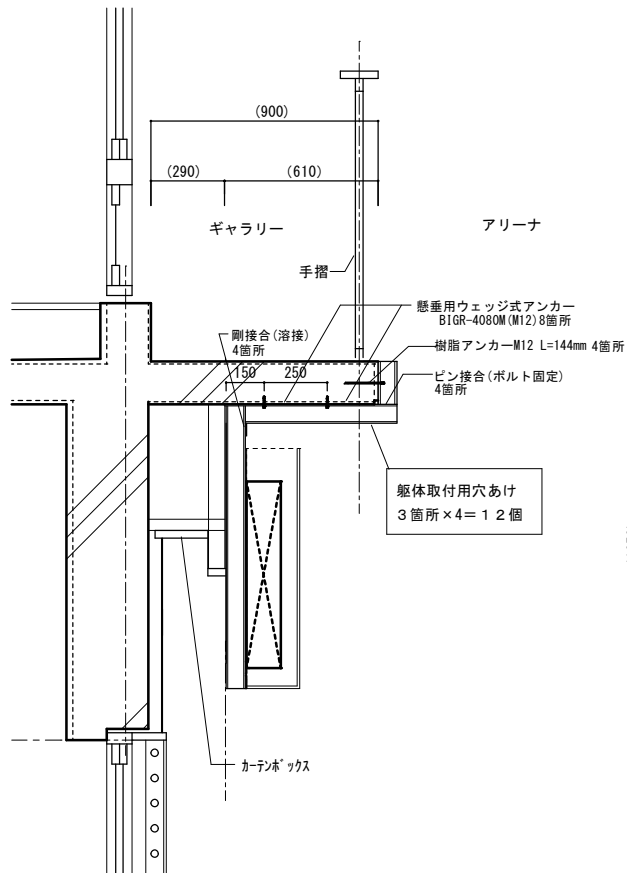
鉄骨ユニット(A)参考図 s=1/15

- ・鉄骨は溶融亜鉛めっき(どぶ付け)仕上げとし、現場にてSOP塗装を施すこと。
- ・躯体への取付は、天井吊下箇所はウェッジ式懸垂吊下用アンカー、壁への取付は樹脂アンカーにて行うこと

② 鉄骨下地ユニット(B)

輻射冷暖房パネル・防球格子
取付下地(参考)

※ 壁仕上げ・天井仕上げ等 現況のまま



鉄骨下地ユニット(B)参考図 S=1/15

- ・鉄骨は溶融亜鉛めっき(どぶ付け)仕上げとし、現場にてSOP塗装を施すこと。
- ・躯体への取付は、天井吊下箇所はウェッジ式懸垂吊下用アンカー、壁への取付は樹脂アンカーにて行うこと



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称

古賀東小学校 体育館
空調機器取付下地詳細図

A3 縮尺

—

No

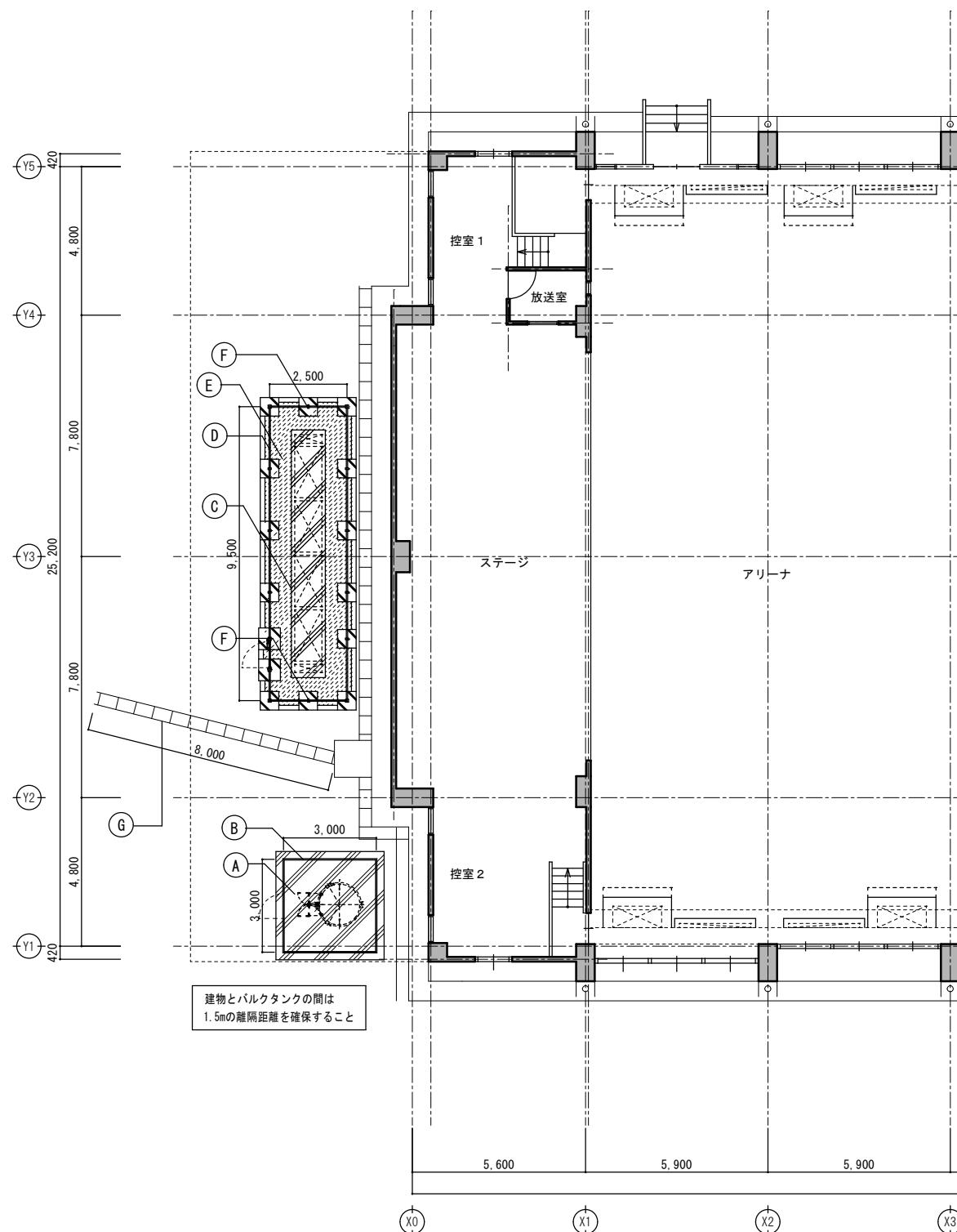
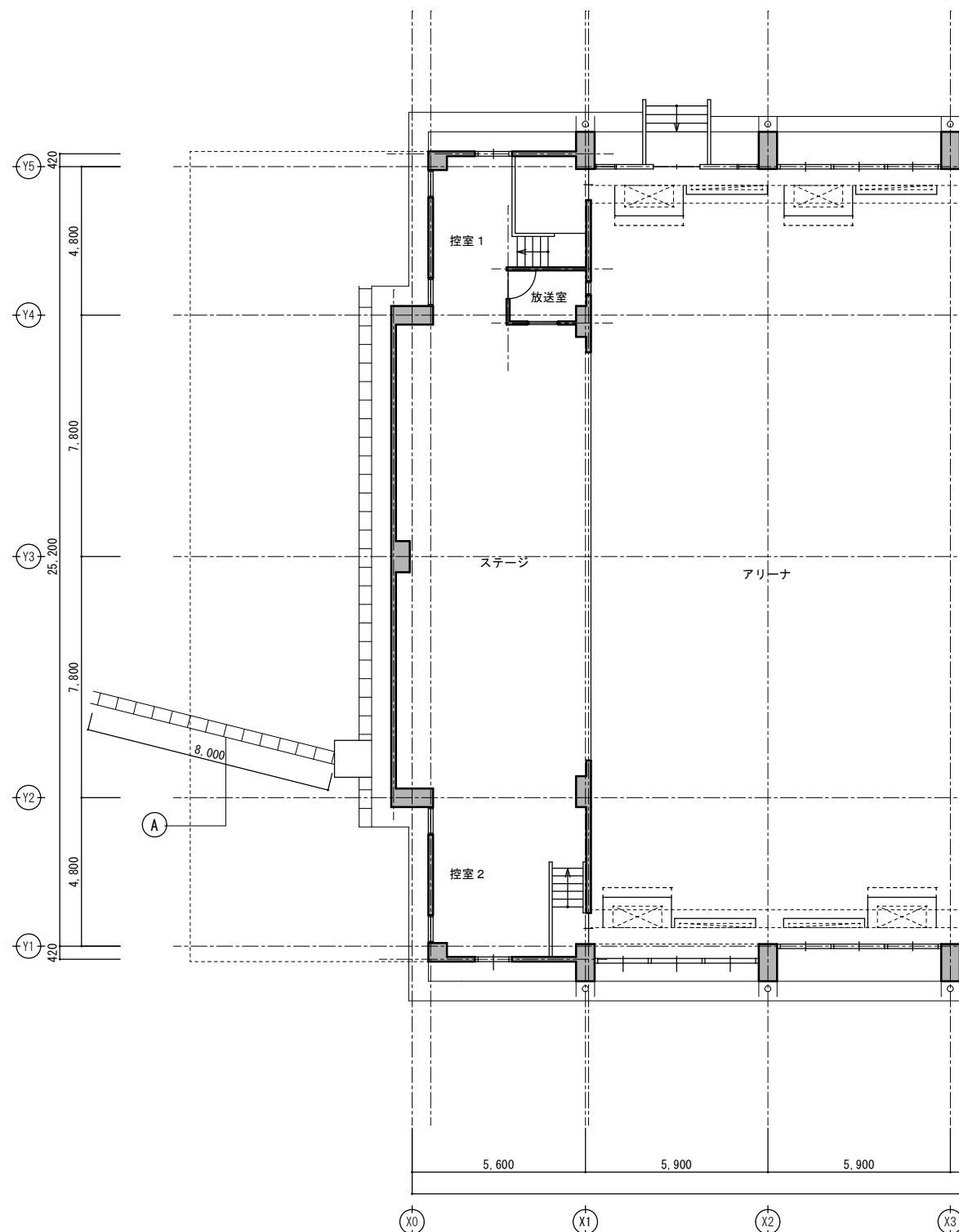
A-14

A1 縮尺

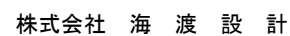
1:30

日付

2025年12月



凡例 (改修前)	(A)	U字溝300用 蓋 撤去 (8m程度) (400×600 t=60程度)	(A)	バルクタンク置場 基礎新設 3500×3500×400 GLからの高さ GL+150 コンクリート強度 Fc21 スラブ12cm(±2.5cm) 鉄筋 D13#200 (SD295) ダブル配筋 (再生クラッシュラン t=100mm、捨てコンt=50)	(C)	GHP室外機置場 基礎新設 1100×8000×400 GLからの高さ GL+150 コンクリート強度 Fc21 スラブ12cm(±2.5cm) 鉄筋 D13#200 (SD295) ダブル配筋 (再生クラッシュラン t=100mm、捨てコンt=50)	(E)	GHP室外機置場 基礎周辺 砂利敷き ・砂利敷き 厚さ50mm程度 (21.51㎡) ・外周部 縁石設置 (26.4m)	(G)	グレーチング設置 (8m程度) (受枠の設置込み) 積載 4 t 仕様 綱目 (SS400) 防錆処理 (亜鉛めっき) 細目グレーチング ノンスリップ仕様 受枠の設置、跳ね上がり防止の固定を行う
			(B)	バルクタンク置場 フェンス新設 メッシュフェンス H=2000 片開扉付 フェンス長さ11m、扉1m (計12m) 支柱はバルクタンク置場新設基礎に埋め込み 施錠 (南京錠用受金物付) ※フェンス参考図参照	(D)	GHP室外機置場 遮音フェンス新設 (基礎共) 遮音フェンス D2500×W9500 H=2400 片開扉 (くぐり戸) 付 (扉H=2000程度) 上部 防球ネット貼り 配管用穴あけ1箇所 施錠 (南京錠用受金物付) ※フェンス参考図参照	(F)	サイン新設 (2枚×2箇所) 297×420 ステンレス製 シルクスクリーン印刷 角丸処理 遮音フェンスのクランプ金物等に柱に固定 ※非常時の操作方法を表示する		※設備工事と調整の上、位置を確定すること ・基礎のための掘削残土は、敷地内に移動させる。



神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

图面名称	
------	--

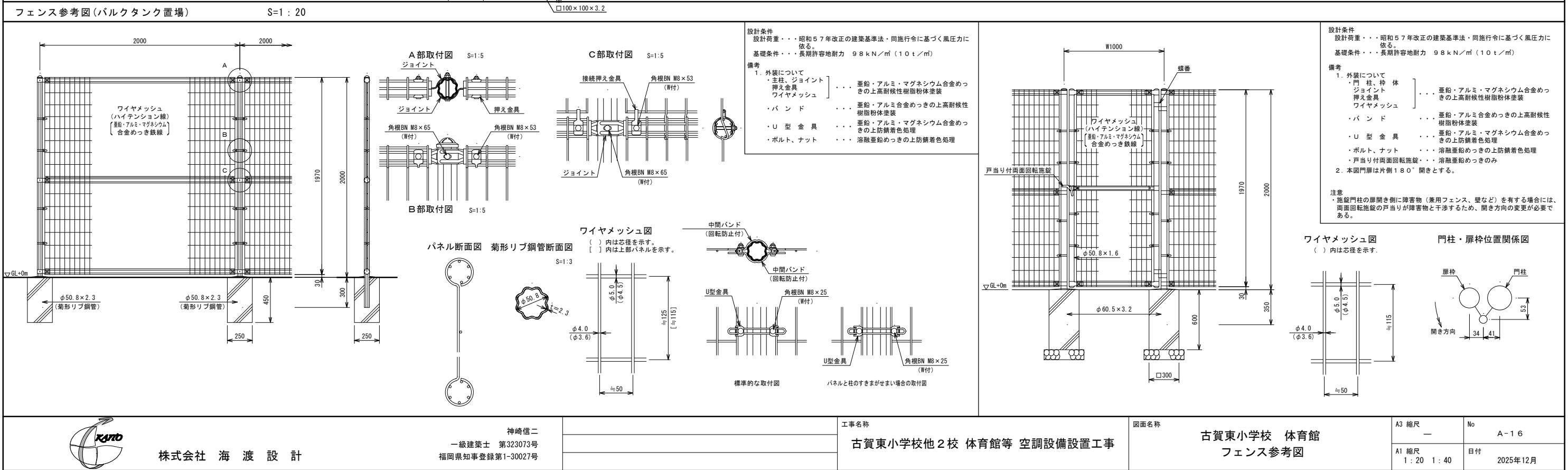
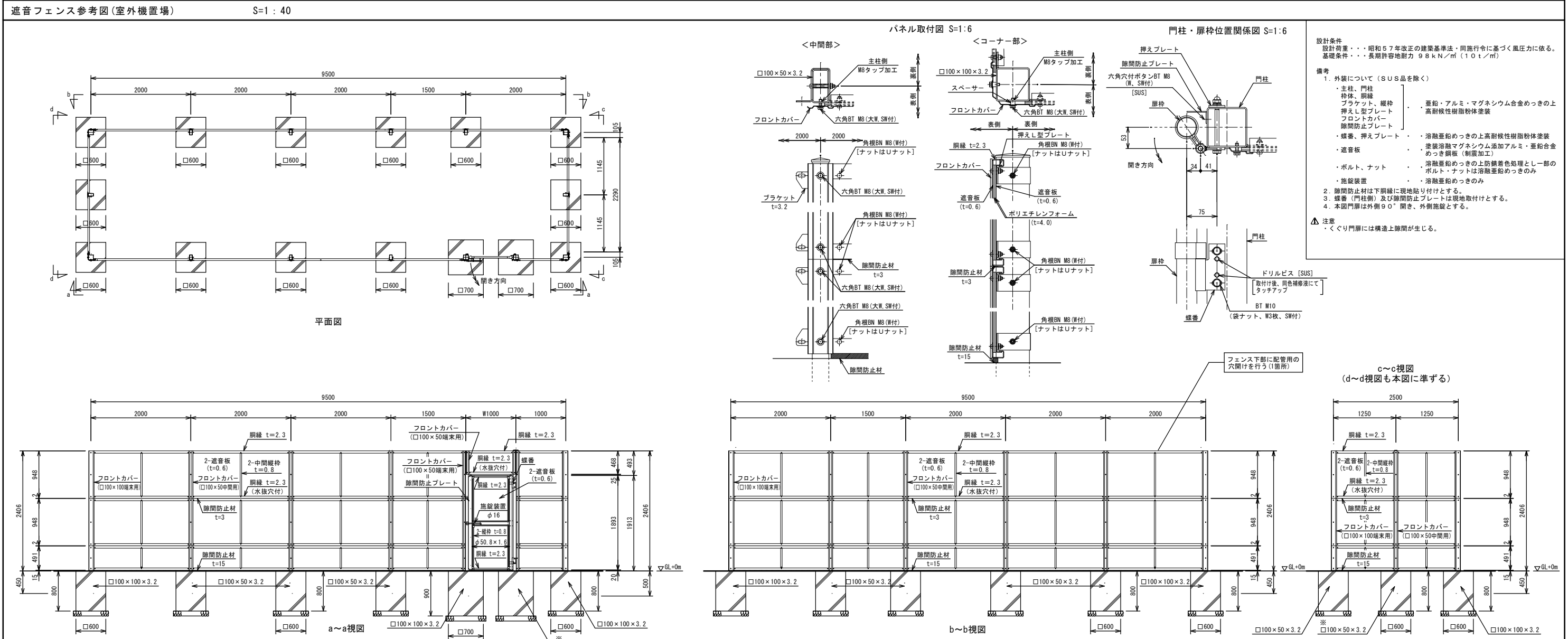
古賀東小学校 体育館
外構図（改修前・後）

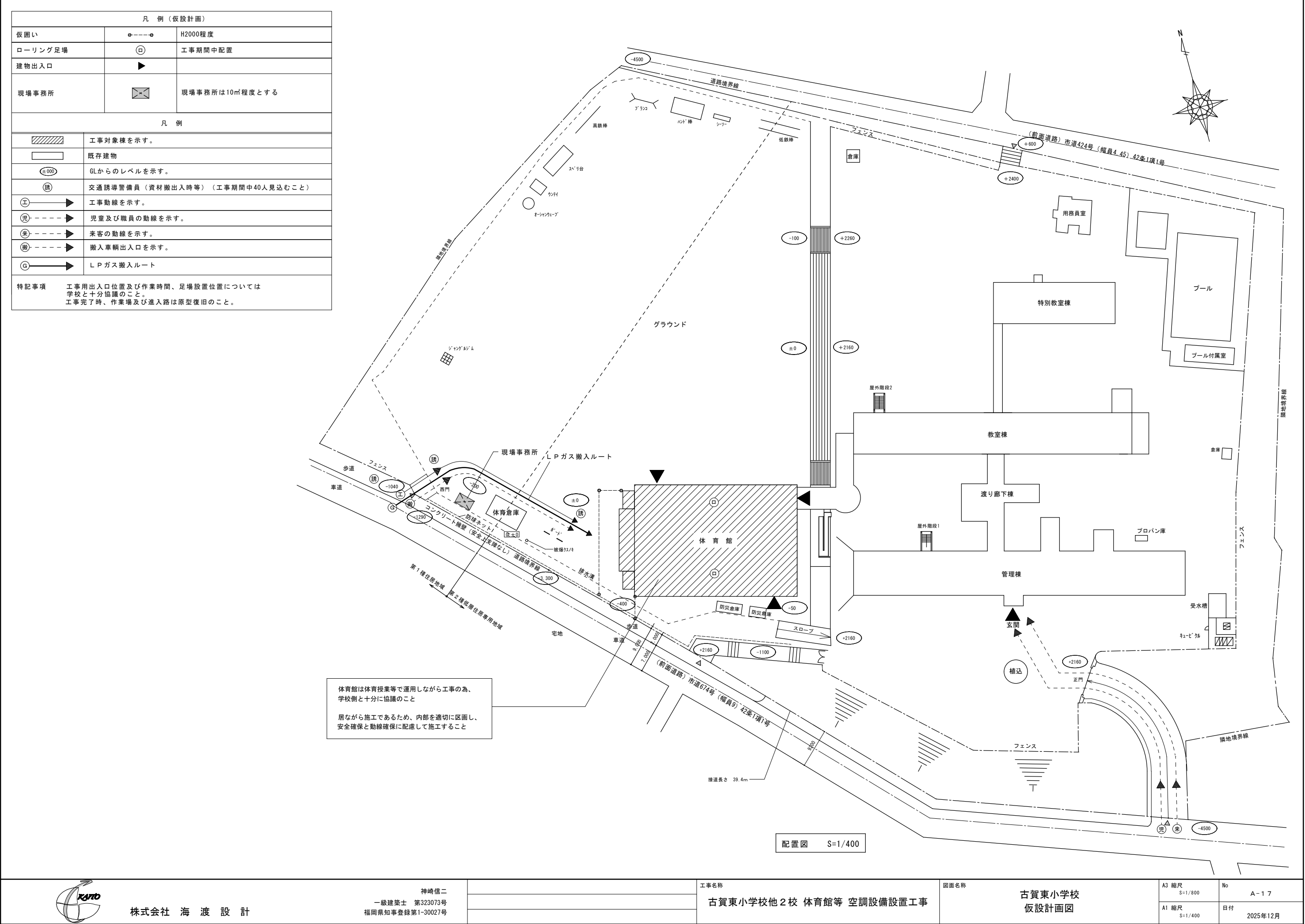
A3 縮尺

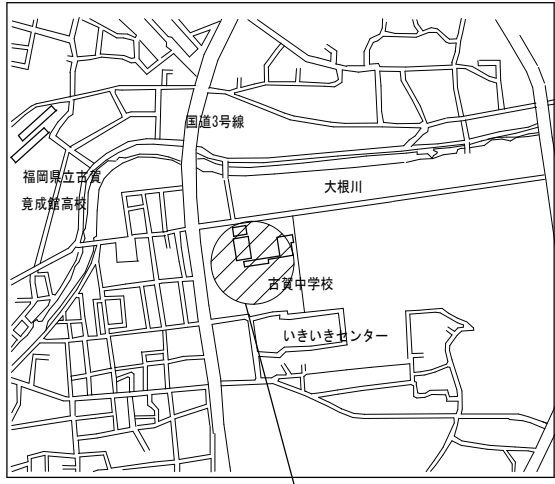
A1 縮尺
1 : 100

	No
--	----

日付 2025年12月





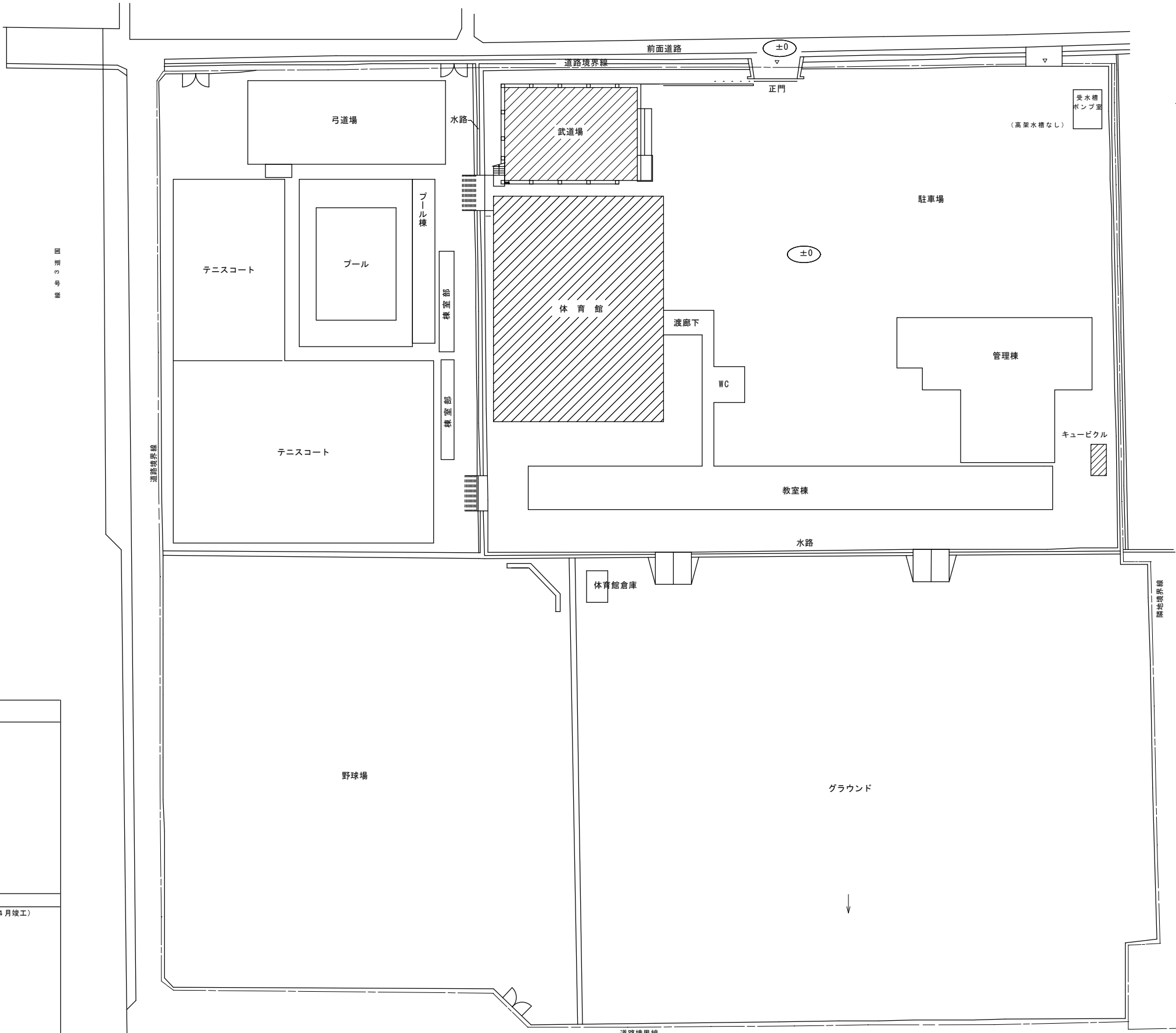


工事場所：古賀市久保107番地

付近見取図



□ 工事概要		
□工事名称	古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事	
□工事場所	古賀中学校 体育館・武道場 古賀市久保107番地	
□地域地区等	都市計画区域内 市街化調整区域 建蔽率 60% 容積率 200% 用途地域 指定なし 防火地域：指定なし	
□敷地面積	合計 45,064㎡	
□建築面積	体育館	武道場
	RC造2F（昭和54年7月竣工）	RC造2F（平成4年4月竣工）
	2,016.66㎡	766.06㎡
	2F 680.96㎡ 1F 1,628.32㎡ 合計 2,309.28㎡	2F 627.38㎡ 1F 627.38㎡ 合計 1,254.76㎡
□工事内容	空調設備設置工事 内部改修工事 外構工事	



今回工事範囲を示す

配置図 S=1/500



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称

古賀中学校
工事概要・付近見取図・配置図

A3 縮尺
S=1/1000

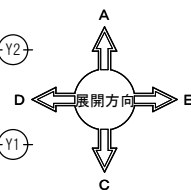
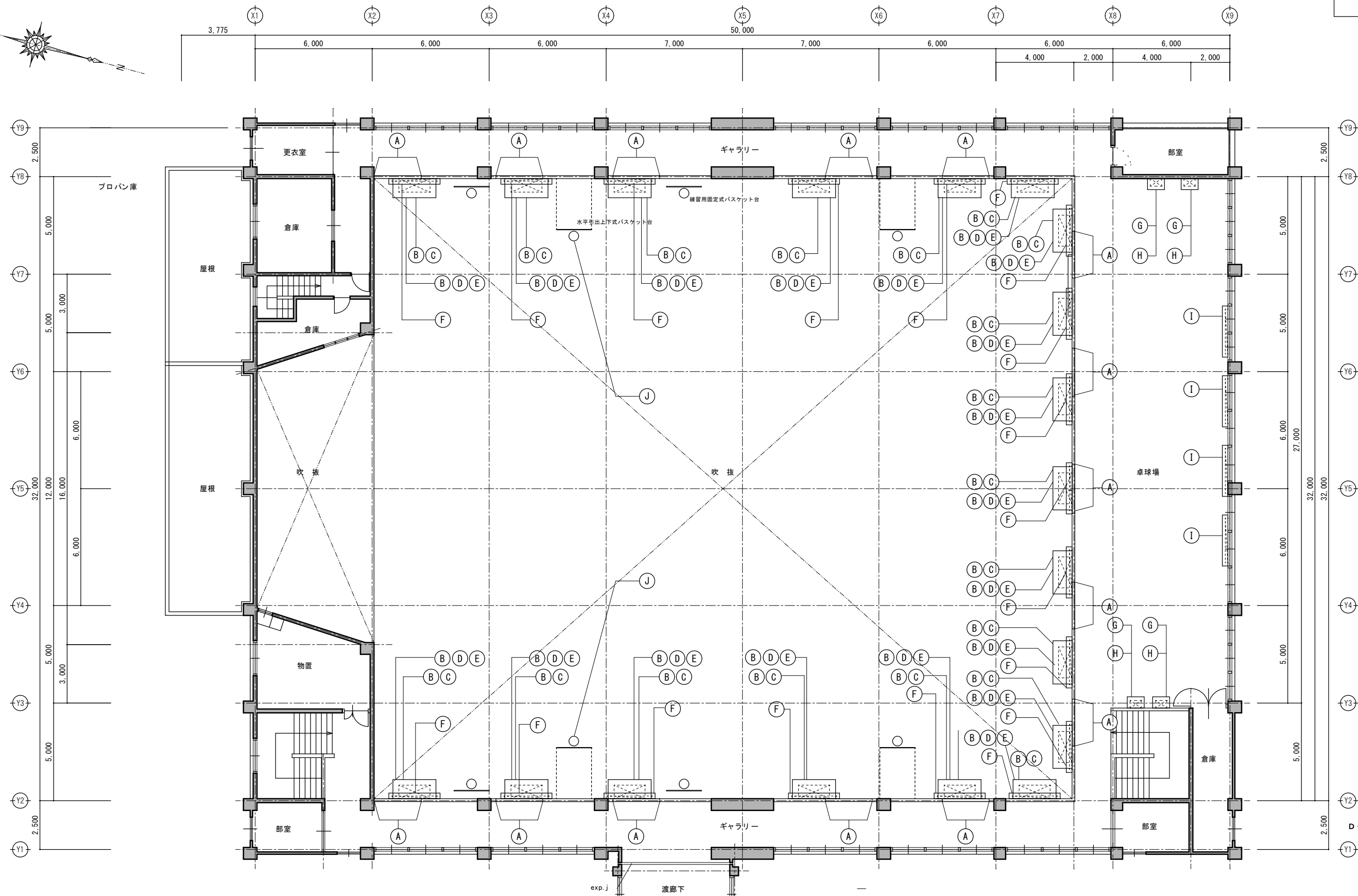
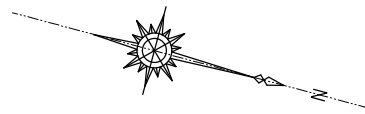
No

A-18

A1 縮尺
S=1/500

日付

2025年12月



凡例（改修前・後）	【改修前】 ギャラリー腰壁 手すりパネル部分 撤去（15箇所） 【改修後】 エアコン・防球格子 取付下地 新設（15箇所） ・撤去部に鉄骨下地ユニット(A)を製作・加工・取付 ・両面壁仕上げを新設すること ※空調機器取付下地詳細図 参照	【改修前】 ー 【改修後】 エアコン取付用ブラケット 新設（19箇所×2個組） ・D800×H300 L=50×50 t=40 SOP塗装 ・RC躯体に直接樹脂アンカーにて固定、または鉄骨下地にボルト固定とする	【改修前】 ー 【改修後】 エアコン用 防球格子 新設（19箇所） ・W2210×D980×H340 アルミ製 ・ブラケットに取付 ※設備図面「格子参考図」参照	【改修前】 ー 【改修後】 床置きエアコン用防球格子 新設（卓球場4箇所） W870×H2415×D570 アルミ製 ※設備図面「格子参考図」参照	【改修前】 卓球場 窓下腰壁 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設（卓球場4箇所） ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・壁仕上のより躯体へ樹脂アンカーにて取付 ※設備図面「格子参考図」参照
	【改修前】 壁 下地・仕上 撤去（38箇所×2個分） ・ブラケット外形寸法に対し、周囲30～50mm程度のクリアランスを確保し撤去する 【改修後】 壁 下地・仕上 補修（38箇所×2個分） ・ブラケットを避け、周囲を木製の見切り材（FP-G塗装）にて補修する	【改修前】 ー 【改修後】 エアコン防球格子取付用ブラケット 新設（19箇所×2個組） ・D800×H300 L=50×50 t=40 SOP塗装 ・RC躯体に直接樹脂アンカーにて固定、または鉄骨下地にボルト固定とする	【改修前】 ー 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設（19箇所） ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・壁仕上のより躯体または鉄骨下地に取付 ※設備図面「格子参考図」参照	【改修前】 ー 【改修後】 防護ネットセット 新設（卓球場4箇所） ・床置きエアコン用 防球格子に取付	【改修前】 壁付けバスケットゴール 撤去 【改修後】 壁付けバスケットゴール 新設 ・水平引込式バスケットゴール



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工程名称	工程名称
工程地点	工程地点
工程内容	工程内容
工程规模	工程规模
工程投资	工程投资
工程工期	工程工期
工程负责人	工程负责人
工程联系人	工程联系人
工程联系电话	工程联系电话
工程电子邮箱	工程电子邮箱
工程网址	工程网址
工程地址	工程地址
工程邮编	工程邮编
工程开户行	工程开户行
工程账号	工程账号
工程名称	工程名称

古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称	
------	--

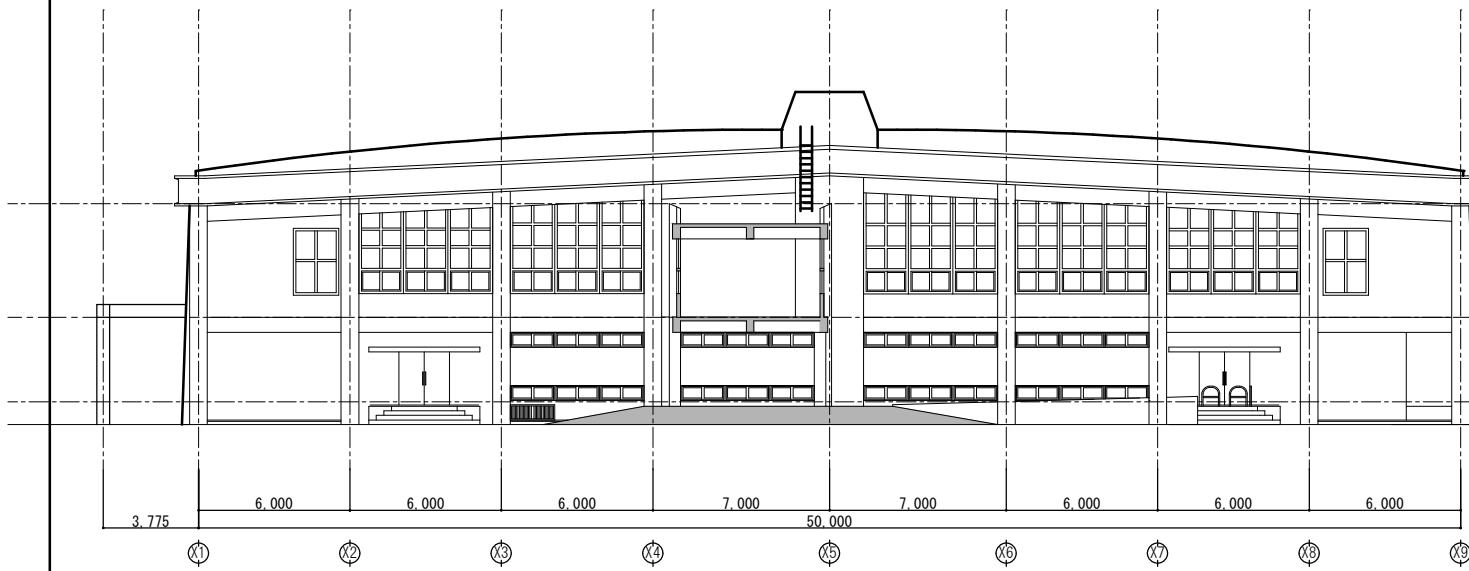
古賀中学校 体育館
2階平面図（改修前・後）

A3 縮尺

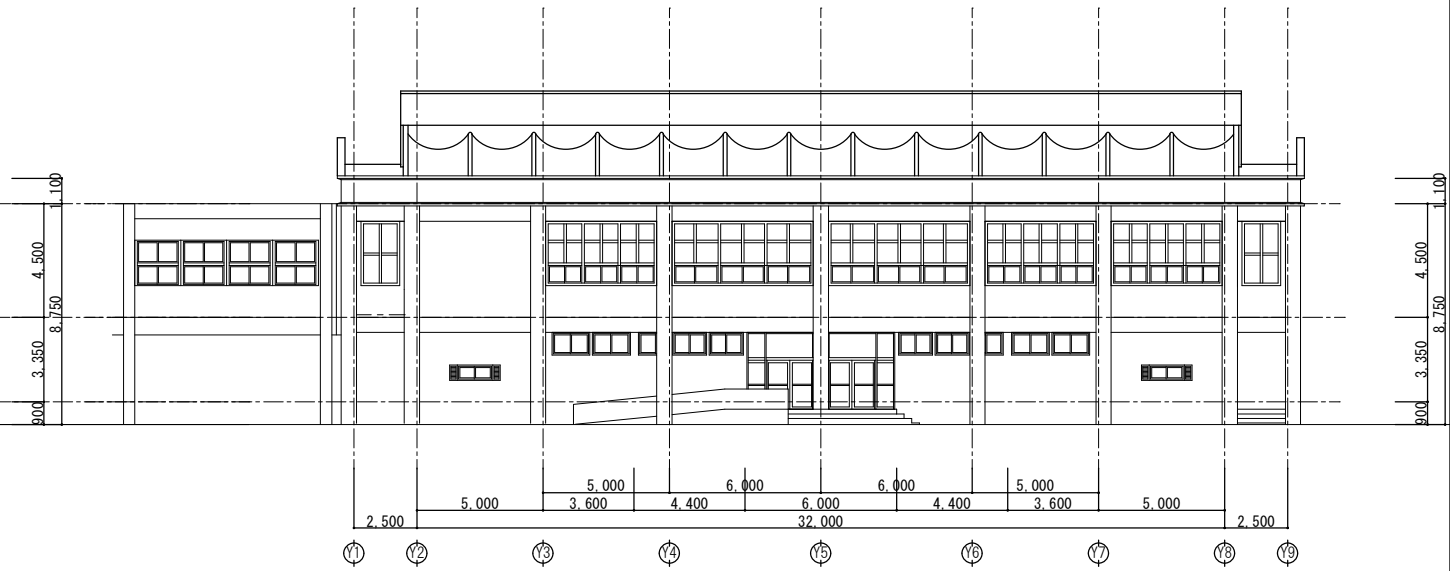
A1 縮尺	1.
-------	----

No

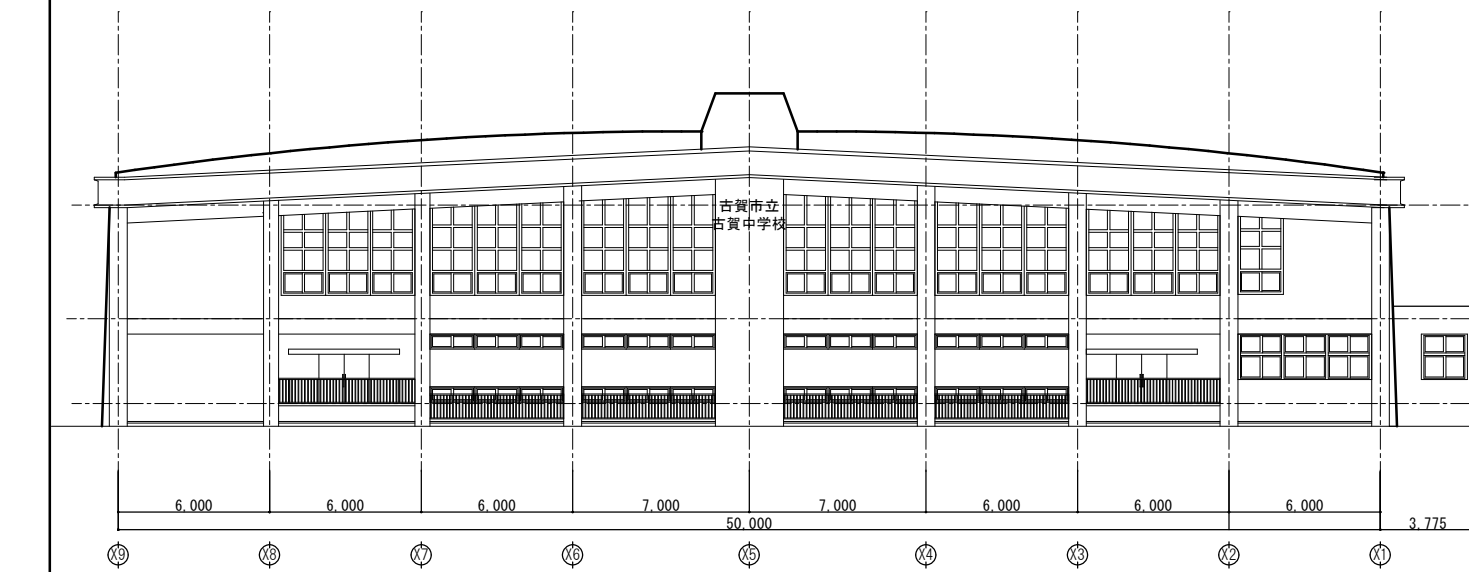
NO	A-2 1
日付	2025年12月



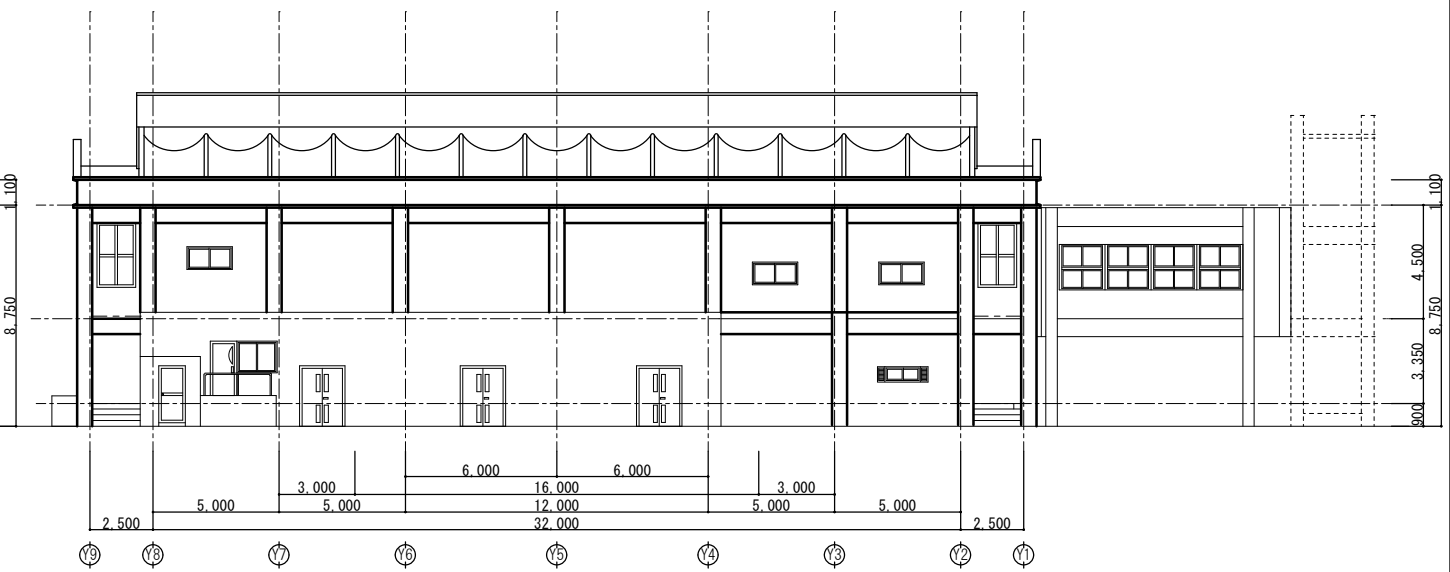
東側立面図（改修後）



北側立面図（改修後）



西側立面図（改修後）



南側立面図（改修後）

Ⓐ

Ⓑ

凡例 (改修前・後)	Ⓐ	【改修前】 外構 (図面外) 【改修後】 キュービクル置場 基礎・フェンス新設 ※配置図・外構図参照



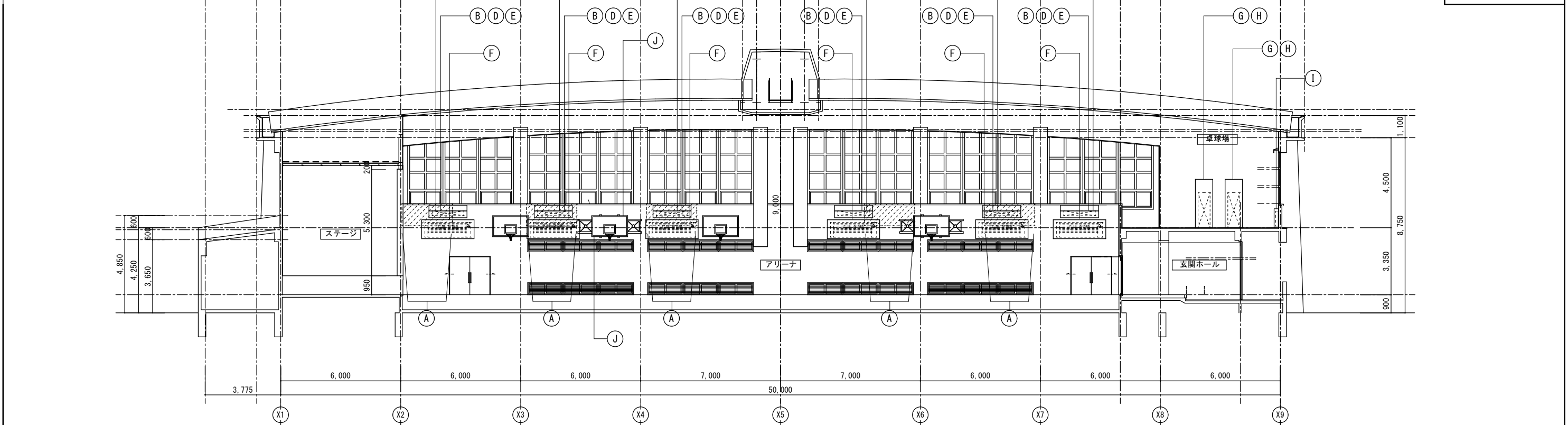
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

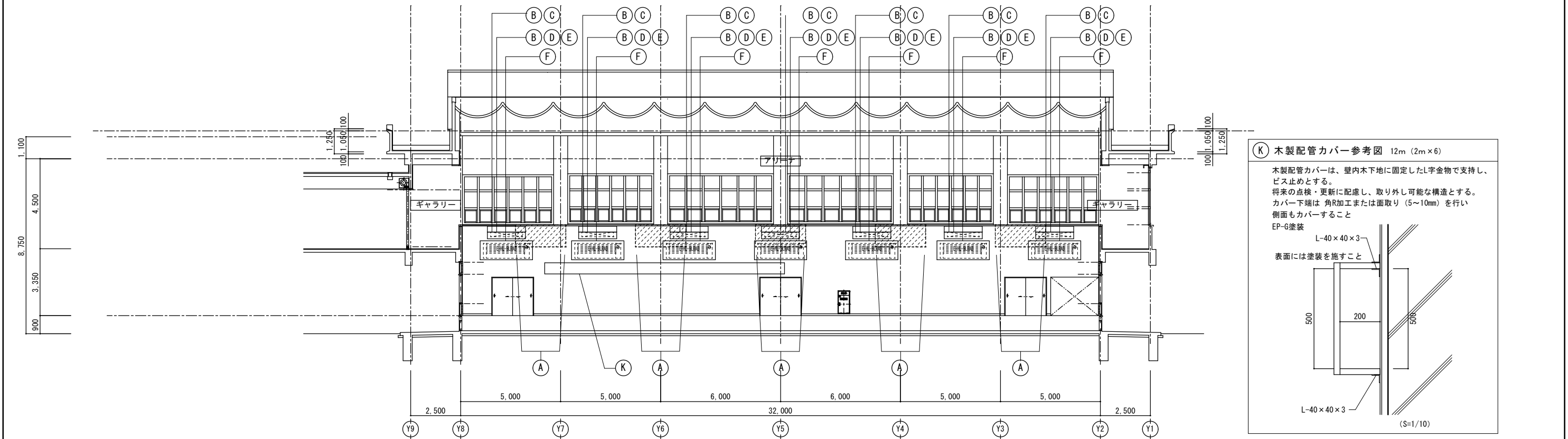
工事名称
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称
古賀中学校 体育館
立面図 (改修前・後)

A3 縮尺	—	No	A-22
A1 縮尺	1:150	日付	2025年12月



A断面図（改修前・後）



B断面図（改修前・後）

木製配管カバーは、壁内木下地に固定したL字金物で支持し、ビス止めとする。

将来の点検・更新に配慮し、取り外し可能な構造とする。

カバー下端は 角R加工または面取り（5～10mm）を行い側面もカバーすること

EP-G塗装

L-40×40×3

表面には塗装を施すこと

500

200

500

L-40×40×3

(S=1/10)

EP-G塗装

L-40 × 40 × 3

表面には塗装を施すこと

500

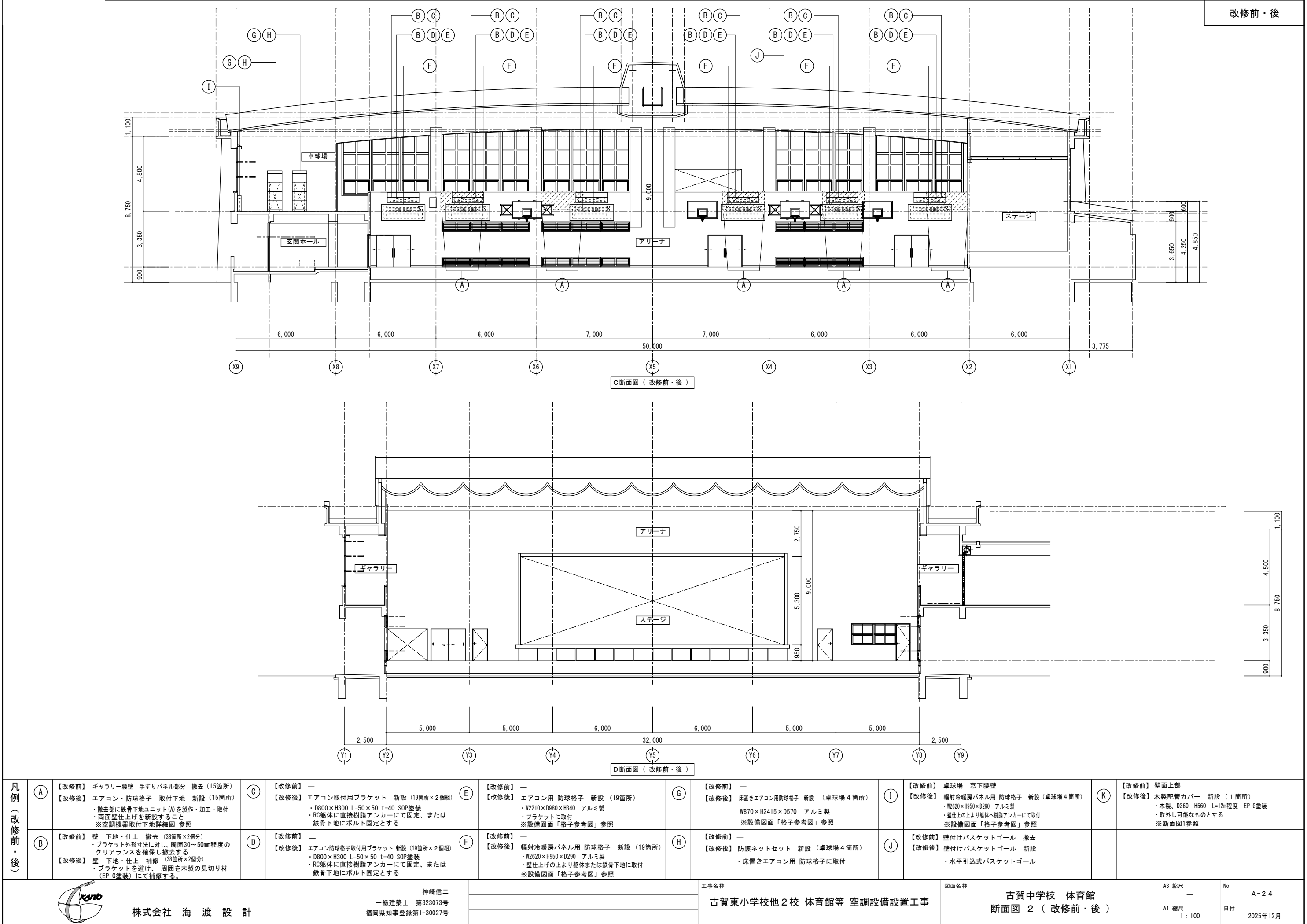
200

500

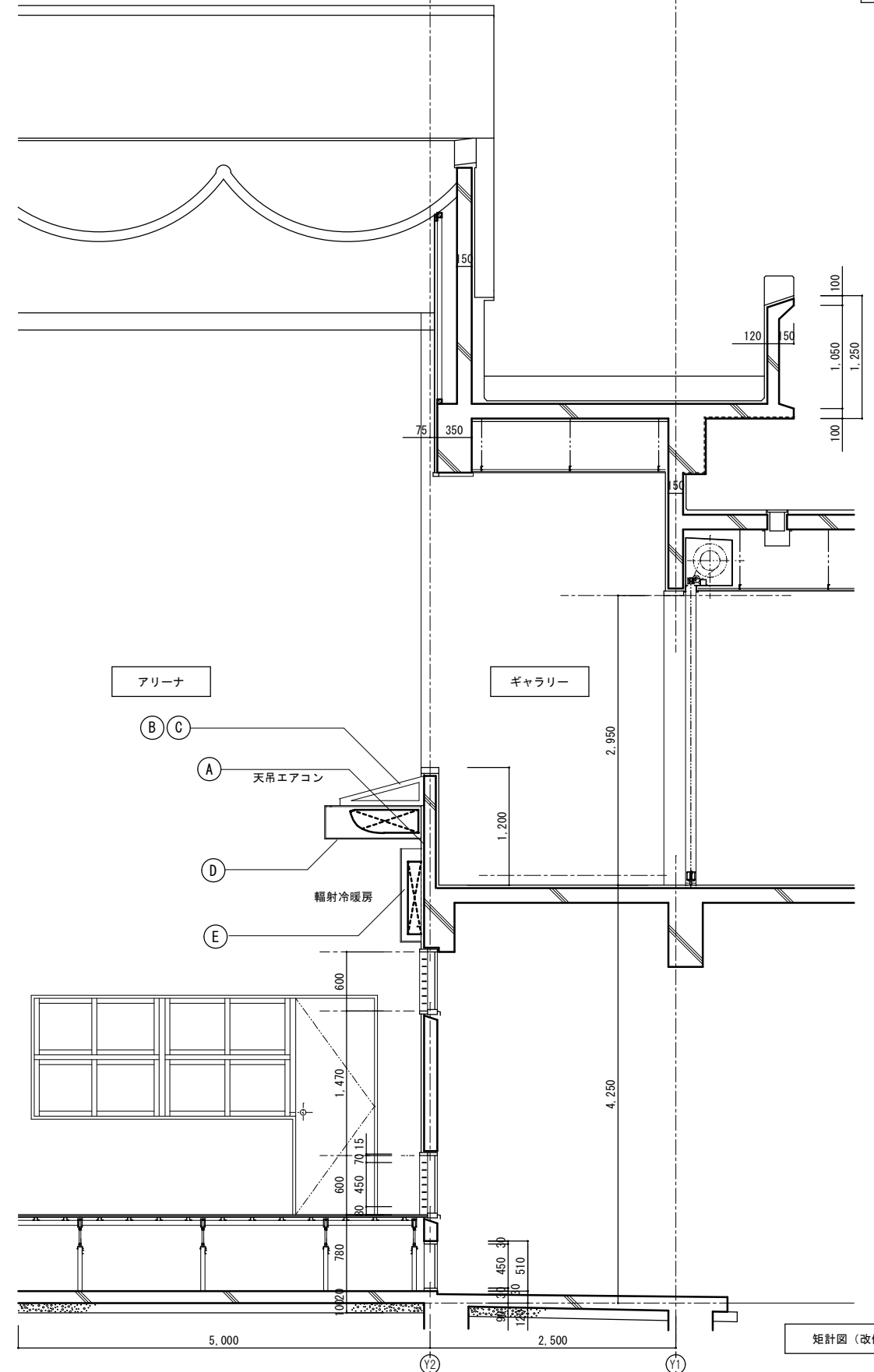
L-40 × 40 × 3

(S=1/10)

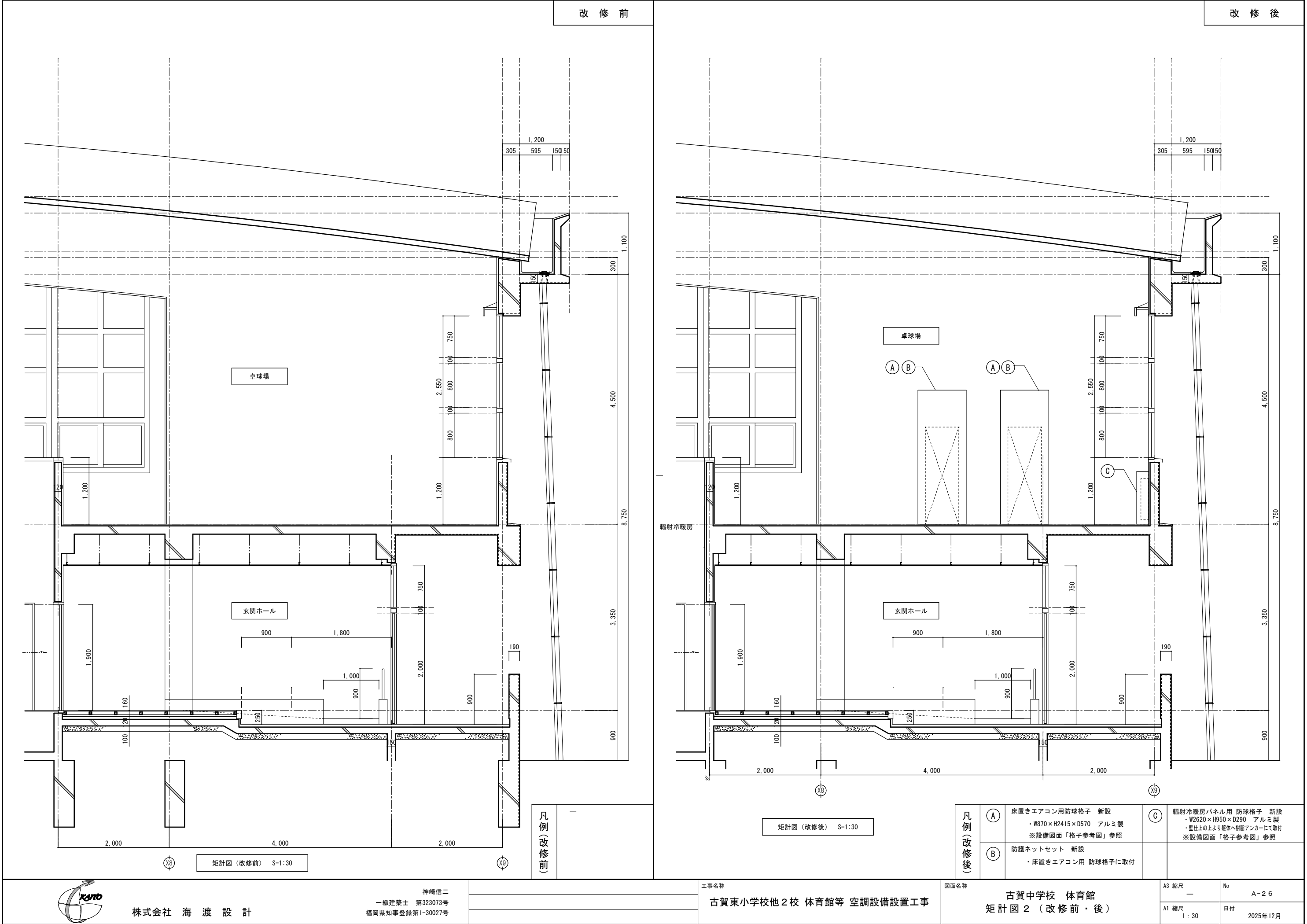
凡例 (改修前・後)	(A) 【改修前】 ギャラリー壁壁 手すりパネル部分 撤去 (15箇所) 【改修後】 エアコン・防球格子 取付下地 新設 (15箇所) ・撤去部に鉄骨下地ユニット(A)を製作・加工・取付 ・両面壁仕上げを新設すること ※空調機器取付下地詳細図 参照	(C) 【改修前】 — 【改修後】 エアコン取付用ブラケット 新設 (19箇所×2個組) ・D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 ・RC躯体に直接樹脂アンカーにて固定、または鉄骨下地にボルト固定とする	(E) 【改修前】 — 【改修後】 エアコン用 防球格子 新設 (19箇所) ・W2120×D980×H340 アルミ製 ・ブラケットに取付 ※設備図面「格子参考図」参照	(G) 【改修前】 — 【改修後】 床置きエアコン用防球格子 新設 (卓球場4箇所) W870×H2415×D570 アルミ製 ※設備図面「格子参考図」参照	(I) 【改修前】 卓球場 窓下腰壁 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 (卓球場4箇所) ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・壁仕上のより躯体へ樹脂アンカーにて取付 ※設備図面「格子参考図」参照	(K) 【改修前】 壁面上部 【改修後】 木製配管カバー 新設 (1箇所) ・木製、D360 H560 L=1212mm程度 EP-G塗装 ・取外し可能なものとす ※断面図1参照
	(B) 【改修前】 壁 下地・仕上 撤去 (38箇所×2個分) ・ブラケットが形寸法に対し、周囲30～50mm程度のクリアランスを確保し撤去する 【改修後】 壁 下地・仕上 補修 (38箇所×2個分) ・ブラケットを避け、周囲を木製の見切り材 (EP-G塗装) にて補修する。	(D) 【改修前】 — 【改修後】 エアコン防球格子取付用ブラケット 新設 (19箇所×2個組) ・D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 ・RC躯体に直接樹脂アンカーにて固定、または鉄骨下地にボルト固定とする	(F) 【改修前】 — 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 (19箇所) ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・壁仕上げのより躯体または鉄骨下地に取付 ※設備図面「格子参考図」参照	(H) 【改修前】 — 【改修後】 防護ネットセット 新設 (卓球場4箇所) ・床置きエアコン用 防球格子に取付	(J) 【改修前】 壁付けバスケットゴール 撤去 【改修後】 壁付けバスケットゴール 新設 ・水平引込式バスケットゴール	

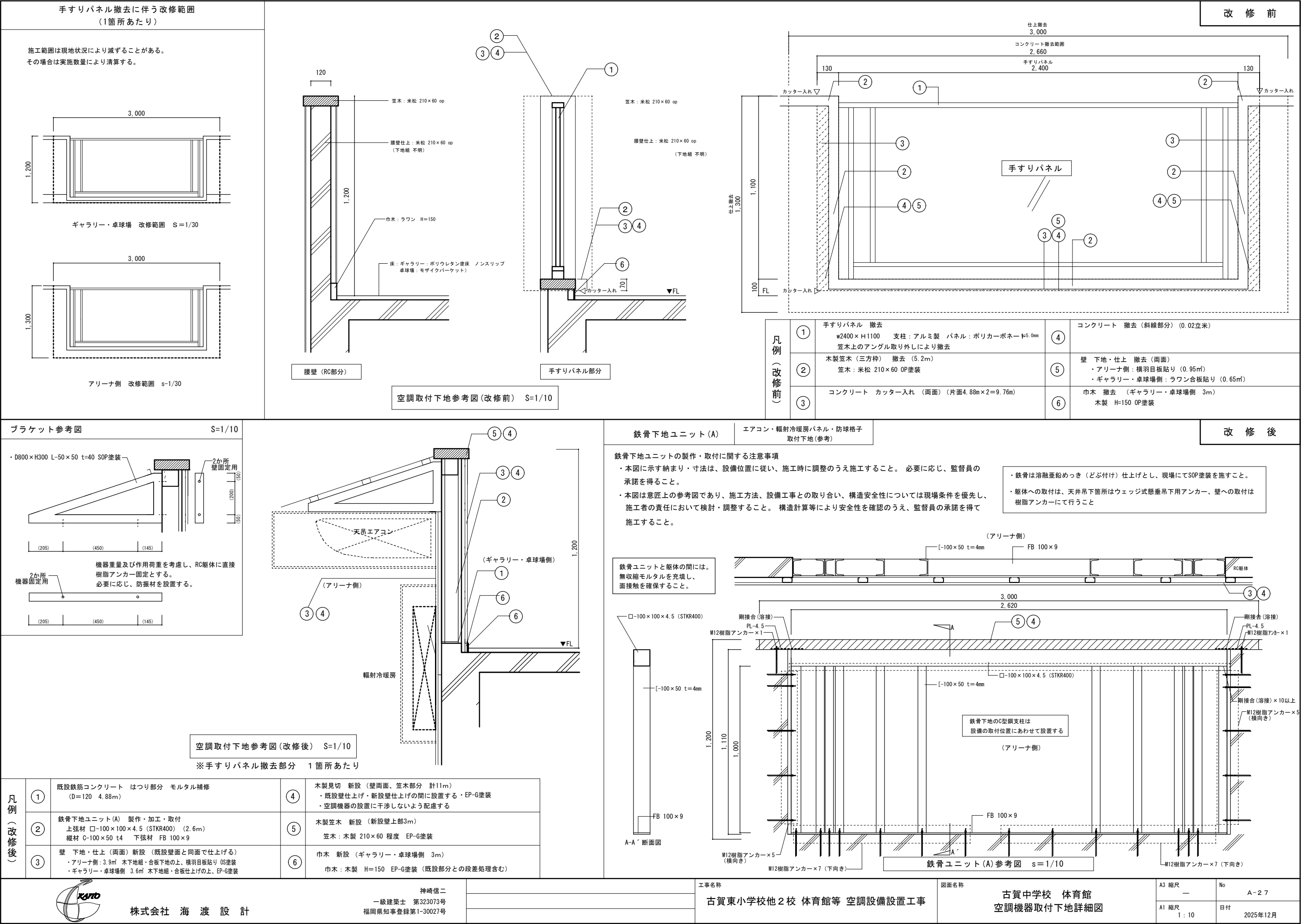


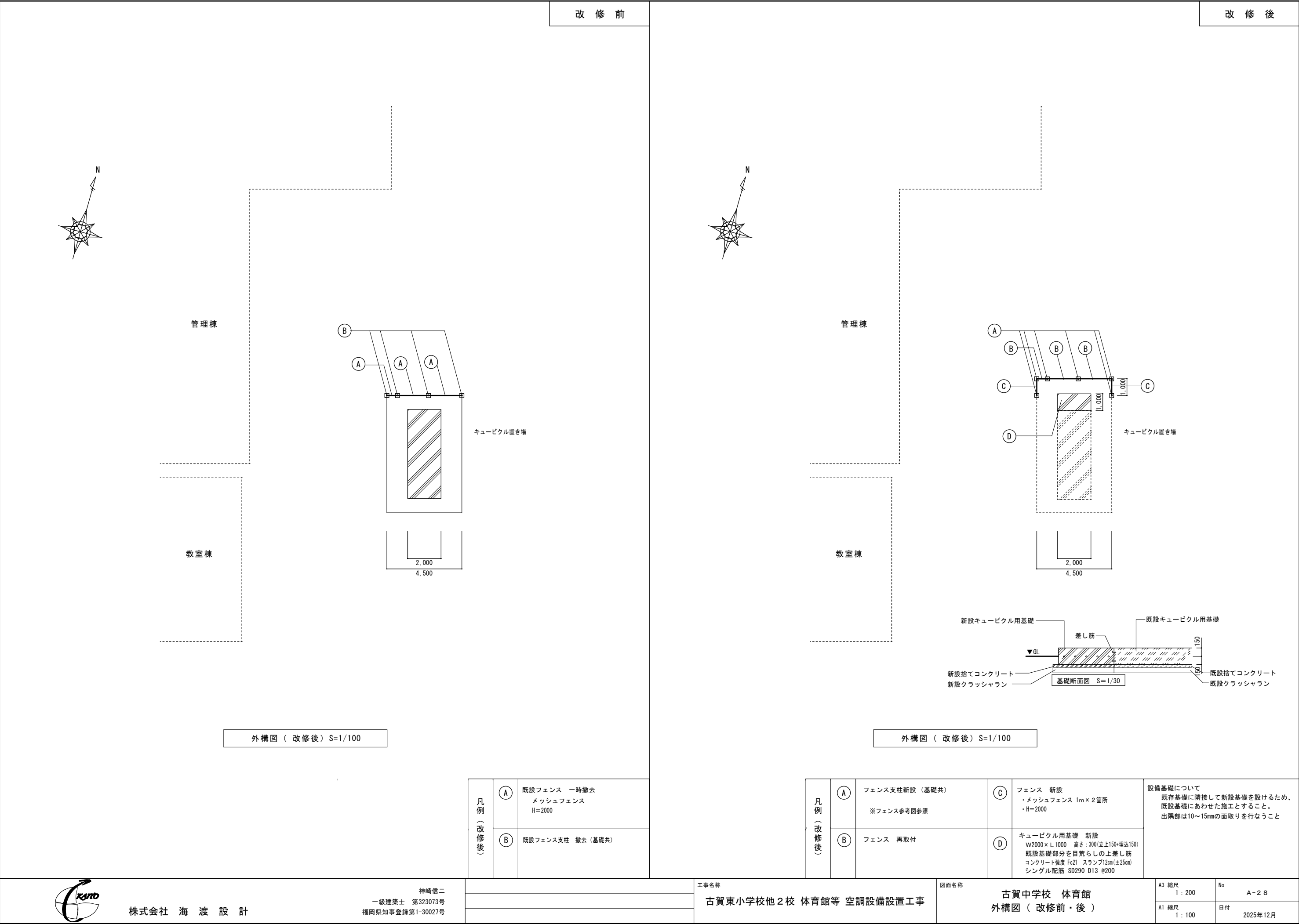
改修後



凡例 (改修前)	(A)	壁 下地・仕上 撤去 ・ブラケット外形寸法に対し、周囲30～50mm 程度のクリアランスを確保し撤去する	凡例 (改修後)	(A)	壁 下地・仕上 補修 ・ブラケットを避け、周囲を木製の見切り材 (EP-G塗装)にて補修する。	(C)	エアコン防球格子取付用ブラケット 新設 ・D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 ・RC躯体に直接樹脂アンカーにて固定、または 鉄骨下地にボルト固定とする	(E)	輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・壁仕上のより躯体または鉄骨下地に取付 ※設備図面「格子参考図」参照
				(B)	エアコン取付用ブラケット 新設 ・D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 ・RC躯体に直接樹脂アンカーにて固定、または 鉄骨下地にボルト固定とする	(D)	エアコン用 防球格子 新設 ・W2210×D980×H340 アルミ製 ・ブラケットに取付 ※設備図面「格子参考図」参照		

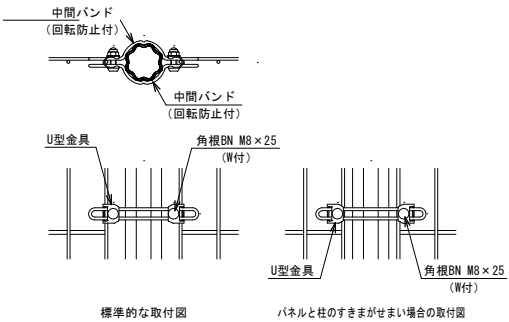
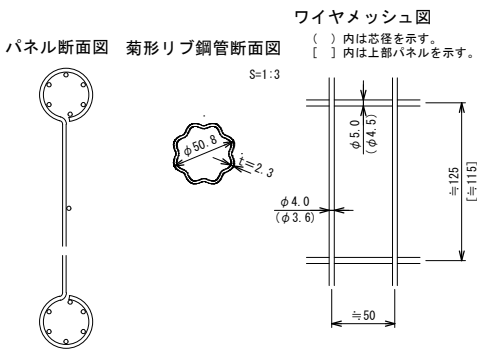
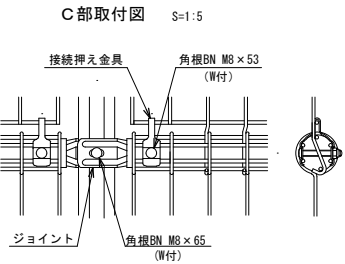
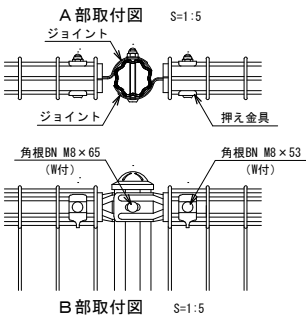
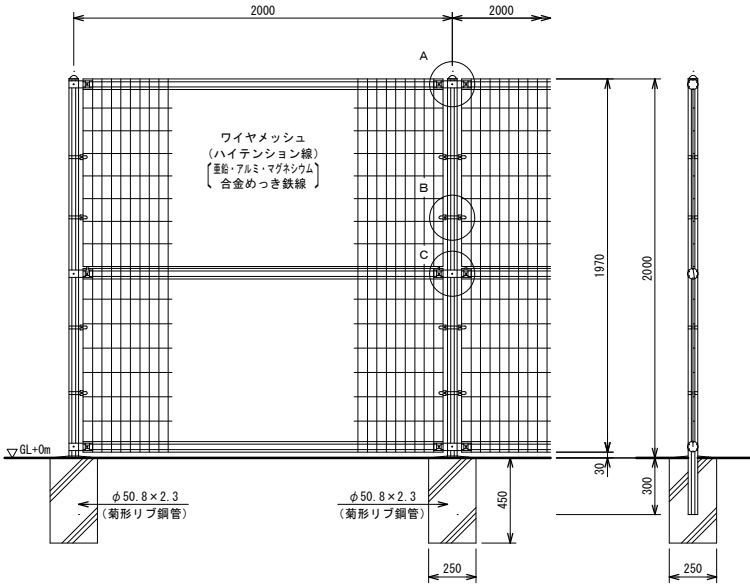






設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に
依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m²(10t/m²)

備考
1. 外装について
・主柱、ジョイント・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっ
きの上高耐候性樹脂粉末塗装
・押え金具
ワイヤメッシュ
・バ ン ド・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性
樹脂粉末塗装
・U 型 金 具・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっ
きの上防錆着色処理
・ボルト、ナット・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理



■改修概要（古賀中学校 武道場）空調設備改修

1）外部の改修

—

2）内部の改修

・空調取付用ブラケット 新設
・壁：下地・仕上 一部撤去・補修
・天井点検口 新設

■構造概要（古賀中学校 武道場）空調設備改修

地 業

基 礎

軀 体

屋 根

備 考

—

—

—

—

—

■外部仕上表（古賀中学校 武道場）空調設備改修

改修前

エ プ ロ ン

幅 木

壁

軒 天

バラベット

屋 根

外部開口部

備 考

【ポーチ】
150角磁器質タイル貼（ノンスリップ）
ビニールラインマット（600×3250）
枠：FB 6×25 ステンレス（既存のまま）
【スロープ】
150角磁器質タイル貼（ノンスリップ）（既存のまま）
【犬走り・渡り廊下】
コンクリートコテ押え（目地切）（既存のまま）
北面一部：既設セツ器質レンガタイル貼（既設のまま）

H=GL+450

化粧型枠コンクリート打放しの上
吹付タイル（外部増打t=20）（既存のまま）

石綿ケイカル板 目透し貼 EP（既存のまま）
【換気用】
有孔石綿ケイカル板 目透し貼 EP（既存のまま）
【玄関庇】
軒先：フッ素樹脂銅板t=0.4（既存のまま）
軒裏：アルミスバンドレルt=1.0（既存のまま）

【天端】
コンクリート打放しの上
アクリルゴム系防水塗料（既存のまま）

フッ素樹脂銅板（一文字葺）t=0.4（既存のまま）
コンクリート増打の上
アスファルト露出防水（露出用特殊砂付ルーフィング）
シルバーコート吹付（ゴム系）（既存のまま）
膨れ防止用ステンレス脱気筒（14ヶ所）（既存のまま）
【渡り廊下】
ルーフデッキt=0.8（W=200 H=85）（既存のまま）

—

手摺：アルミ（電解発色）50φ（既存のまま）
手摺子：アルミ（電解発色）48.5φ@1500（既存のまま）
樋：硬質塩ビ管 100φ VP（既存のまま）
呼び樋：硬質塩ビ管 60φ VP（既存のまま）
タラップ：ステンス 25φ（SUS 304）H.L（既存のまま）
ステンス 22φ（SUS 304）H.L（既存のまま）
足金物：ステンス（SUS 304）H.L 50×6 @1200（既存のまま）
館名表示：ｶﾀｰｽﾃﾝｽ（箱文字）200角（既存のまま）

改修後

—

—

—

—

—

—

—

■内部仕上表（古賀中学校 武道場）空調設備改修

階

改修前

改修後

室 名

区分

床

巾 木

H

区分

腰 壁

塗装

区分

壁

塗装

廻り縁

区分

天 井

塗装

天井高

備 考

1階

武道場
（剣道場）

下地

LGS下地（既存のまま）
合板t=15下地（既存のまま）

堅木
OP塗り

100

下地

—

—

CL

下地

木組下地（一部撤去）

CL

—

下地

RC増打t=15（既存のまま）

AEP

3,800
～
4,200

仕上

桧フローリング（JAS特殊貼）t=5 PP（既存のまま）

—

—

—

下地

—

—

CL

仕上

桧羽目板（本実）横貼t=15（一部撤去）

CL

下地

LGS+合板t=12下地（一部撤去）

CL

下地

LGS下地（既存のまま）

—

4,200

仕上

—

—

—

下地

—

—

—

下地

—

—

—

天井点検口（ホール）（新設）
サイン（新設）
空調取付用ブラケット（新設）

2階

武道場
（柔道場）

下地

LGS下地（既存のまま）
合板t=15下地（既存のまま）

堅木
OP塗り

100

下地

—

—

CL

下地

木組下地（一部撤去）

CL

—

下地

RC増打t=15（既存のまま）

AEP

3,800
～
4,200

仕上

桧フローリング（JAS特殊貼）t=5 PP（既存のまま）

—

—

—

下地

—

—

CL

仕上

桧羽目板（本実）横貼t=15（一部撤去）

CL

下地

LGS+合板t=12下地（一部撤去）

CL

下地

LGS下地（既存のまま）

—

4,200

仕上

—

—

—

下地

—

—

—

下地

—

—

—

サイン（新設）
空調取付用ブラケット（新設）

略 語

防 火 認 定 番 号

●・・・アスベスト含有建材を示す
（本工事の建材には含有なし）

S O P

合成樹脂調合ペイント塗り

E P-G

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り

石膏ボード t=12.5

不燃 NM-8619

E P

合成樹脂エマルションペイント塗り

化粧石膏ボード t=9.5

準不燃 QM-0524

N A D

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り

シーリング石膏ボード t=9.5

準不燃 QM-9828

株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称

古賀中学校 武道場
仕上表（改修前・後）

A3 縮尺

—

No

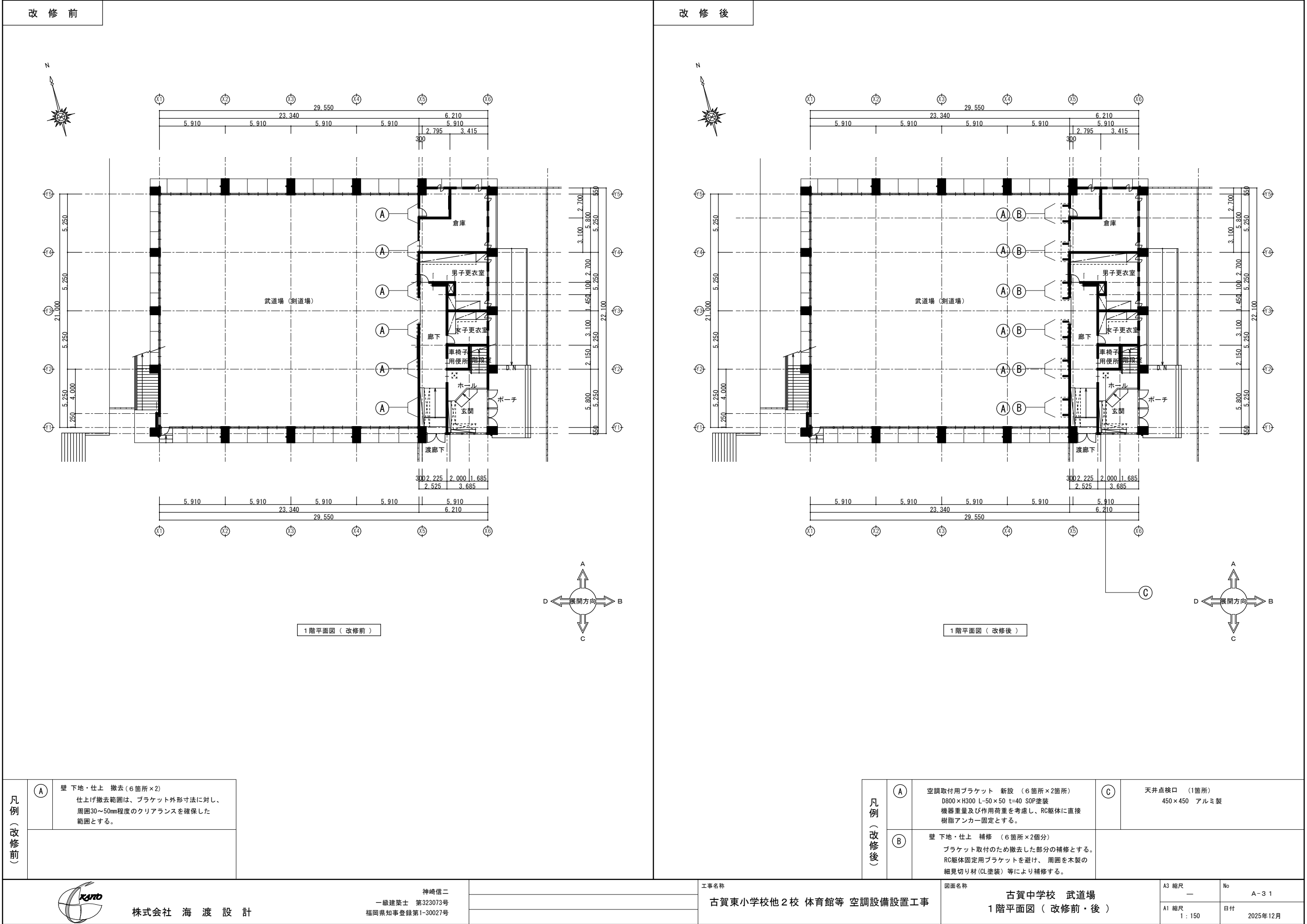
A-30

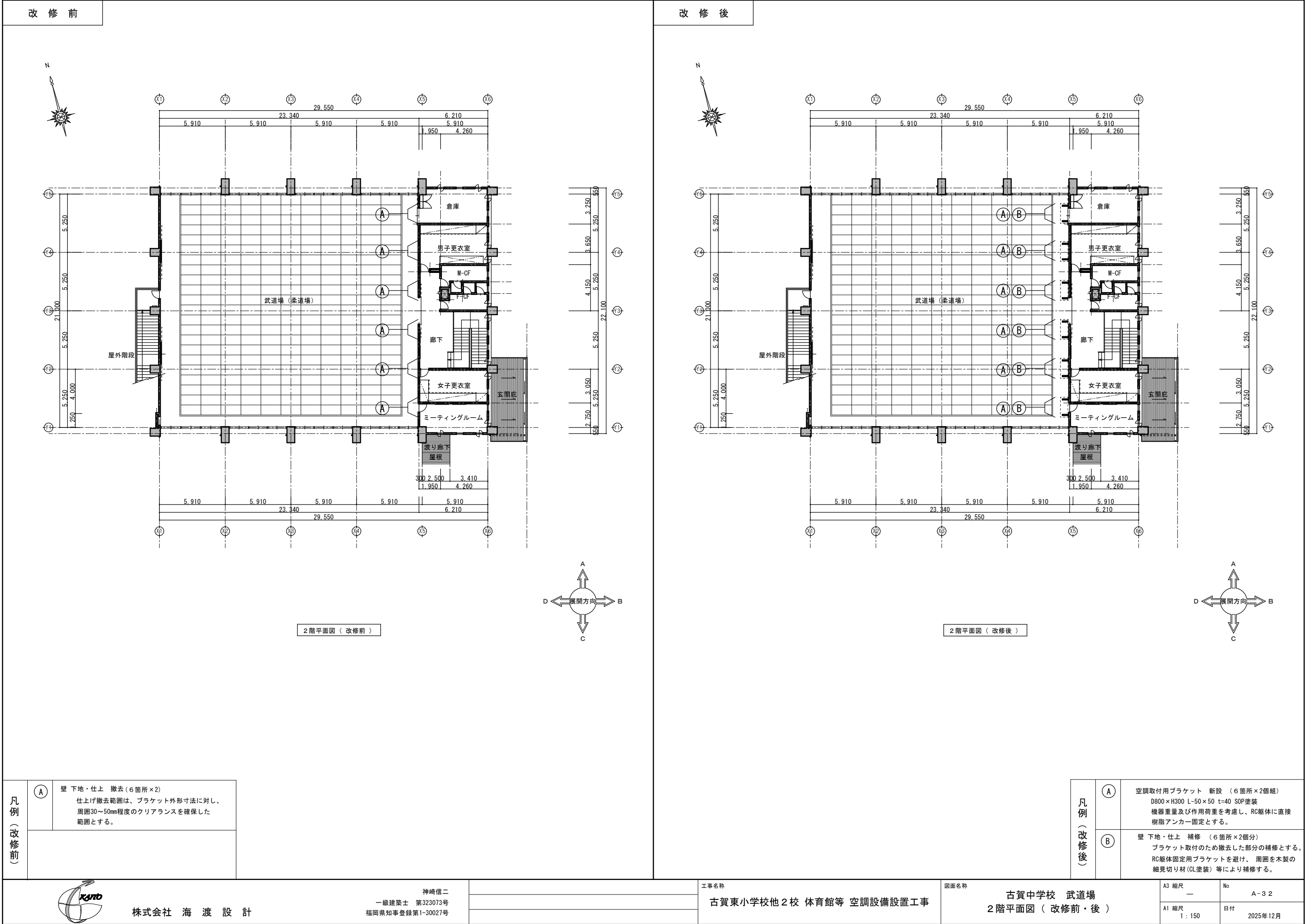
A1 縮尺

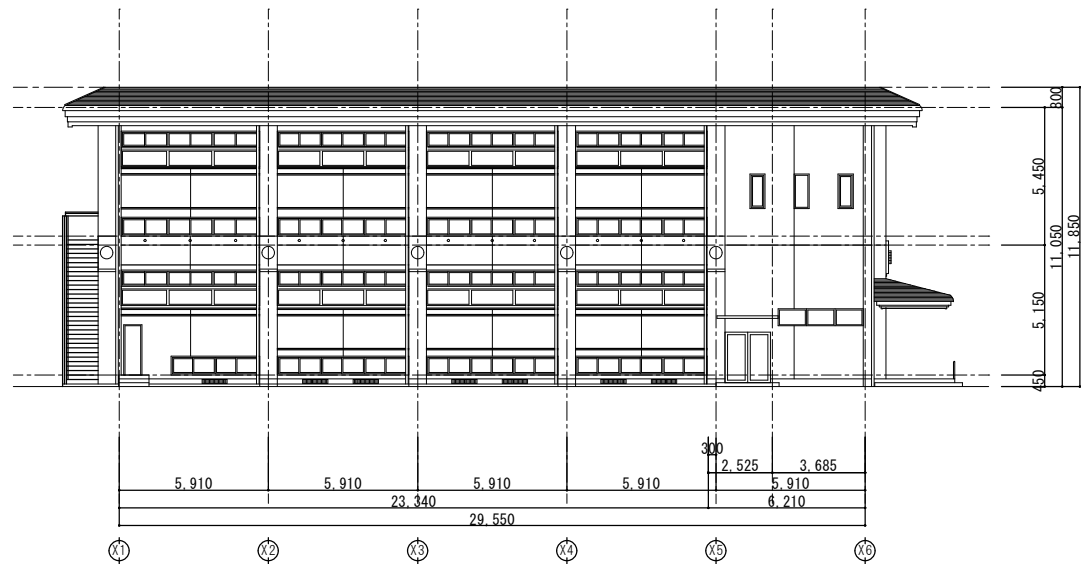
—

日付

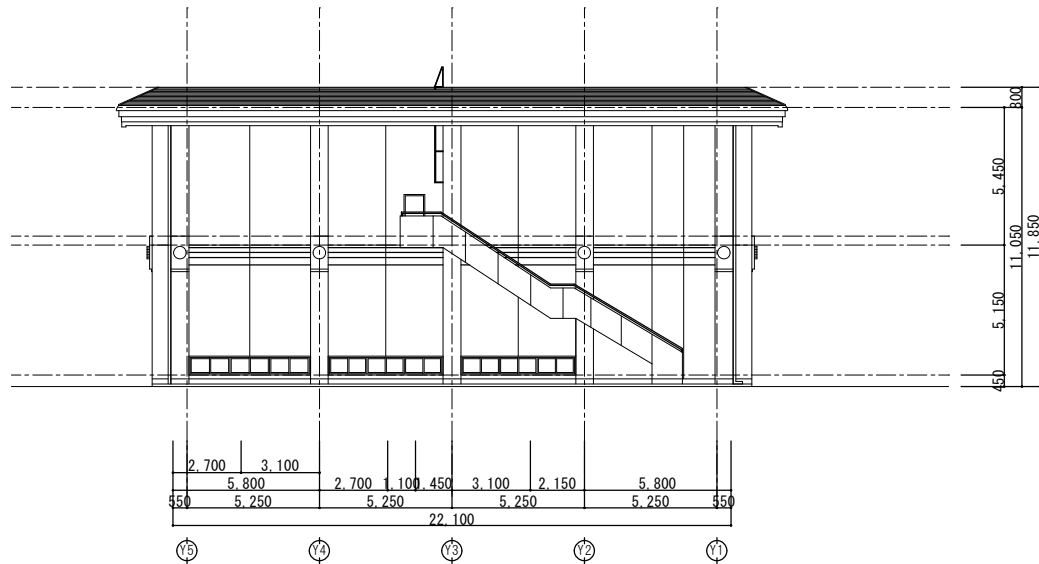
2025年12月



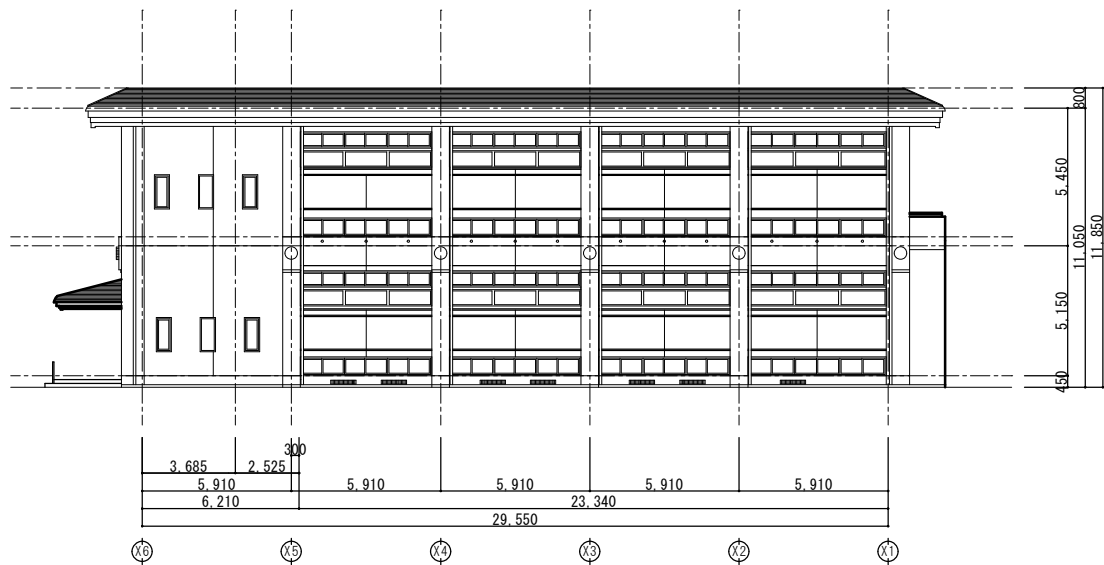




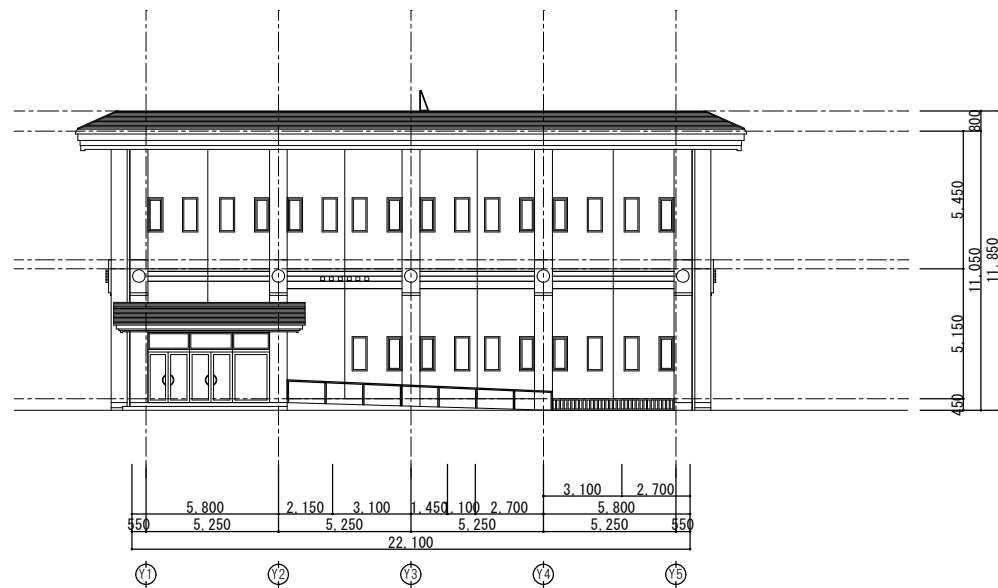
南側立面図（改修前・後）



西側立面図（改修前・後）



北側立面図（改修前・後）



東側立面図（改修前・後）

凡例
（改修前・後）

建物外部 改修なし



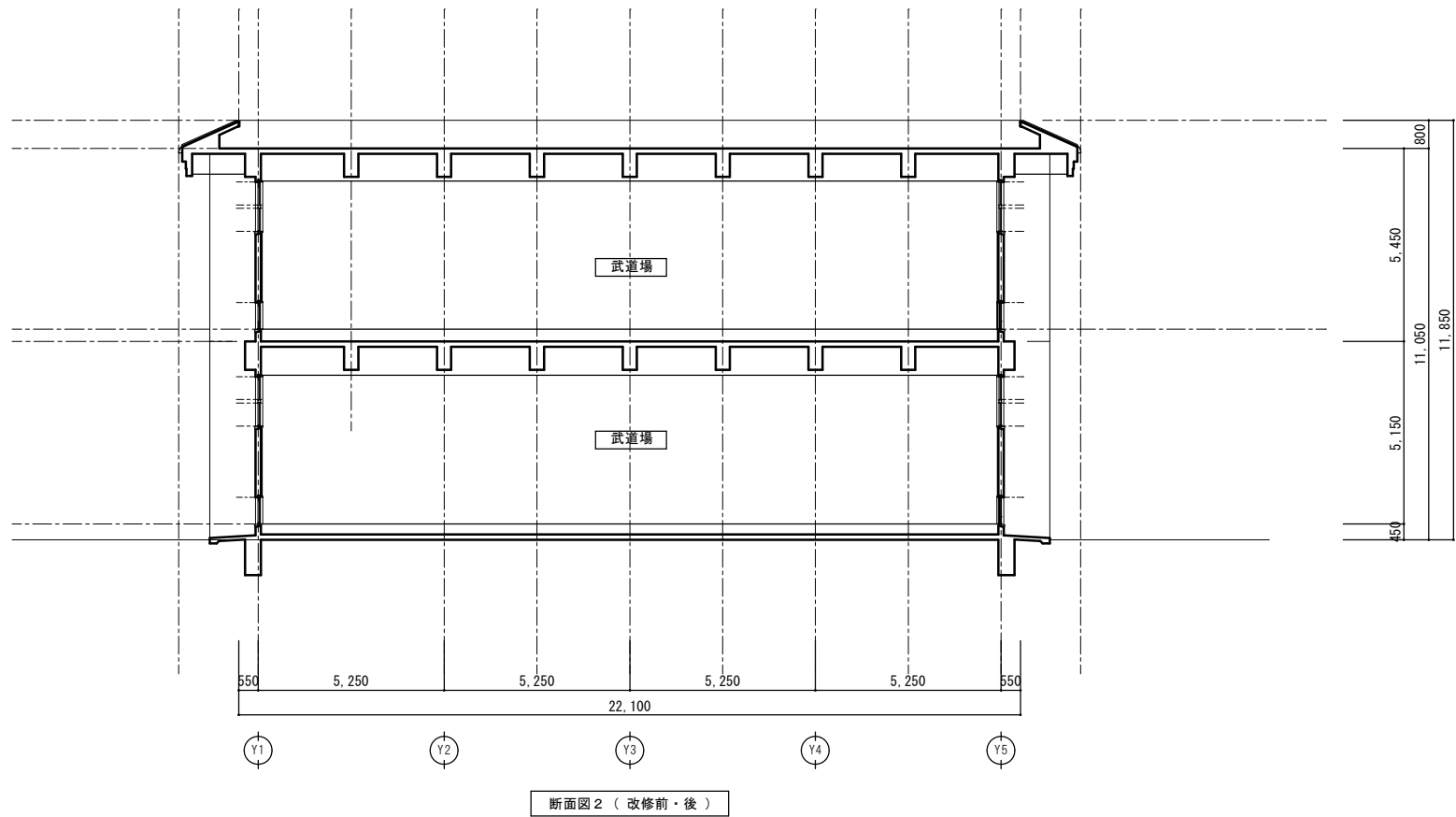
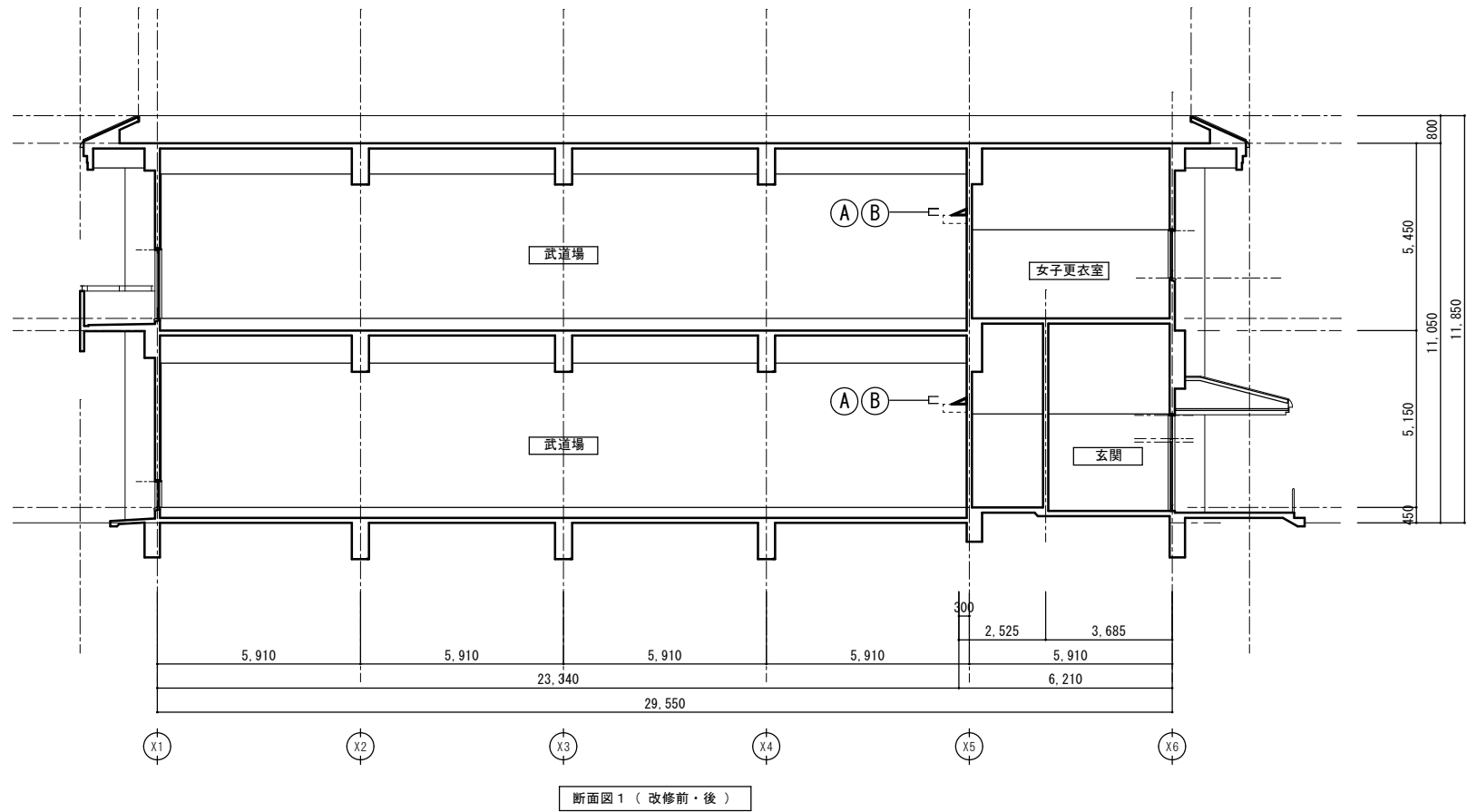
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称
古賀中学校 武道場
立面図（改修前・後）

A3 縮尺 —	No A-3 3
A1 縮尺 1:150	日付 2025年12月



凡例 (改修前・後)	①	【改修前】壁 下地・仕上 撤去 仕上げ撤去範囲は、ブラケット外形寸法に対し、周囲30～50mm程度のクリアランスを確保した範囲とする 【改修後】壁 下地・仕上 補修 ブラケット取付のため撤去した部分の補修とする。RC躯体固定用ブラケットを避け、周囲を木製の細見切り材 (DL塗装) 等により補修する。
	②	【改修前】— 【改修後】空調取付用ブラケット 新設 D800×H300 L=50×50 t=40 SOP塗装 機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接樹脂アンカー固定とする。



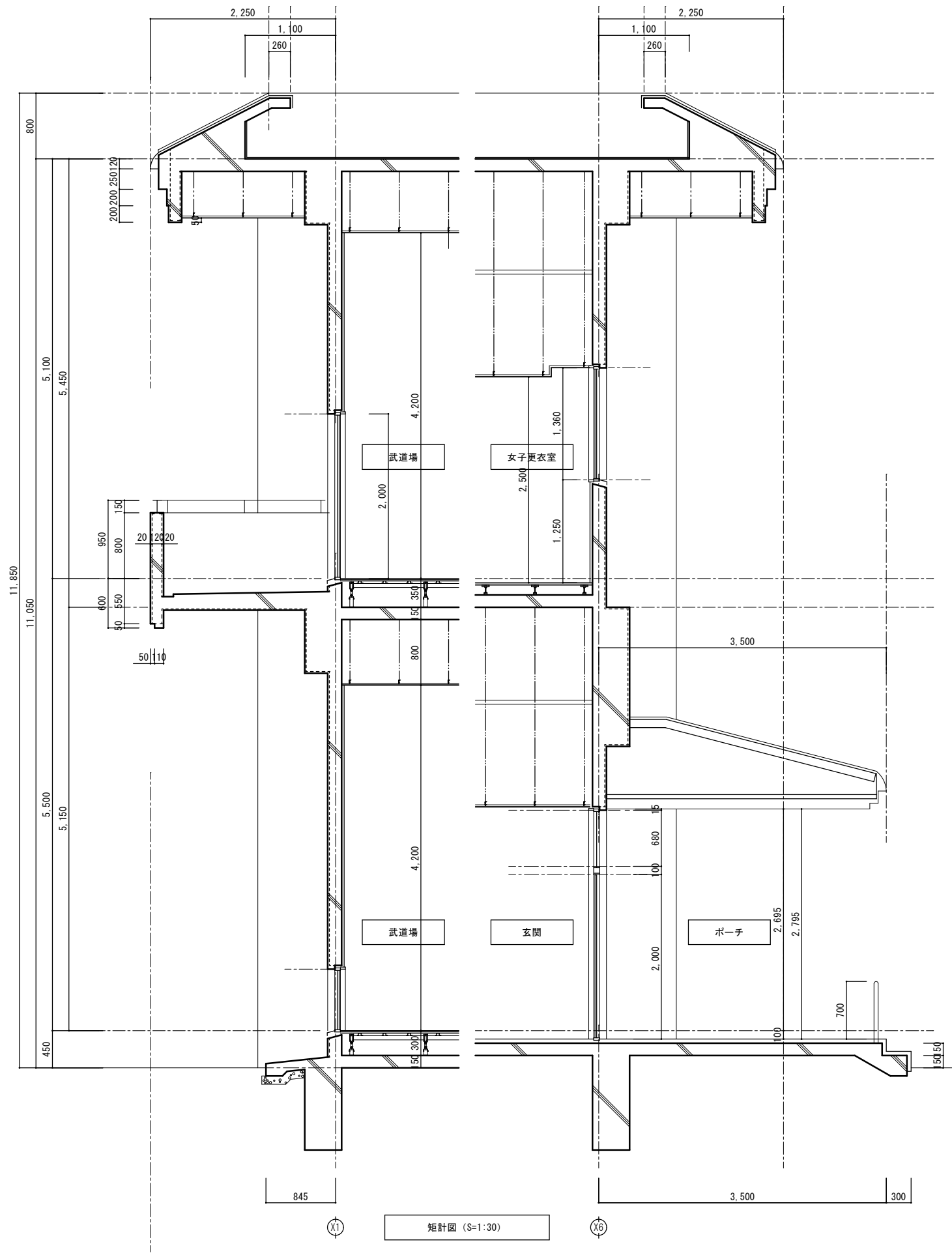
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称
古賀中学校 武道場
断面図 (改 修 前 ・ 後)

A3 縮尺	—	No	A-3 4
A1 縮尺	1 : 100	日付	2025年12月

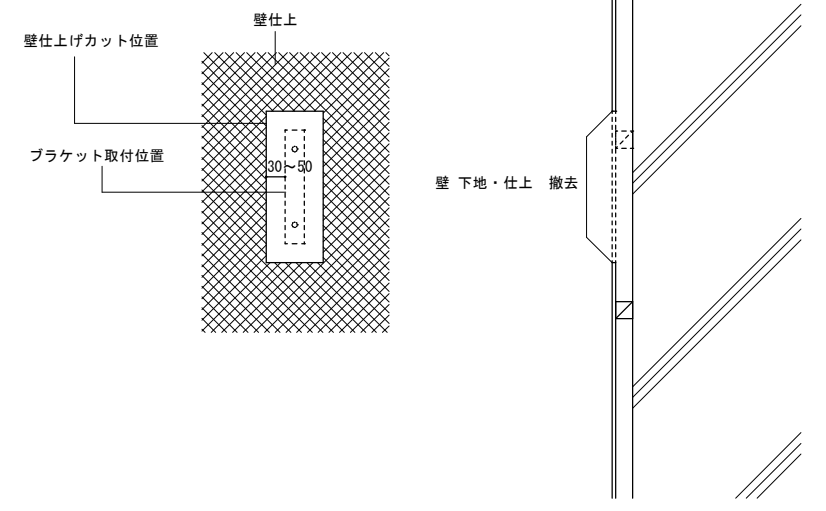


矩計図 (S=1:30)

支持金物取付参考図

改修前

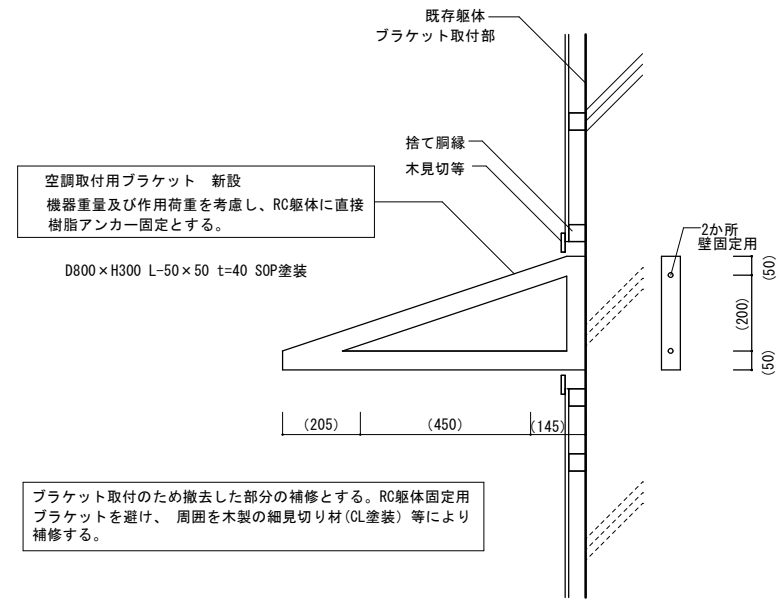
仕上げ撤去範囲は、ブラケット外形寸法に対し、クリアランスを確保した範囲とする



改修前 1/10

改修後

- ・必要に応じ、施工時にコンクリート引抜試験を行うこと
- ・必要に応じ、防振材を設置する



改修後 1/10



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称

古賀中学校 武道場
矩計図・支持金物取付参考図

A3 縮尺

—

A1 縮尺

1:30

No

A-35

日付

2025年12月

武道場は運用しながらの工事のため、十分な協議を行うこと
内部区画を適切に行い、安全性に配慮すること
2階柔道場の工事の際は必要箇所の畳を撤去、仮保管し、工事後復旧すること

図 面 3 配 置 図

凡 例（仮設計画）		
外部足場	XXXXXX	
仮囲い	○---○	H2000程度
ローリング足場	⊠	工事期間中配置
建物出入口	▷	
現場事務所	✕	
特記事項		
凡 例		
	工事対象様を示す。	
	既存建物	
	GLからのレベルを示す。	
	交通誘導警備員（資材搬出入時等）（40人見込むこと）	
	工事動線を示す。	
	生徒及び職員の動線を示す。	
	来客の動線を示す。	
	搬入車輛出入口を示す。	
特記事項	工事用出入口位置及び作業時間、足場設置位置については学校と十分協議のこと。 工事完了時、作業場及び進入路は原型復旧のこと。	

体育館は体育授業等で運用しながら工事の為、学校側と十分に協議のこと
居ながら施工であるため、内部を適切に区画し、安全確保と動線確保に配慮して施工すること

配置図 S=1/500



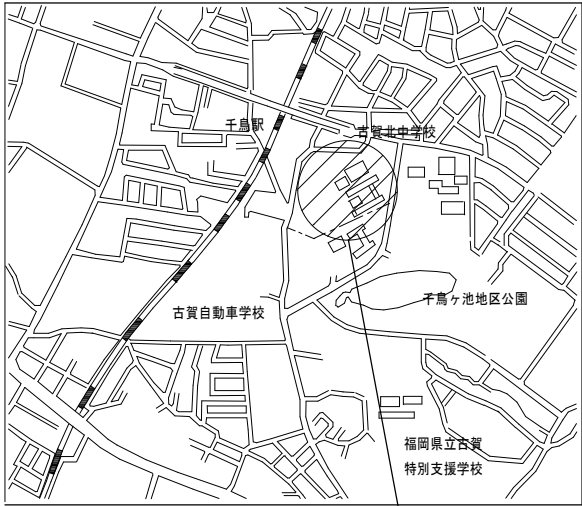
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

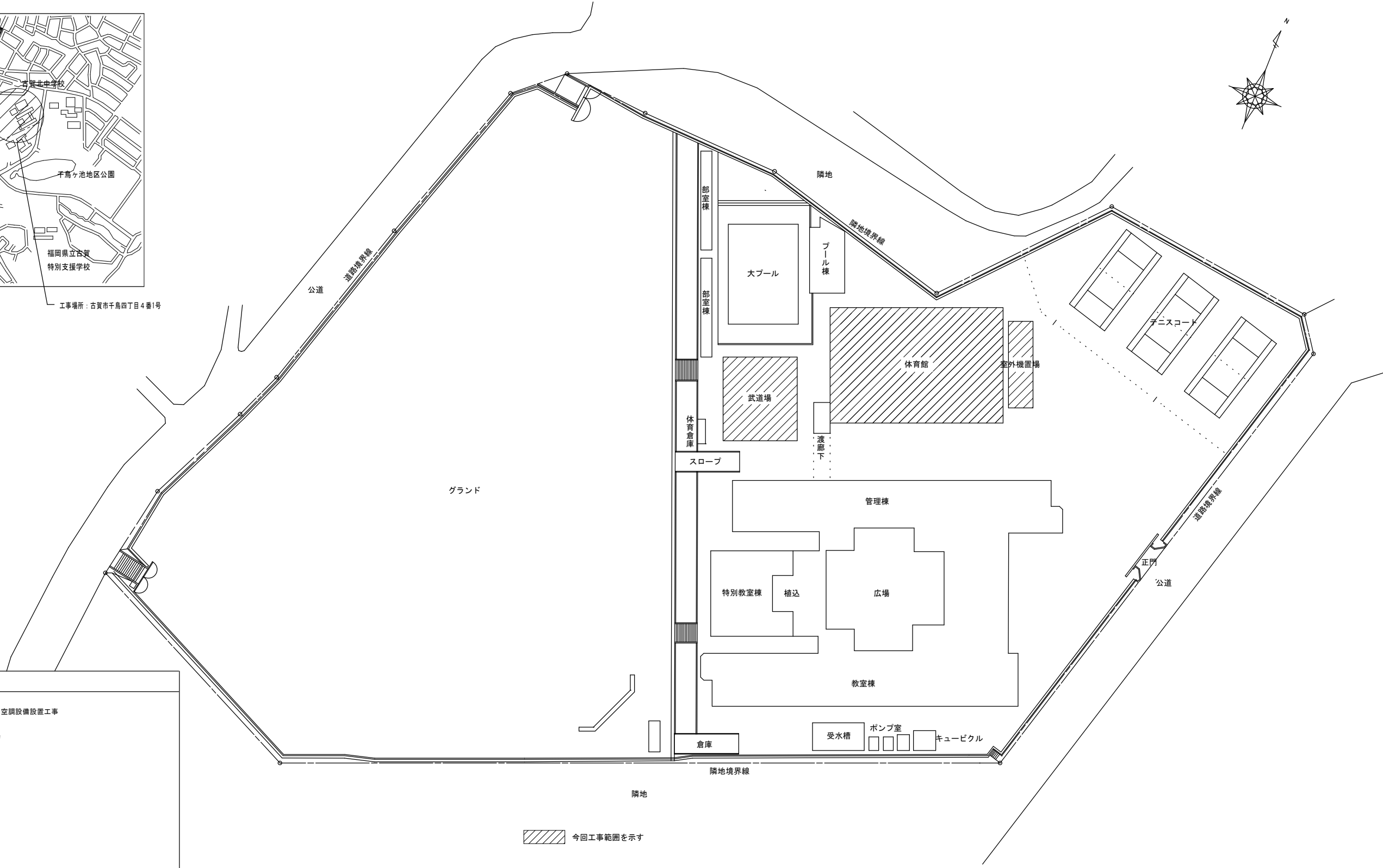
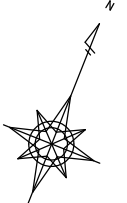
工事名称
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称
古賀中学校
仮設計画図

A3 縮尺 S=1/1000	No A-3 6
A1 縮尺 S=1/500	日付 2025年12月



工事場所：古賀市千鳥四丁目4番1号



今回工事範囲を示す

配置図 S=1/500

工事概要		
工事名称	古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事	
工事場所	古賀北中学校 体育館・武道場 古賀市千鳥四丁目4番1号	
地域地区等 区域区分 用途地域 建蔽率・容積率 防火地域 その他の地域・地区	都市計画区域内 市街化区域 第一種低層住居専用地域 建蔽率40% 容積率60% 指定なし 法第22条区域	
	体育館	武道場
建築面積	1357.362㎡	461.1511㎡
延べ面積	2F 330.11㎡ 1F 1198.276㎡ 地下 35.91㎡ 合計 1564.296㎡	2F 278.478㎡ 1F 313.47㎡ 合計 591.948㎡
工事内容	空調設備設置工事 内部改修工事 外構工事	空調設備設置工事 外構工事



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称
古賀北中学校
工事概要・付近見取図・配置図

A3 縮尺 S=1/1000	No A-3 7
A1 縮尺 S=1/500	日付 2025年12月

■ 改 修 概 要 （ 古 賀 北 中 学 校 体 育 館 ） 空 調 設 備 改 修																									
1）外部の改修			・バルクタンク置場基礎・フェンス新設 ・GHP室外機置場 遮音フェンス新設 ・GHP室外機置場 基礎新設 ・アスファルト舗装 新設 ・駐車区画線 新設					・室外機置場 基礎周辺 砕石敷き・緑石新設 ・サイン 新設 ・車止めブロック 新設 ・インターロッキング 一時撤去・復旧					2）内部の改修			・エアコン・防球格子 取付下地 新設 ・輻射冷暖房パネル・防球格子 取付下地 新設 ・壁：下地・仕上 撤去・補修（ブラケット取付部） ・エアコン取付用ブラケット 新設 ・エアコン防球格子取付用ブラケット 新設					・エアコン用 防球格子 新設 ・輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 ・天井点検口 新設 ・サイン 新設 新設 ・バスケットゴール 一時撤去・再設置				
■ 構 造 概 要 （ 古 賀 北 中 学 校 体 育 館 ） 空 調 設 備 改 修																									
地 業				基 礎				軀 体				屋 根				備 考									
—				—				鉄筋コンクリート造				鉄筋コンクリート造・鉄骨造				—									
■ 外 部 仕 上 表 （ 古 賀 中 学 校 体 育 館 ） 空 調 設 備 改 修																									
		エ プ ロ ン			幅 木			壁			軒 天			バラベツト			屋 根			外部開口部			備 考		
	改修前	【玄関ポーチ・スロープ】 100角磁器質タイル貼り（ノンスリップ）（既存のまま） 【倉庫及び非常口ポーチ】 モルタル金ゴテ目地切（既存のまま） 段鼻：ノンスリップタイル貼り（W=60）（既存のまま） 【犬走り】 モルタル金ゴテ目地切（既存のまま） （側溝蓋：コンクリート製又は鑄鉄製グレーチング）			モルタル金コテ押えの上 複層仕上塗材E吹付（既存のまま）			コンクリート打放し アクリル系吹付タイル 複層仕上塗材E吹付（既存のまま） 打継ぎ目地：ポリサルファイド系シーイング25×15			S造部：石綿セメント板t=4.0 目透し張り VP（一部 有孔石綿セメント板）（既存のまま） RC造部：コンクリート打放し アクリル系吹付タイル サンダー処理の外装薄塗材E吹付け（既存のまま）			コンクリート打放し アクリル系吹付タイル（既存のまま） 複層仕上塗材E吹付（既存のまま）			S造部：アクリル樹脂フィルム積層銅板t=0.4 アクリル樹脂塗装（既存のまま） 下地：アスファルトルーフィング17kg品 野地板：木毛マグネシウム板t=25 RC造部：均しモルタルt=30の上 露出アスファルト防水 均しモルタルt=30の上 塗膜防水 RFスラブ下断熱材フォームポリスチレンボードt=25 打込み			アルミサッシ及びドア（既存のまま） スチールドア（既存のまま） 木製ドア（既存のまま） トップライト（既存のまま）			既存植栽、植込、アスファルト、駐車区画線（撤去） 残置物（簡易木製柵等）（移動） 大屋根部軒樋：均しモルタルt=30の上 合成ゴム系シート防水（既存のまま） ルーフドレイン：鑄鉄製100φ用（既存のまま） 縦樋：100φ硬質塩ビパイプ VP塗り（既存のまま） 掘み金物：6×19 φ1500内外 SOP塗り（既存のまま） スロープ手摺：ステンレス製手摺（既存のまま） 玄関マット：600×1500 枠：ステンレス（既存のまま）		
	改修後	—			—			—			—			—			—			—			室外機置場、バルクタンク置場基礎（新設） 室外機置場防音フェンス、バルクタンク置場フェンス（新設）		
■ 内 部 仕 上 表 （ 古 賀 北 中 学 校 体 育 館 ） 空 調 設 備 改 修																									
階		室 名	床			巾 木		腰 壁			壁			廻り縁	天 井			備 考							
			区分			H	区分			塗装	区分				塗装	区分					塗装	天井高			
1階	改修前	玄関ホール	下地	—		珪藻土ブロック（既存のまま）	100	下地	コンクリート打放し（既存のまま）		—	下地	コンクリート打放し（既存のまま）		—	下地	石膏ボードt=9.5（既存のまま）		—	—					
			仕上	100角磁器質タイル貼り（ノンスリップ）（既存のまま）							—				—	仕上	岩綿吸音板t=9.0（既存のまま）		—						
			下地	—			ビニル巾木（既存のまま）	75	仕上	内装用吹付タイル（既存のまま） サンダー処理の上 内装仕上塗材吹付（既存のまま）		—	仕上	内装用吹付タイル（既存のまま） サンダー処理の上 内装仕上塗材吹付（既存のまま）		—	仕上	—		—					
			仕上	長尺ビニルシート貼t=2.0（既存のまま）								—				—				—					
	改修後	玄関ホール	下地	—		—	—	下地	—		—	下地	—		—	下地	—		—	—					
			仕上	—							—				—	仕上	—		—						
			下地	—			—	—	仕上	—		—	仕上	—		—	仕上	—		—					
			仕上	—								—				—				—					
改修前	アリーナ	下地	鋼製床組みの上 捨貼り針葉樹合板t=12.0（既存のまま）		木製EP-G（既存のまま）	75	下地	モルタル金ゴテ（既存のまま）		—	下地	モルタル金ゴテ（既存のまま）		—	下地	鉄骨表し （既存のまま）		SOP	—	バスケットゴール（一時撤去、再設置）					
		仕上	カバ桜積層フローリング貼t=15.0（既存のまま）				仕上	響調整シナ合板GW32K25m/m充填 t=12.0（既存のまま）		—	仕上	上部：響調整シナ合板 t=12.0（一部撤去）		—	仕上	—		—							
		下地	—			—	—	下地	—		—	下地	モルタル金ゴテ（一部補修）		—	下地	—		—		—				
		仕上	—					仕上	—		—	仕上	上部：響調整シナ合板 t=12.0（一部補修）		—	仕上	—		—						
改修後	アリーナ	下地	—		—	—	下地	—		—	下地	モルタル金ゴテ（一部補修）		—	下地	—		—	—	空調設備等 取付下地（新設）、エアコン取付用ブラケット（新設） エアコン用防球格子（新設）、サイン（新設） 輻射冷暖房パネル用防球格子（新設）、天井点検口（玄関ホール）（新設） エアコン用防球格子用ブラケット（新設）					
		仕上	—				仕上	—		—	仕上	上部：響調整シナ合板 t=12.0（一部補修）		—	仕上	—		—							
		下地	—			—	—	下地	—		—	下地	—		—	下地	—		—		—				
		仕上	—					仕上	—		—	仕上	—		—	仕上	—		—						
改修前	卓球場	下地	—		木製EP-G（既存のまま）	75	下地	モルタル金ゴテ AEP（既存のまま）		EP-G	下地	モルタル金ゴテ AEP（既存のまま）		—	下地	—		—	—						
		仕上	カバ桜積層フローリング貼t=15.0 ウレタン樹脂塗装（既存のまま）				仕上	下地調整の上 EP-G（既存のまま）			—	仕上	下地調整の上 EP-G（既存のまま）		—	仕上	化粧石膏ボード張りt=9.0（既存のまま）		—						
		下地	—			—	—	下地	—		—	下地	—		—	下地	—		—		—				
		仕上	—					仕上	—		—	仕上	—		—	仕上	—		—						

略 語

S O P 合成樹脂調合ペイント塗り

E P 合成樹脂エマルションペイント塗り

N A D アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り

E P-G


つや有合成樹脂エマルションペイント塗り

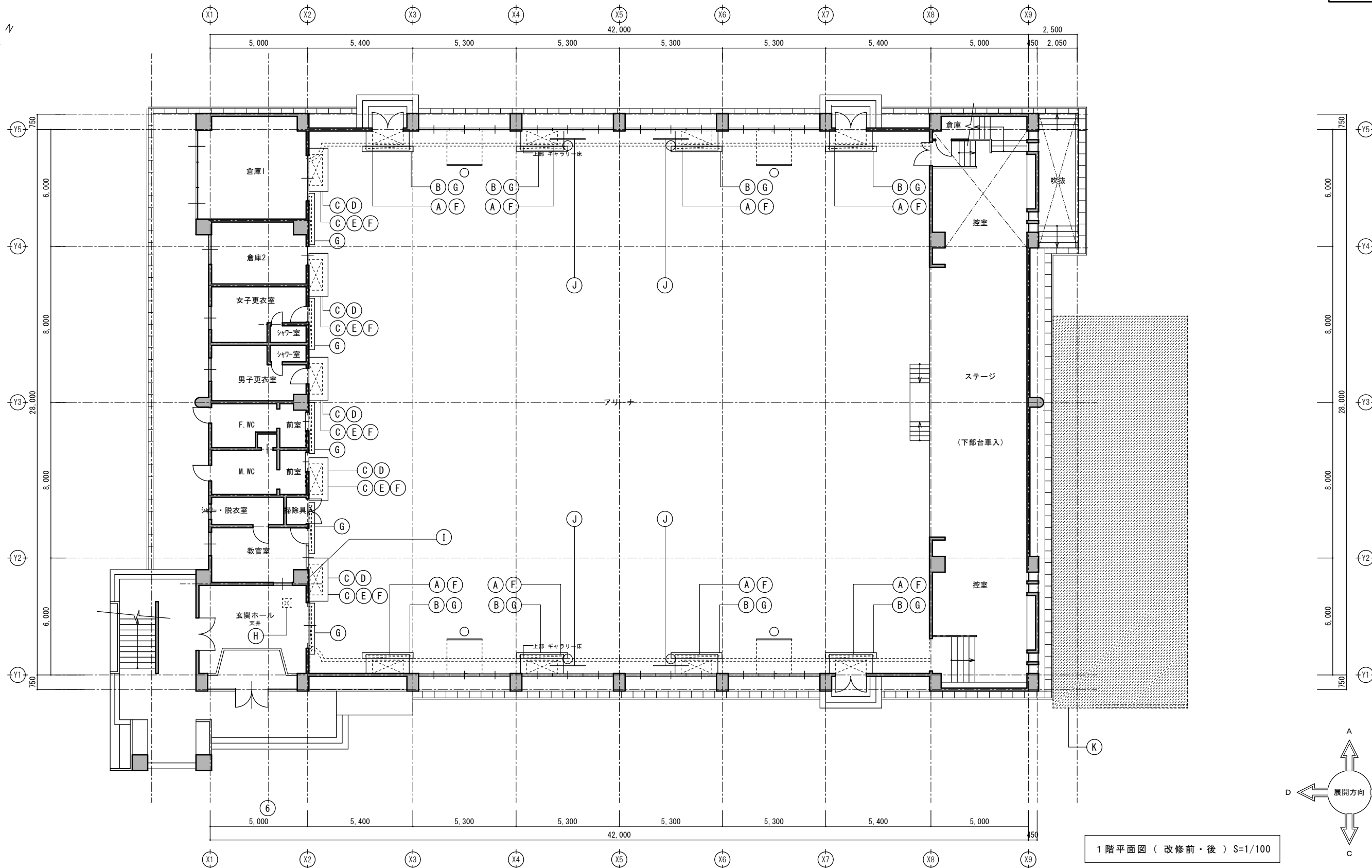
石膏ボード t=12.5 不燃 NM-8619

化粧石膏ボード t=9.5 準不燃 QM-0524

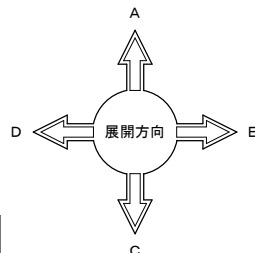
シーリング石膏ボード t=9.5 準不燃 QM-9828

●・・・アスベスト含有建材を示す
（本工事の建材には含有なし）

	株式会社 海 渡 設 計	神崎信二 一級建築士 第323073号 福岡県知事登録第1-30027号		工事名称	古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事	図面名称	古賀北中学校 体育館 仕上表（ 改 修 前 ・ 後 ）	A3 縮尺 —	No A-3 8
						A1 縮尺 —	日付 2025年12月		



1 階平面図 (改修前・後) S=1/100



凡例 (改修前・後)	A	【改修前】ギャラリー スラブ 【改修後】エアコン・防球格子 取付下地 新設 (8箇所) ・鉄骨下地ユニット (A) の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	C	【改修前】壁 下地・仕上 撤去 (10箇所×2個分) 【改修後】壁 下地・仕上 補修 (10箇所×2個分) ・ブラケット外形寸法+50mm程度の仕上・下地撤去 ・1箇所につきブラケット2個分	E	【改修前】— 【改修後】エアコン防球格子取付用ブラケット 新設 (5箇所×2個組) D800×H300 L=50×50 t=40 SOP塗装 機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接 樹脂アンカー固定とする。	G	【改修前】— 【改修後】輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 (13箇所) ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・鉄骨ユニット (B) にボルト取付又は、壁仕上の より躯体に樹脂アンカー取付 ※設備図面「格子参考図」参照	I	【改修前】— 【改修後】サイン 新設 (1箇所 2枚) ・297×420 アルミ複合板 t=3mm ・インジエント印刷 角丸処理 ・非常時の機器等の操作方法を表示する	K	【改修前】外構 【改修後】バルクタンク置場・GHP空調室外機置場 新設 ・基礎新設、フェンス新設等 ※外構図参照
	B	【改修前】ギャラリー スラブ 【改修後】輻射冷暖房パネル・防球格子 取付下地 新設 (8箇所) ・鉄骨下地ユニット (B) の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	D	【改修前】— 【改修後】エアコン取付用ブラケット 新設 (5箇所×2個組) D800×H300 L=50×50 t=40 SOP塗装 機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接 樹脂アンカー固定とする。	F	【改修前】— 【改修後】エアコン用 防球格子 新設 (13箇所) ・W2210×D980×H340 アルミ製 ・鉄骨ユニット (A) 又は、ブラケットにボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	H	【改修前】天井 【改修後】天井点検口 新設 (1箇所) 450×450アルミ製 ※位置は施工時の現場打合せによる	J	【改修前】バスケットゴール 一時撤去 (2対4箇所) 【改修後】バスケットゴール 再設置 ※バスケットゴール移設位置は 施工時に協議・検討すること		



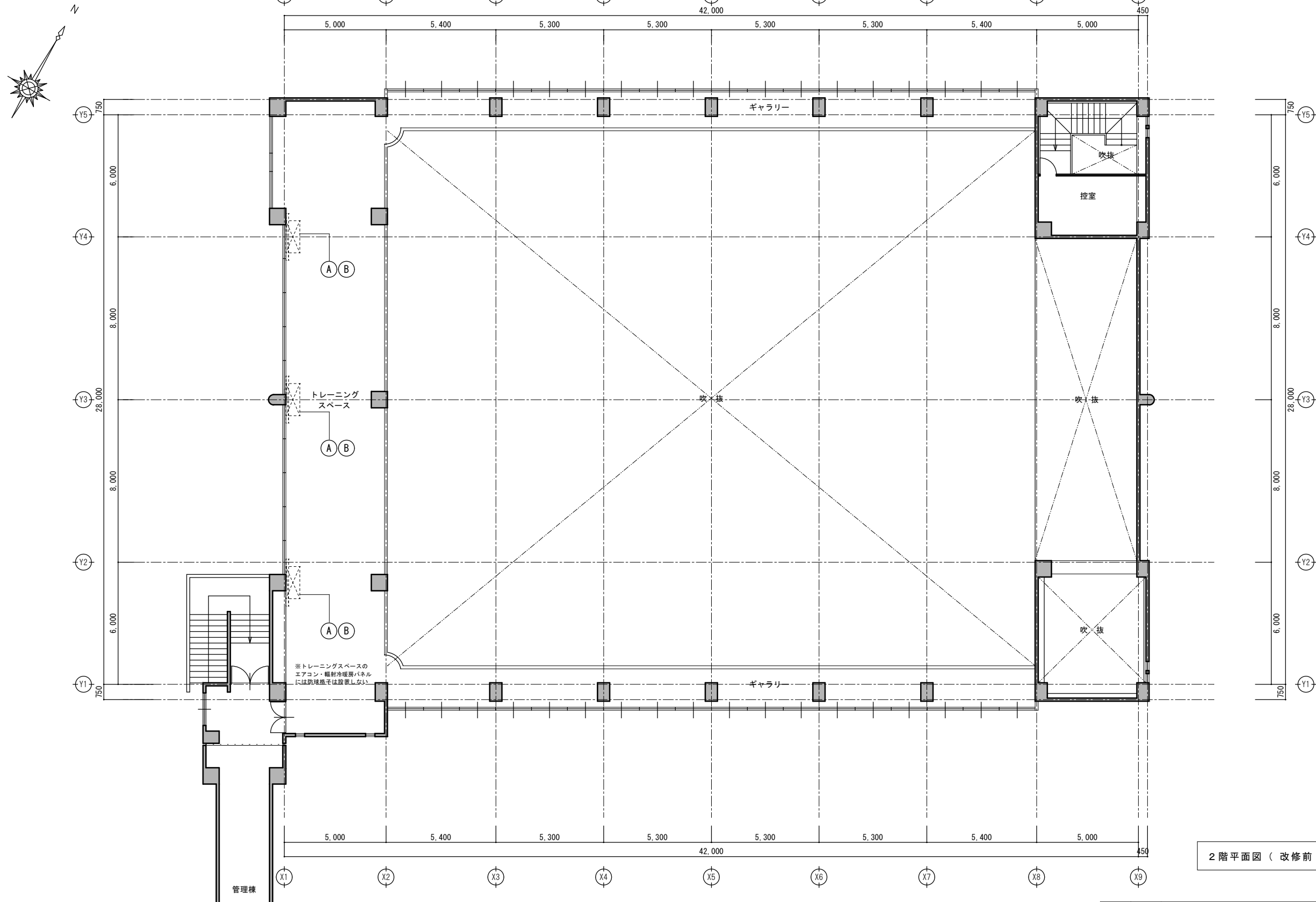
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

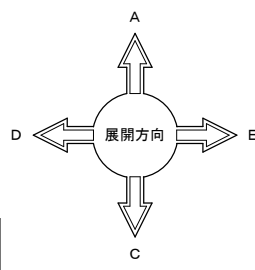
工事名称
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称
古賀北中学校 体育館
1階平面図 (改修前・後)

A3 縮尺	—	No	A-39
A1 縮尺	1:100	日付	2025年12月

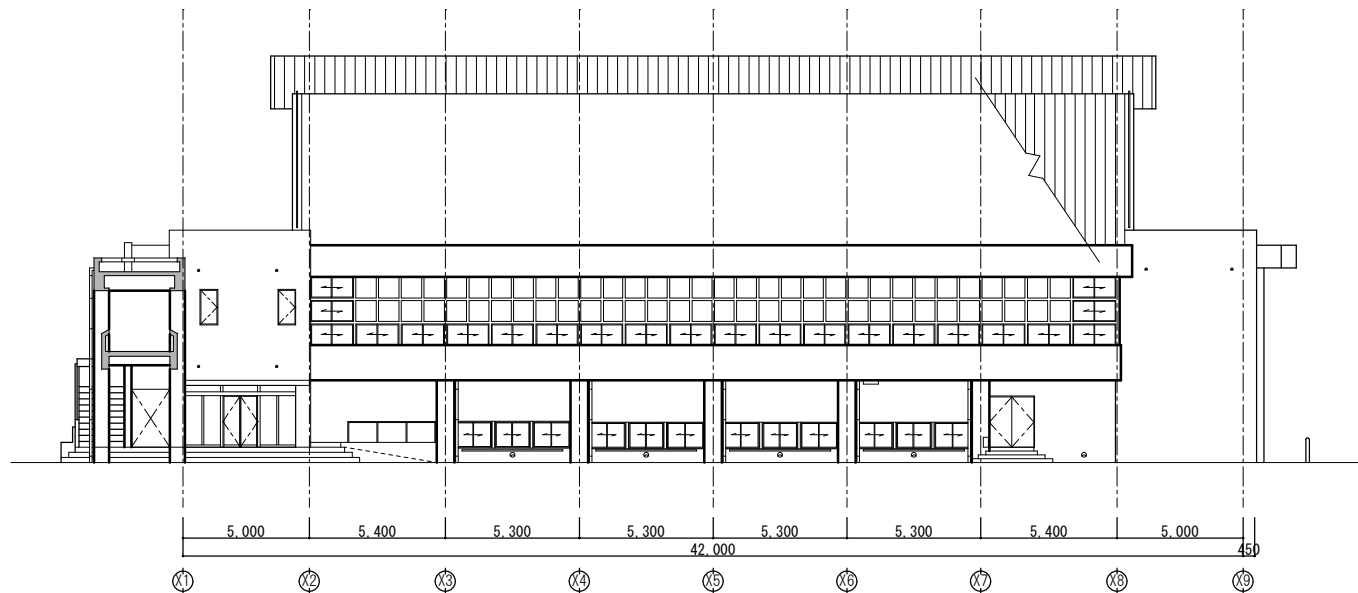


2階平面図（改修前・後）S=1/100

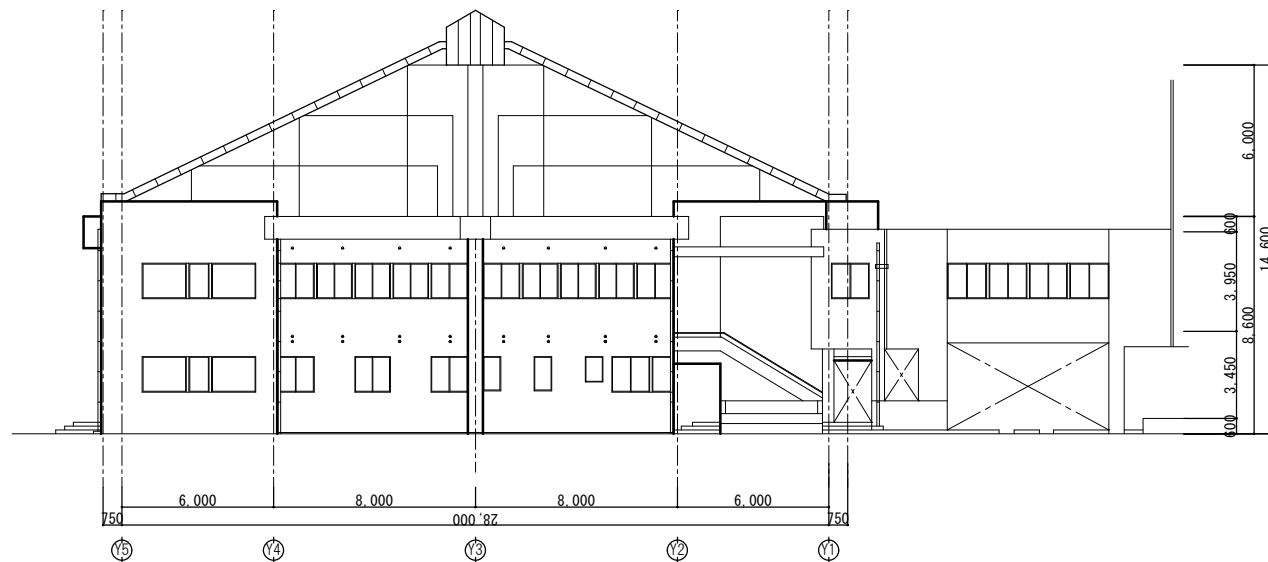


凡例（改修前・後）	A	【改修前】壁 下地・仕上 撤去（3箇所×2個分） 【改修後】壁 下地・仕上 補修（3箇所×2個分） ・ブラケット外形寸法+30～50mm程度の仕上・下地撤去 ・1箇所につきブラケット2個分	A3 縮尺 — No A-4.0
	B	【改修前】— 【改修後】エアコン取付用ブラケット 新設（3箇所×2個分）	
図面名称		古賀北中学校 体育館 2階平面図（改修前・後）	A1 縮尺 1:100 日付 2025年12月

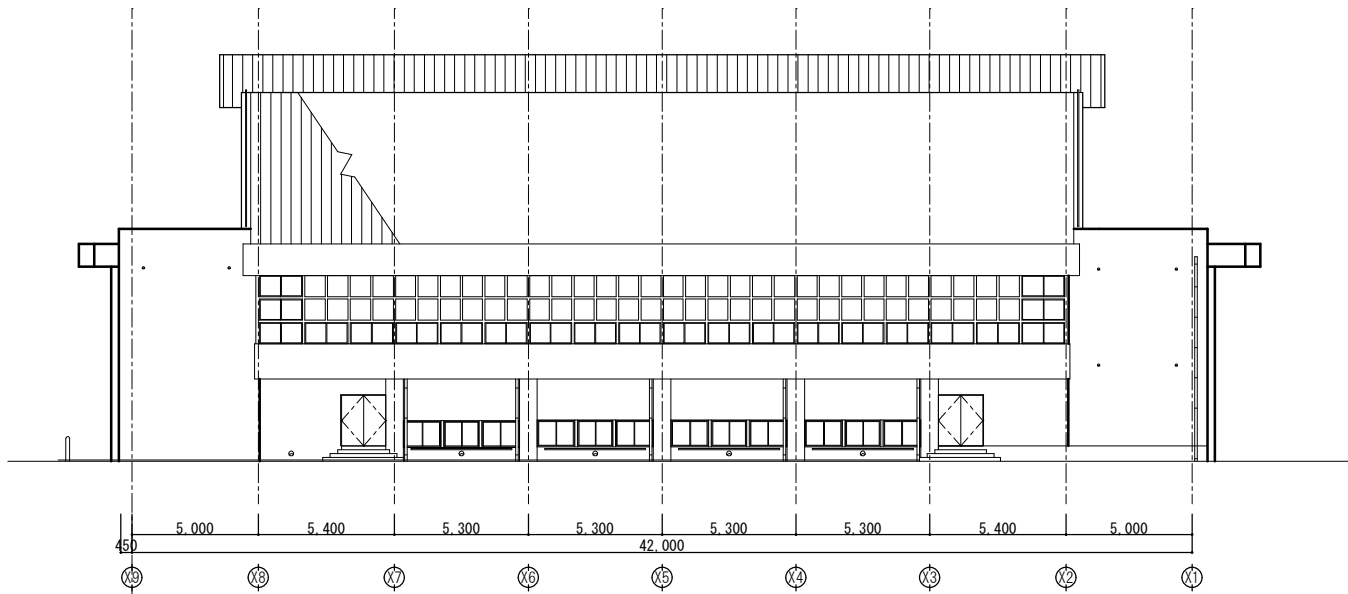




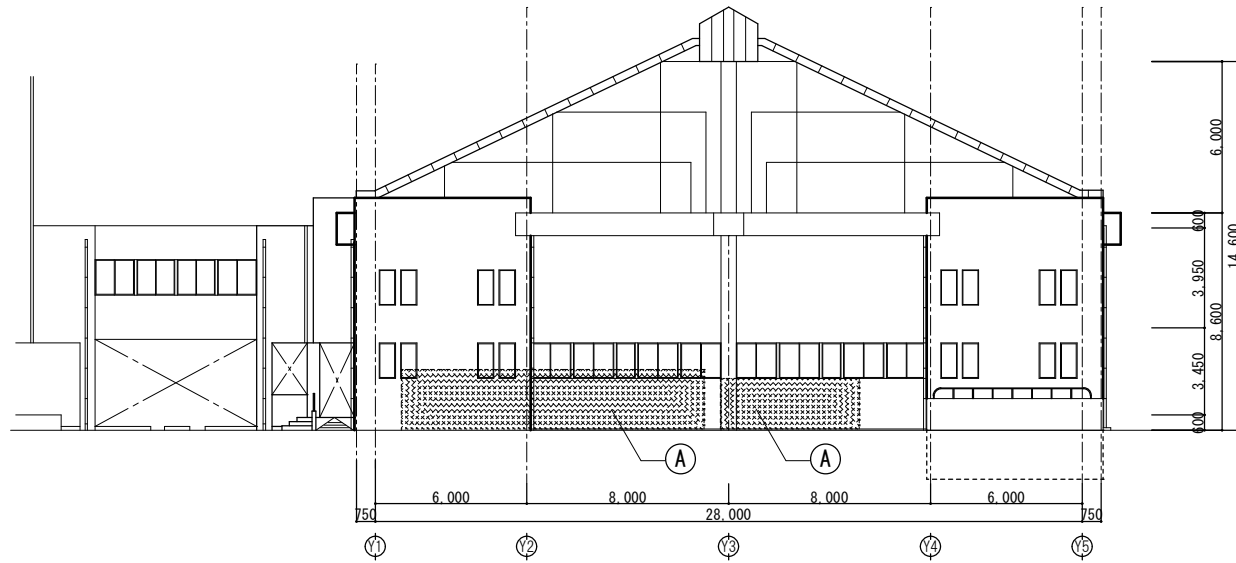
南側立面図（改修後）



西側立面図（改修後）



北側立面図（改修後）



東側立面図（改修後）

凡例
（改修前・後）

①

【改修前】 外構
【改修後】 バルコタンク置場・GHP空調室外機置場 新設
・基礎新設、フェンス新設等
※外構図参照



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称

古賀北中学校 体育館
立面図（改修前・後）

A3 縮尺

—

No

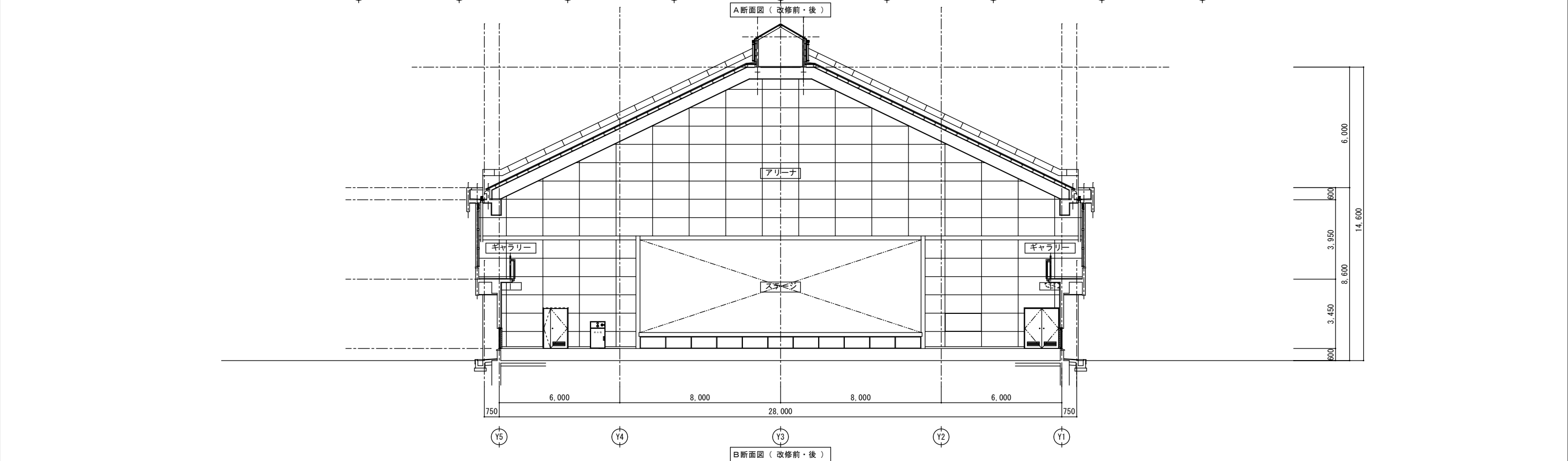
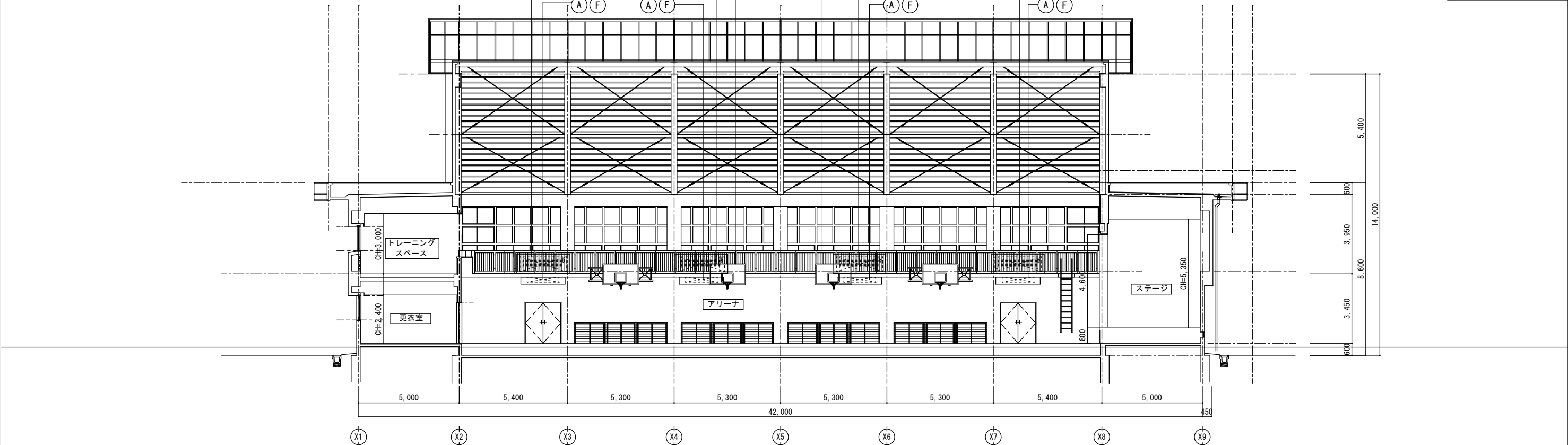
A-4 1

A1 縮尺

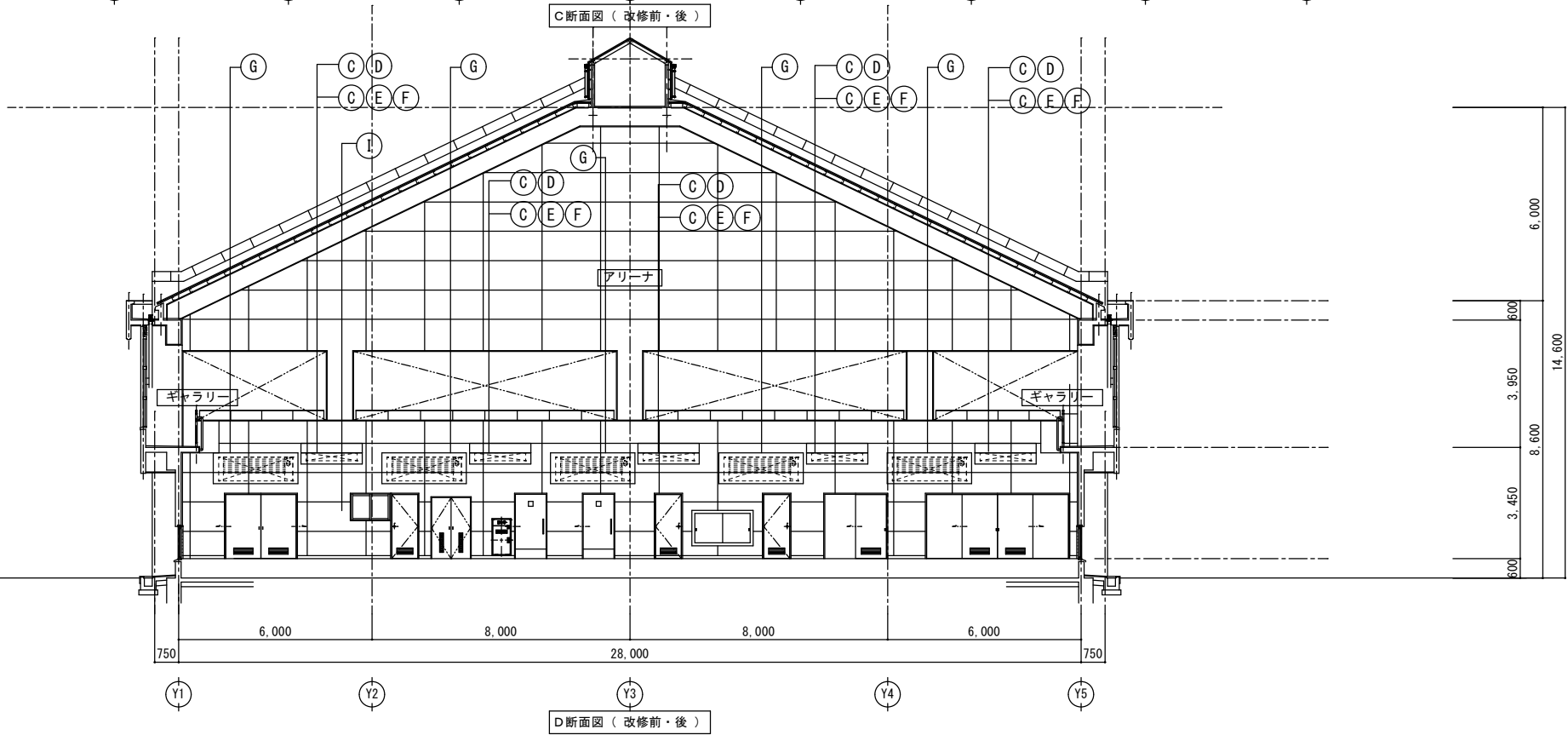
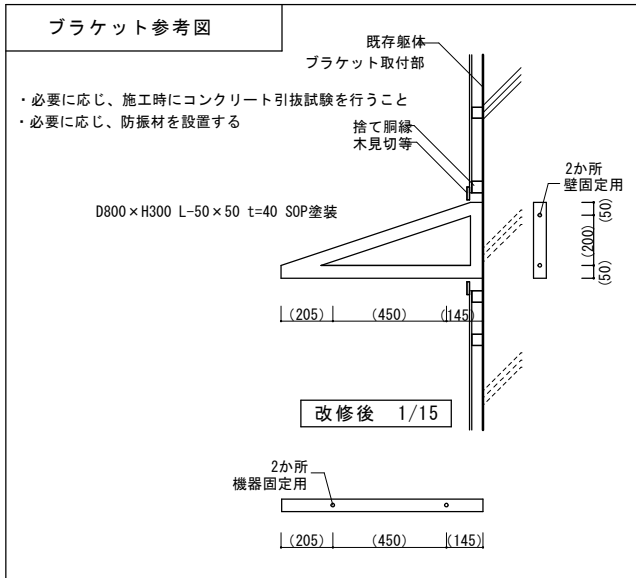
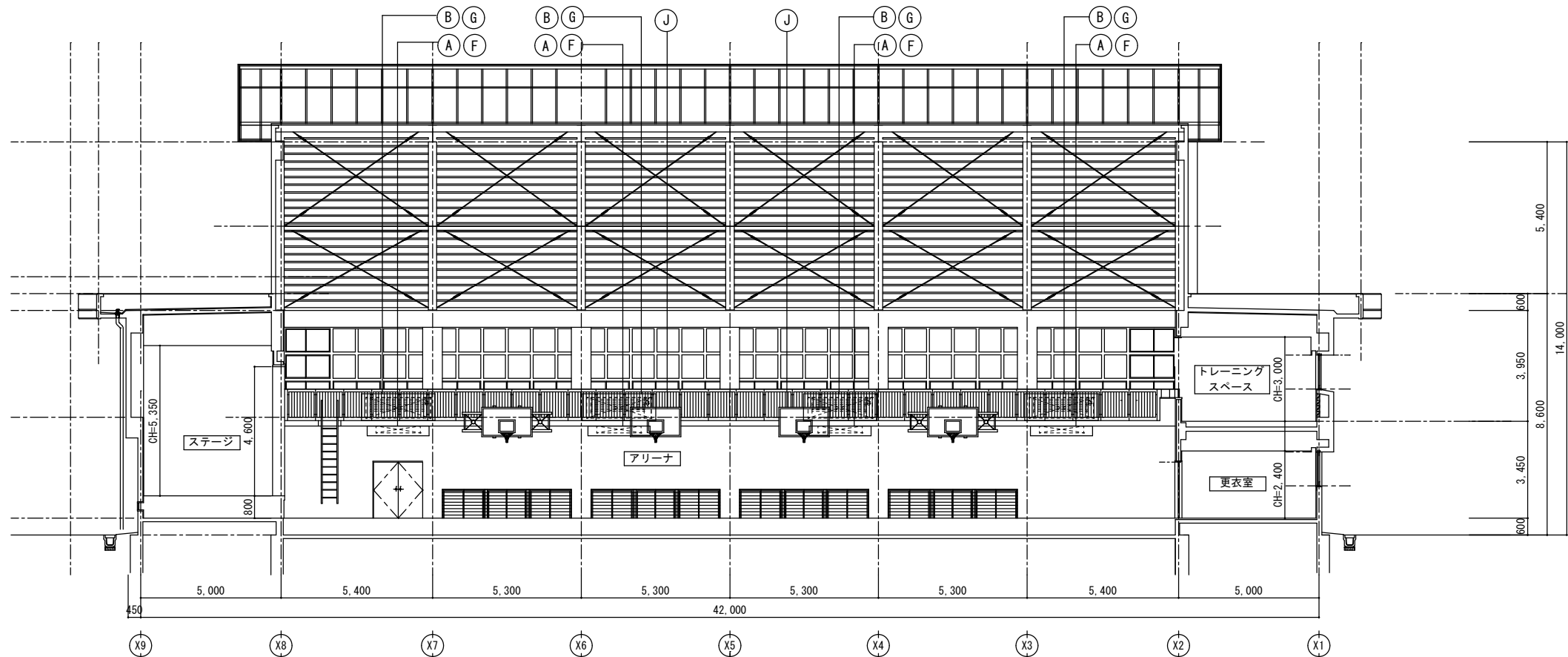
1:150

日付

2025年12月

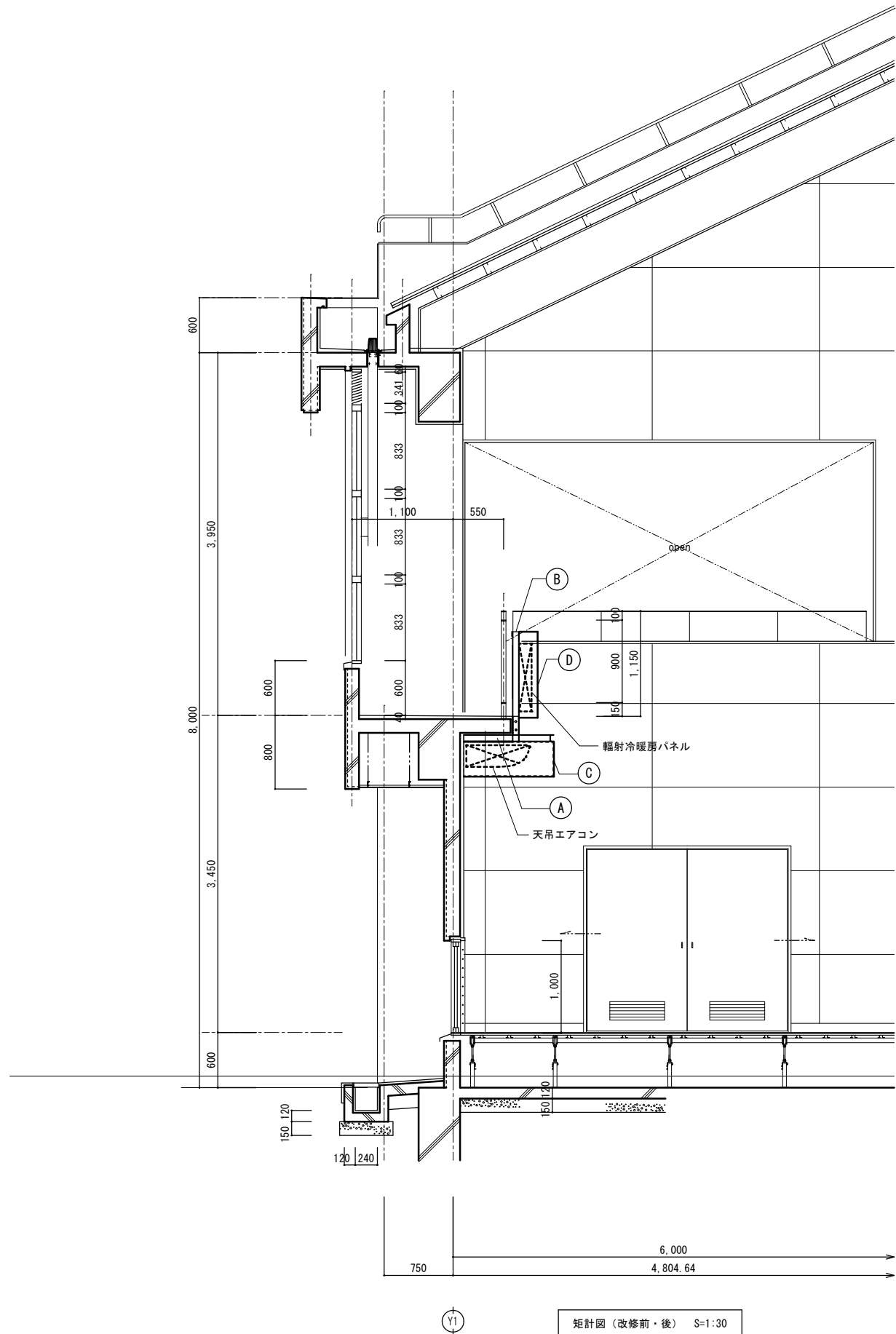


凡例 (改修前・後)	(A)	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 エアコン・防球格子 取付下地 新設 (8箇所) ・鉄骨下地ユニット(A)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	(C)	【改修前】 壁 下地・仕上 撤去 (10箇所×2個分) 【改修後】 壁 下地・仕上 補修 (10箇所×2個分) ・ブラケット外形寸法+50mm程度の仕上・下地撤去 ・1箇所につきブラケット2個分	(E)	【改修前】 — 【改修後】 エアコン防球格子取付用ブラケット 新設(5箇所×2個組) ・D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 ・機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接樹脂アンカー固定とする。	(G)	【改修前】 — 【改修後】 輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設(13箇所) ・W2620×H950×D290 アルミ製 ・鉄骨ユニット(B)にボルト取付又は、壁仕上げの上より躯体に樹脂アンカー取付 ※設備図面「格子参考図」参照	(I)	【改修前】 — 【改修後】 サイン 新設 (1箇所 2枚) ・297×420 アルミ複合板 t=3mm ・インクジェット印刷貼 角丸処理 ・非常時の機器等の操作方法を表示する
	(B)	【改修前】 ギャラリー スラブ 【改修後】 輻射冷暖房パネル・防球格子 取付下地 新設(8箇所) ・鉄骨下地ユニット(B)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	(D)	【改修前】 — 【改修後】 エアコン取付用ブラケット 新設 (5箇所×2個組) ・D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 ・機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接樹脂アンカー固定とする。	(F)	【改修前】 — 【改修後】 エアコン用 防球格子 新設 (13箇所) ・W2210×D980×H340 アルミ製 ・鉄骨ユニット(A)又は、ブラケットにボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	(H)	【改修前】 天井 【改修後】 天井点検口 新設 (1箇所) 450×450アルミ製 ※位置は施工時の現場打合せによる	(J)	【改修前】 バスケットゴール 一時撤去 (2対4箇所) 【改修後】 バスケットゴール 再設置 ※バスケットゴール移設位置は 施工時に協議・検討すること



凡例（改修前・後）	【改修前】ギャラリー スラブ 【改修後】エアコン・防球格子 取付下地 新設（8箇所） ・鉄骨下地ユニット(A)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	【改修前】壁 下地・仕上 撤去（10箇所×2個分） 【改修後】壁 下地・仕上 補修（10箇所×2個分） ・ブラケット外形寸法+50mm程度の仕上・下地撤去 ・1箇所につきブラケット2個分	【改修前】— 【改修後】エアコン防球格子取付用ブラケット 新設（5箇所×2個組） ・D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 ・機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接樹脂アンカー固定とする。	【改修前】— 【改修後】天井点検口 新設（1箇所） 450×450アルミ製 ※位置は施工時の現場打合せによる	【改修前】— 【改修後】サイン 新設（1箇所 2枚） ・297×420 アルミ複合板 t=3mm ・インジエクト印刷貼 角丸処理 ・非常時の機器等の操作方法を表示する
	【改修前】ギャラリー スラブ 【改修後】輻射冷暖房パネル・防球格子 取付下地 新設（8箇所） ・鉄骨下地ユニット(B)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照	【改修前】— 【改修後】エアコン取付用ブラケット 新設（5箇所×2個組） ・D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 ・機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接樹脂アンカー固定とする。	【改修前】— 【改修後】エアコン用 防球格子 新設（13箇所） ・W2210×D980×H340 アルミ製 ・鉄骨ユニット(A)又はブラケットにボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照	【改修前】天井 【改修後】天井点検口 新設（1箇所） 450×450アルミ製 ※位置は施工時の現場打合せによる	【改修前】— 【改修後】バスケットゴール 一時撤去（2対4箇所） 【改修後】バスケットゴール 再設置 ※バスケットゴール移設位置は 施工時に協議・検討すること

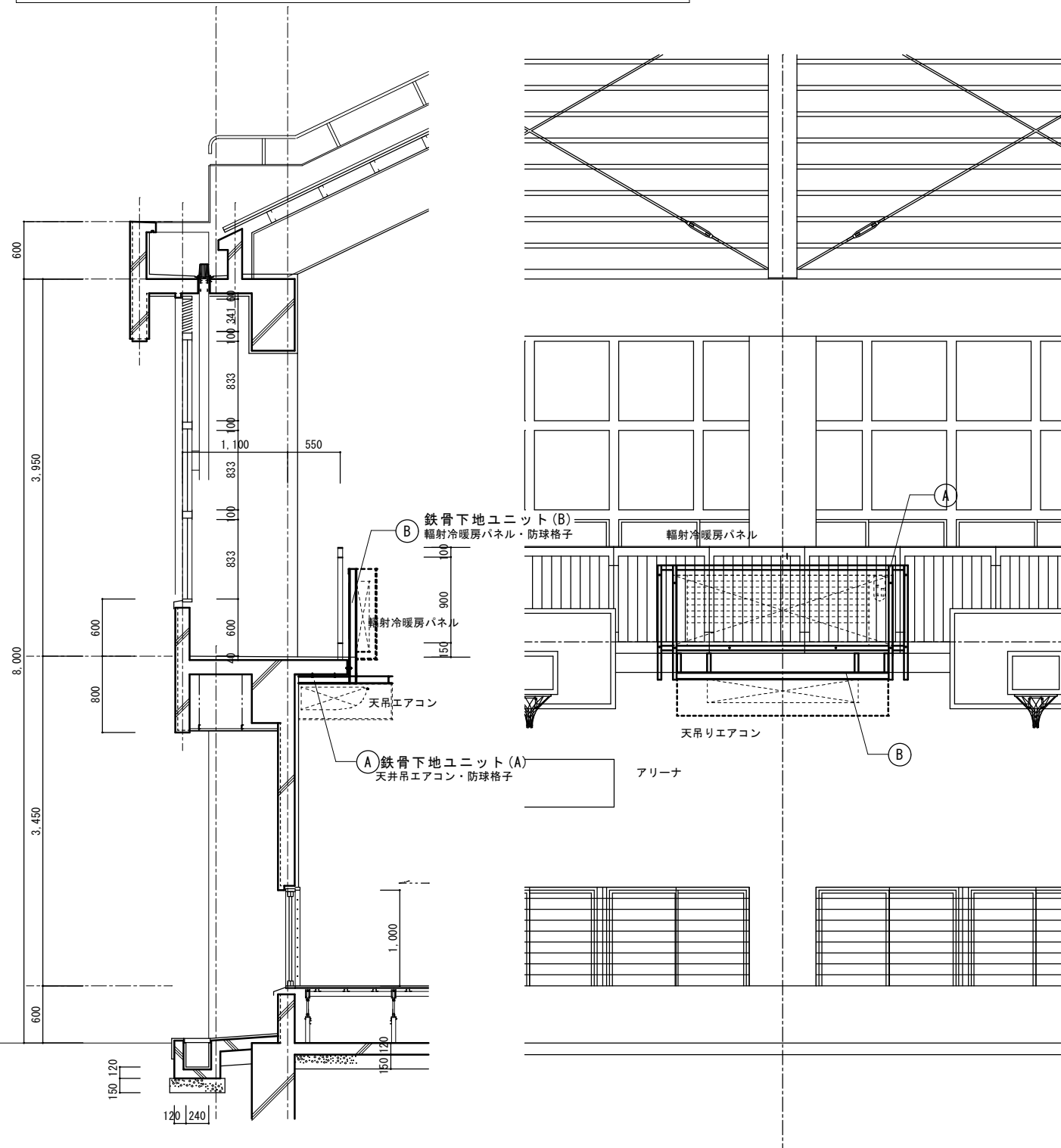
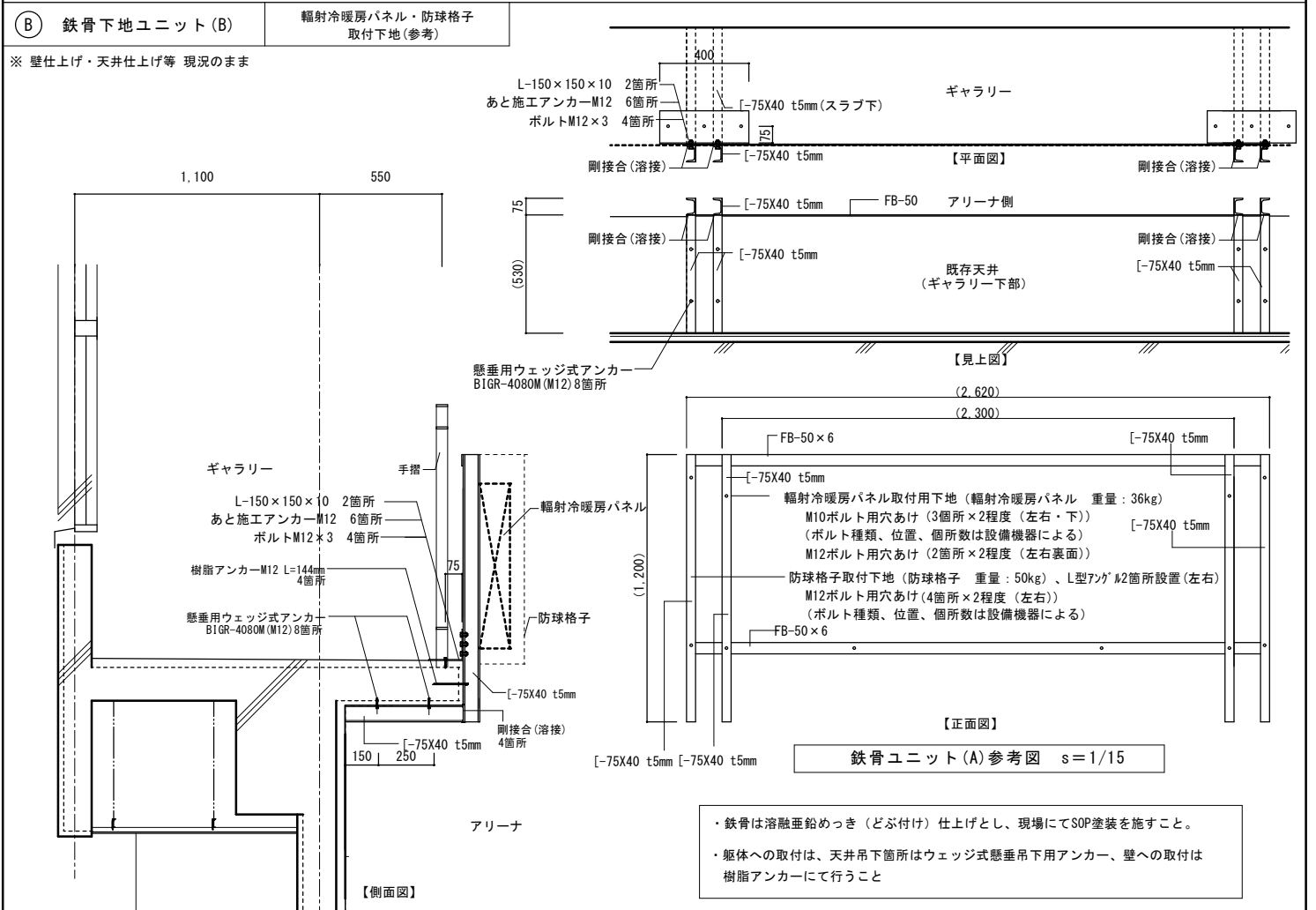
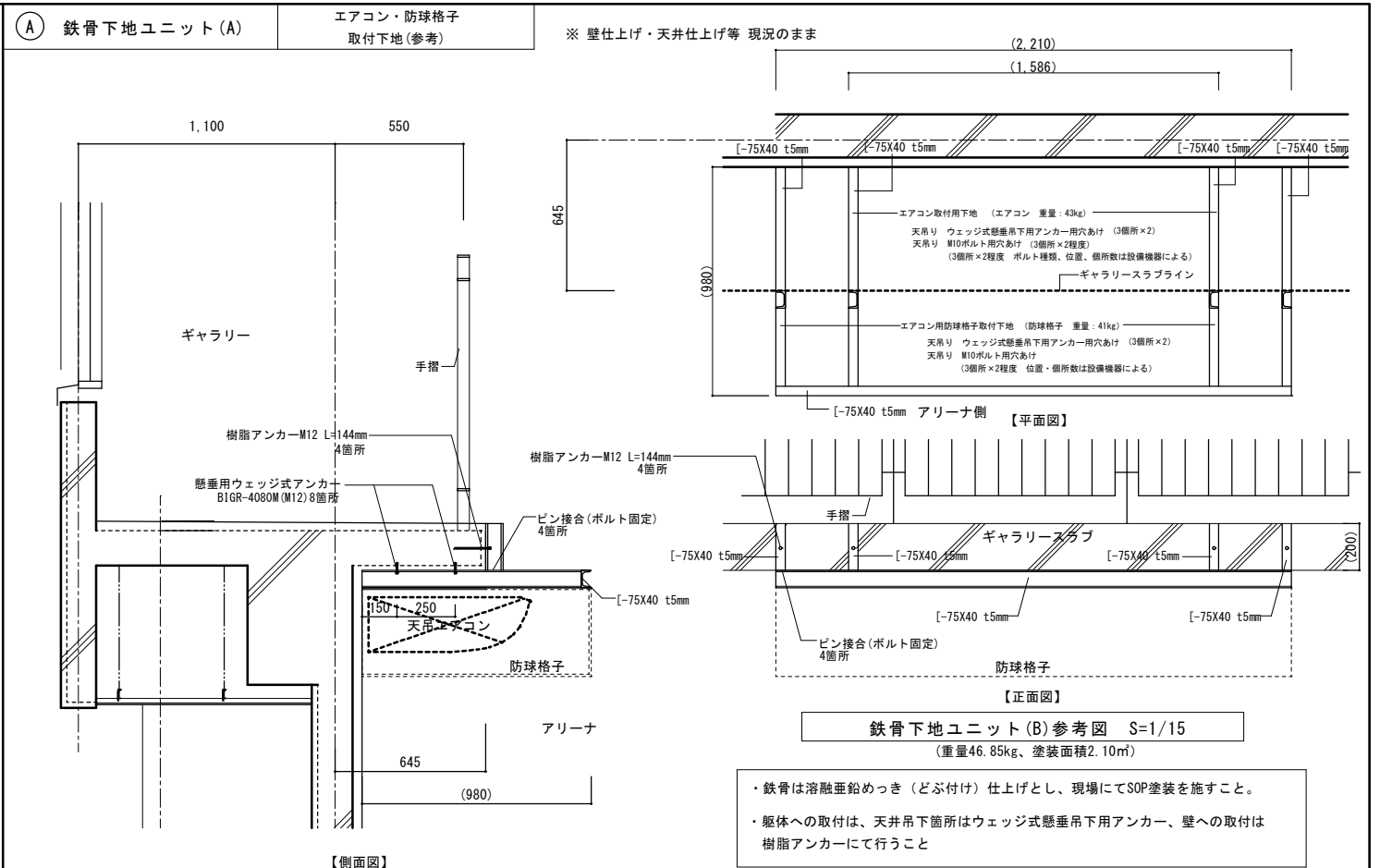




凡例 (改修前・後)	①	【改修前】ギャラリー スラブ 【改修後】エアコン・防球格子 取付下地 新設 ・鉄骨下地ユニット(A)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照
	②	【改修前】ギャラリー スラブ 【改修後】輻射冷暖房パネル・防球格子 取付下地 新設 ・鉄骨下地ユニット(B)の製作・加工・取付 ※空調機器取付下地詳細図 参照
	③	【改修前】— 【改修後】エアコン用 防球格子 新設 ・W210×D980×H340 アルミ製 ・鉄骨ユニット(A)又はボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照
	④	【改修前】— 【改修後】輻射冷暖房パネル用 防球格子 新設 ・W260×H850×D290 アルミ製 ・鉄骨ユニット(B)にボルト取付 ※設備図面「格子参考図」参照



- ・本図に示す納まり・寸法は、設備位置に従い、施工時に調整のうえ施工すること。必要に応じ、監督員の承諾を得ること。
- ・本図は意匠上の参考図であり、施工方法、設備工事との取り合い、構造安全性については現場条件を優先し、施工者の責任において検討・調整すること。構造計算等により安全性を確認のうえ、監督員の承諾を得て施工すること。

鉄骨下地ユニット取付位置 $s=1/30$ 

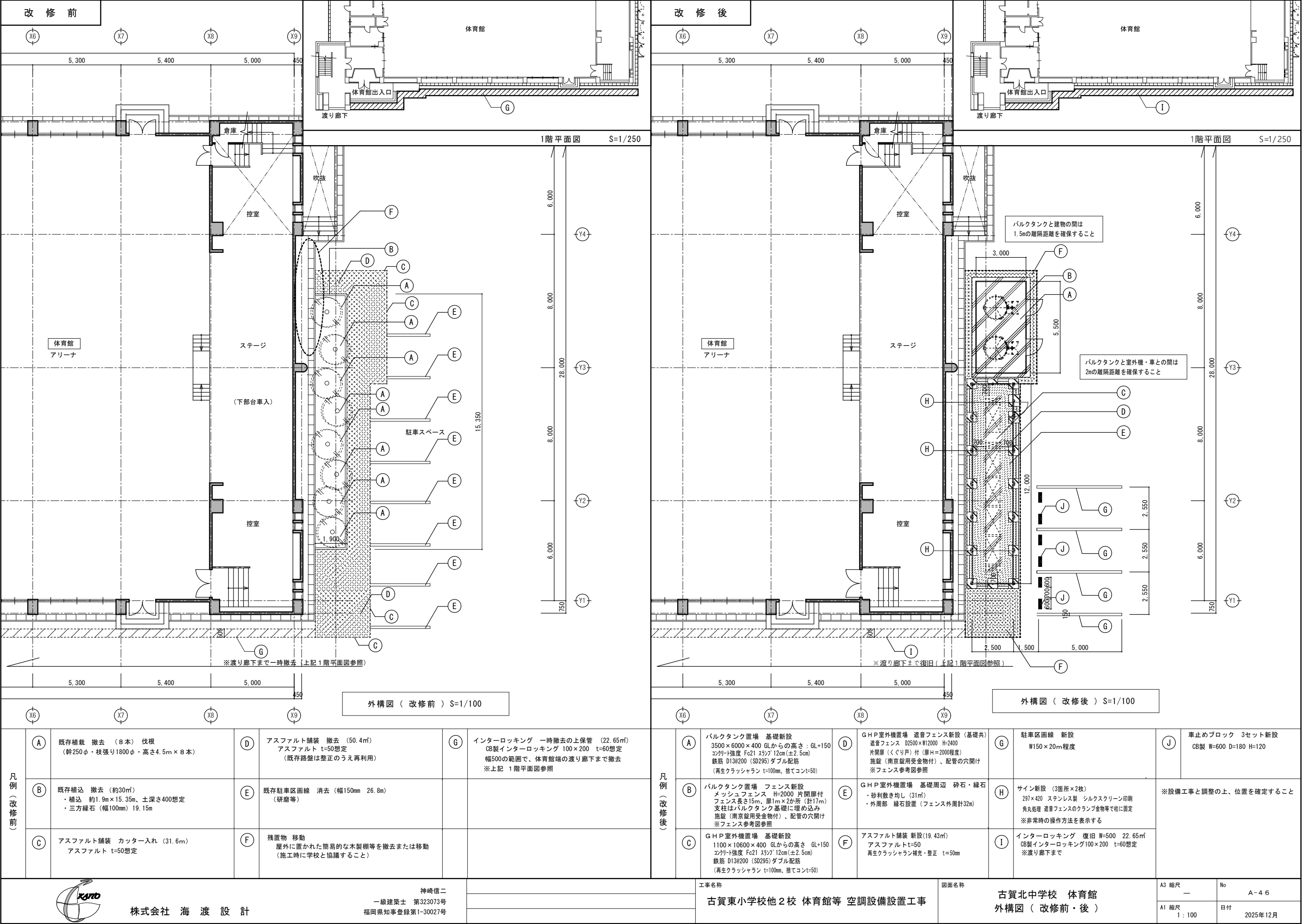
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称	古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事
------	-------------------------

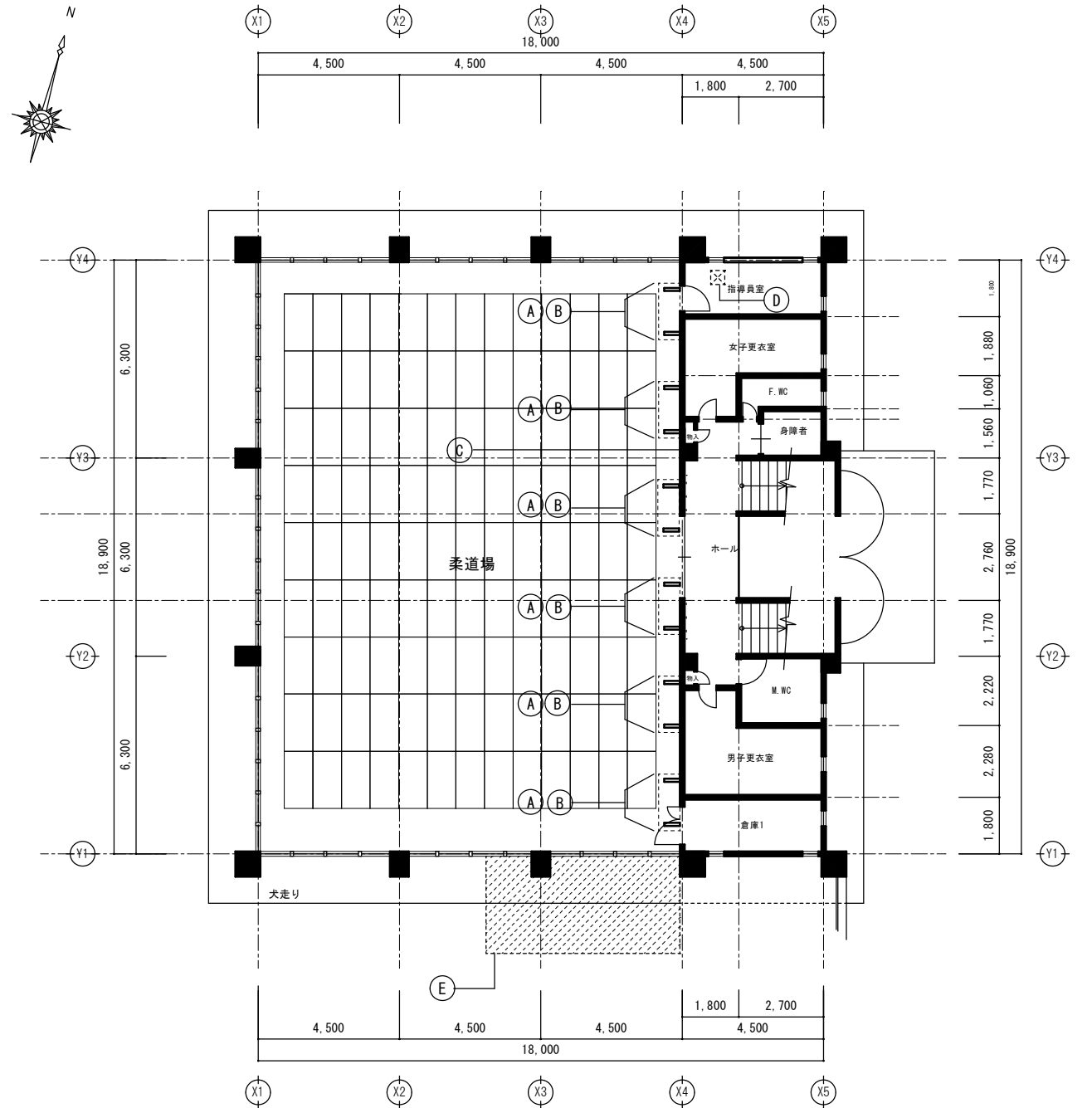
図面名称
古賀北中学校 体育館
空調機器取付下地詳細図

A3 縮尺 —	No A-4 5
A1 縮尺 1 : 100	日付 2025年12月



■ 改 修 概 要 （ 古 賀 北 中 学 校 武 道 場 ） 空 調 設 備 改 修																			
1）外部の改修		・GHP室外機置場 基礎 新設 ・GHP室外機置場 防音フェンス 新設 ・アスファルト舗装 新設 ・駐車区画線 新設 ・サイン 新設			2）内部の改修		・空調取付用ブラケット 新設 ・壁：下地・仕上 補修（ブラケット取付部） ・サイン 新設 ・天井点検口 新設												
■ 構 造 概 要 （ 古 賀 北 中 学 校 武 道 場 ） 空 調 設 備 改 修																			
地 業				基 礎				軀 体				屋 根				備 考			
杭地業				鉄筋コンクリート造				鉄筋コンクリート造・鉄骨造				鉄筋コンクリート造・鉄骨造				—			
■ 外 部 仕 上 表 （ 古 賀 北 中 学 校 武 道 場 ） 空 調 設 備 改 修																			
	エ プ ロ ン			幅 木		壁		軒 天		バラベツト		屋 根		外部開口部		備 考			
	【ポーチ】 磁器質タイル張り 100角（既存のまま） 【犬走り】 コンクリート直押え（既存のまま） 【渡り廊下】 磁器質タイル張り 150角（既存のまま） 【アプローチ】 インターロッキングブロック舗装t=60（既存のまま）			コンクリート打放し カラークリア吹付（既存のまま）		コンクリート打放し カラークリア吹付（既存のまま）		コンクリート打放し カラークリア吹付（既存のまま）		—		フッ素樹脂ガルバリウム鋼板t=0.4 瓦棒葺（既存のまま） 下地：アスファルトルーフィング22kg/品（既存のまま） 硬質木片セメント板t=25（既存のまま）（RC部） フッ素樹脂ガルバリウム鋼板t=0.4 （既存のまま） 瓦棒葺（一部一文字葺）（既存のまま） 下地：パーライトモルタルt=35（既存のまま） 【屋根断熱】 硬質木片セメント板下 硬質ウレタンフォーム吹付t=20（既存のまま）		【玄関】 スチール SOP（既存のまま） 【その他の開口部】 アルミサッシ 無着色陽極酸化被膜（既存のまま）		軒樋：塩ビ製 半丸 幅150（既存のまま） 樋：VP管 EP塗（既存のまま） 換気口：ステンレス管（既存のまま） 手摺：スチール42.7φ SOP（既存のまま）			
改修後	—			—		—		—		—		—		—		—			
	■ 内 部 仕 上 表 （ 古 賀 北 中 学 校 武 道 場 ） 空 調 設 備 改 修																		
階		室 名	床		巾 木		腰 壁			壁			廻り縁	天 井			備 考		
			区分		H	区分		塗装	区分		塗装	区分			天井高				
1階	改修前	柔道場	下地	鋼製下地（既存のまま） 合板t=20（パーティクルボード）（既存のまま）		木製（杉） OS-LC （既存のまま）	60	下地	—			下地	木下地（一部撤去）		OS-LC	塩ビ	下地	—	
			仕上	桧フローリングt=15 PP3回塗（既存のまま） 柔道用畳t=55（既存のまま）				仕上	—			仕上	杉羽目板貼（本実）t=15（一部撤去）			仕上	PBt=9		
	改修後		下地	—		—	—	下地	—			下地	—		—	下地	—		
			仕上	—				仕上	—			仕上	—			仕上	—		
2階	改修前	剣道場	下地	鋼製下地（既存のまま） 合板t=20（パーティクルボード）（既存のまま）		木製（杉） OS-LC （既存のまま）	60	下地	—			下地	木下地（一部補修）		OS-LC	塩ビ	下地	—	
			仕上	桧フローリングt=15 PP3回塗（既存のまま）				仕上	—			仕上	杉羽目板貼（本実）t=15（一部補修）			仕上	PBt=9		
	改修後		下地	—		—	—	下地	—			下地	—		—	下地	—		
			仕上	—				仕上	—			仕上	—			仕上	—		

改修後



1 階平面図 (改修後) S=1/100

壁 下地・仕上 撤去(6箇所×2)

仕上げ撤去範囲は、ブラケット外形寸法に対し、
周囲30~50mm程度のクリアランスを確保した
範囲とする。

<p>(A) 空調取付用ブラケット 新設 (6箇所×2個組)</p> <p>D800×H300 L=50×50 t=40 SJP塗装</p> <p>機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接樹脂アンカー固定とする。</p>	<p>(C) 【改修前】 ー</p> <p>【改修後】 サイン 新設 (1箇所 2枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・297×420 アルミ複合板 t=3mm ・インジエクト印刷貼 角丸処理 ・非常時の機器等の操作方法を表示する 	<p>(E) GHP空調室外機置場 新設</p> <p>※外構図参照</p>
<p>(B) 壁 下地・仕上 補修 (6箇所×2個分)</p> <p>ブラケット取付のため撤去した部分の補修とする。</p> <p>RC躯体固定用ブラケットを避け、周囲を木製の細見切り材(GL塗装)等により補修する。</p>	<p>(D) 天井点検口 (1箇所)</p> <p>450×450 アルミ製</p>	



神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

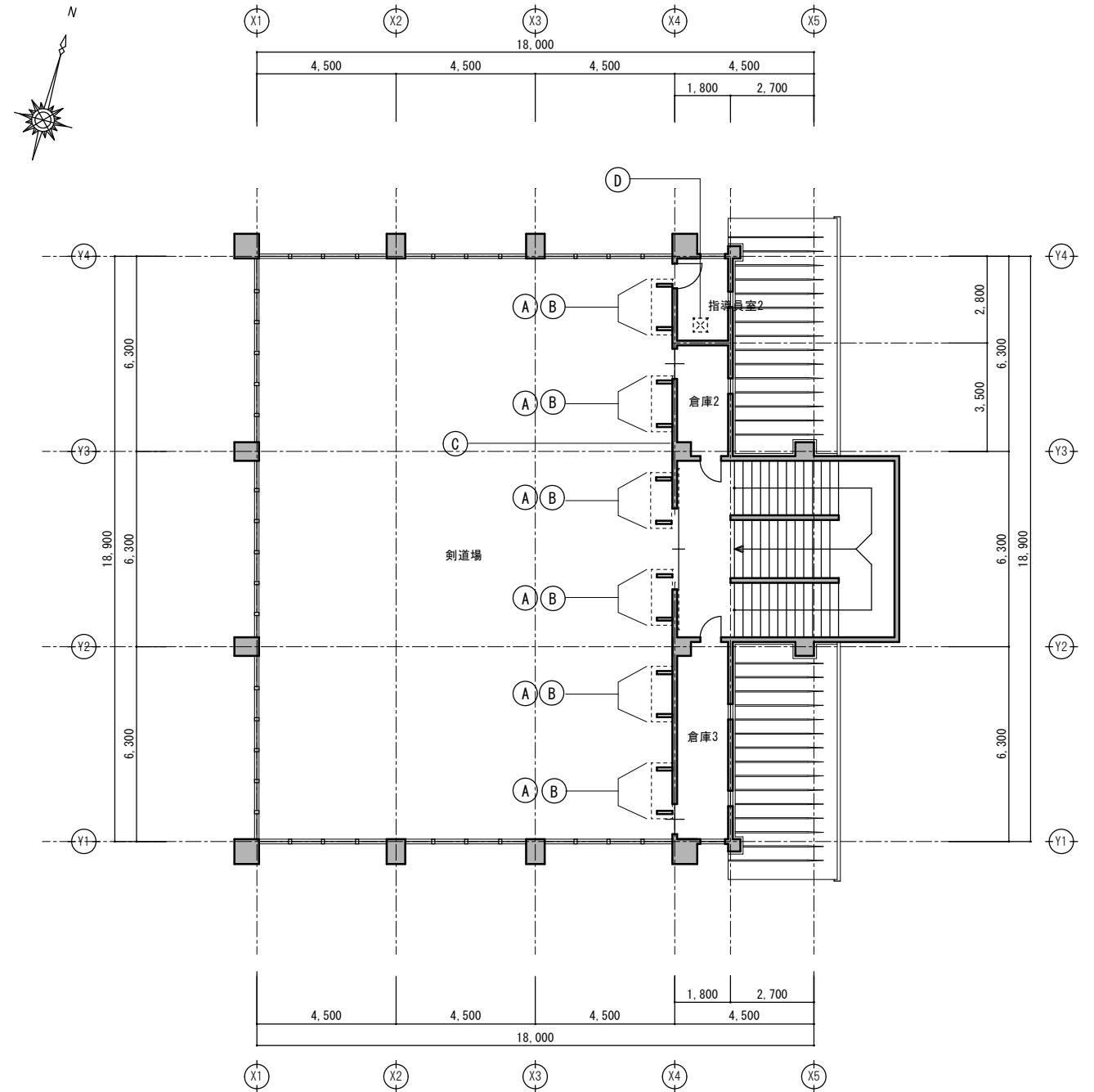
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

古賀北中学校 武道場
1階平面図（改修前・後）

No

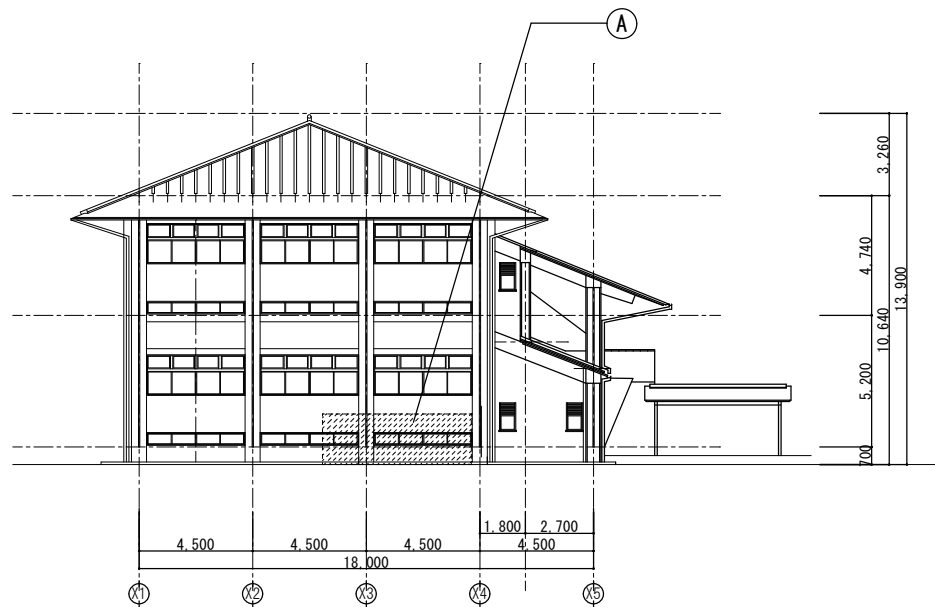
日付 2025年12月

改 修 後

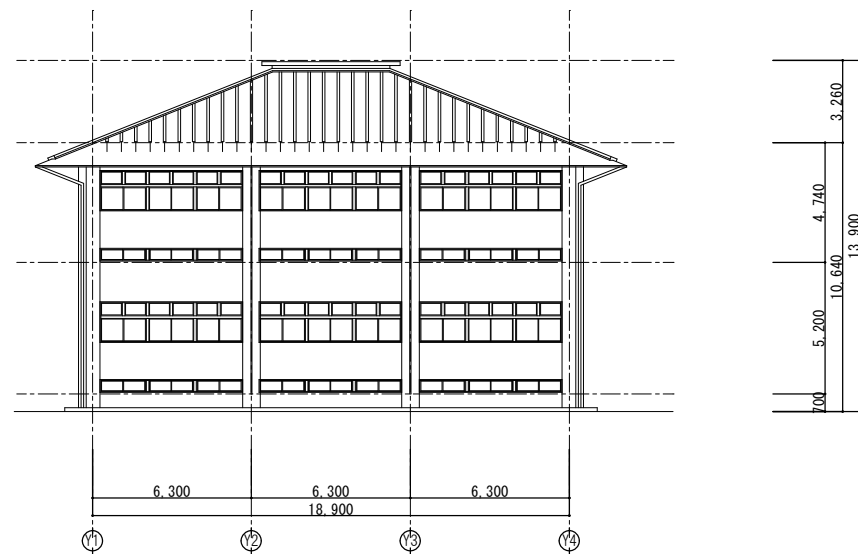


2階平面図 (改修後) S=1/100

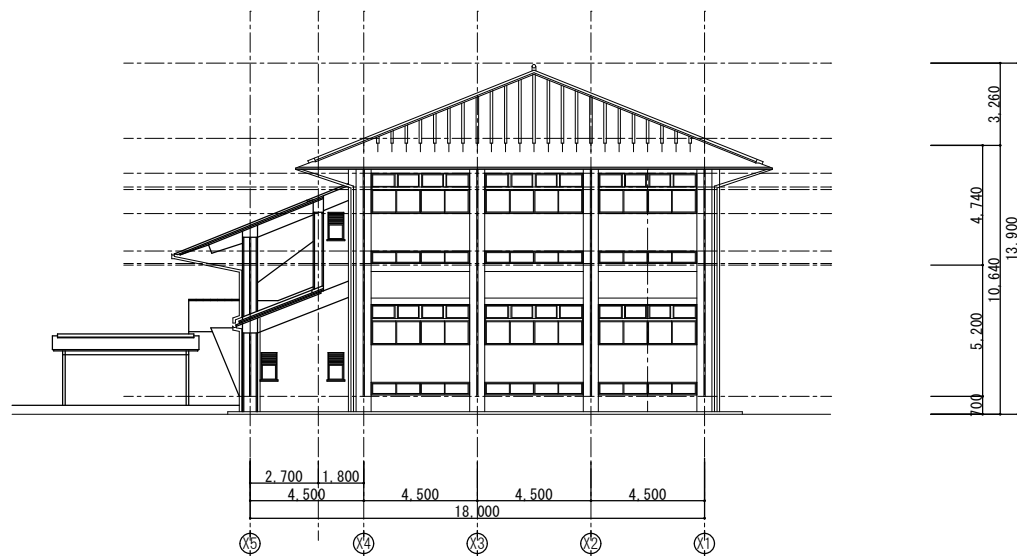
凡例 (改修後)	Ⓐ	空調取付用ブラケット 新設 (6箇所×2個組) D800×H300 L=50×50 t=40 SJP塗装 機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接 樹脂アンカー固定とする。	Ⓒ	【改修前】 ー 【改修後】 サイン 新設 (1箇所 2枚) ・ 297×420 アルミ複合板 t=3mm ・ インゲート印刷貼 角丸処理 ・ 非常時の機器等の操作方法を表示する
	Ⓑ	壁 下地・仕上 補修 (6箇所×2個分) ブラケット取付のため撤去した部分の補修とする。 RC躯体固定用ブラケットを避け、周囲を木製の 細見切り材 (CL塗装) 等により補修する。	Ⓓ	天井点検口 (1箇所) 450×450 アルミ製



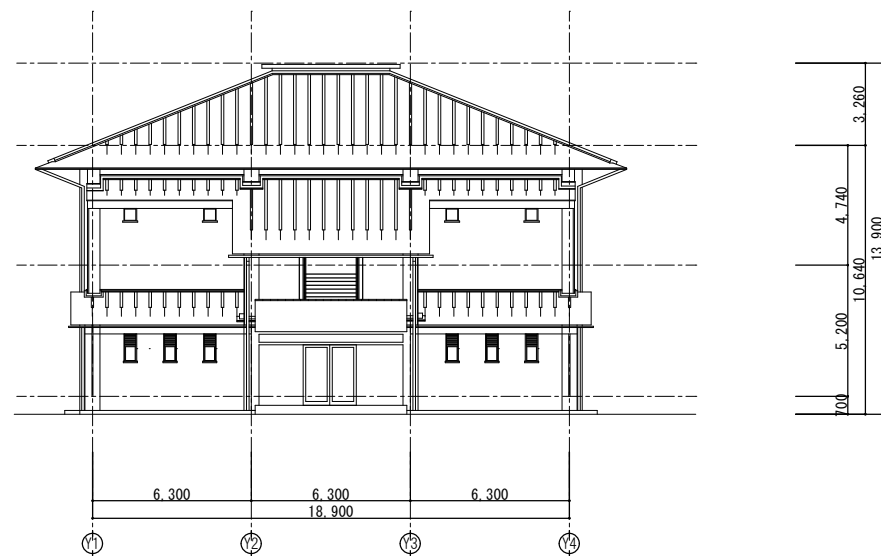
南側立面図（改修前・後）



西側立面図（改修前・後）



北側立面図（改修前・後）

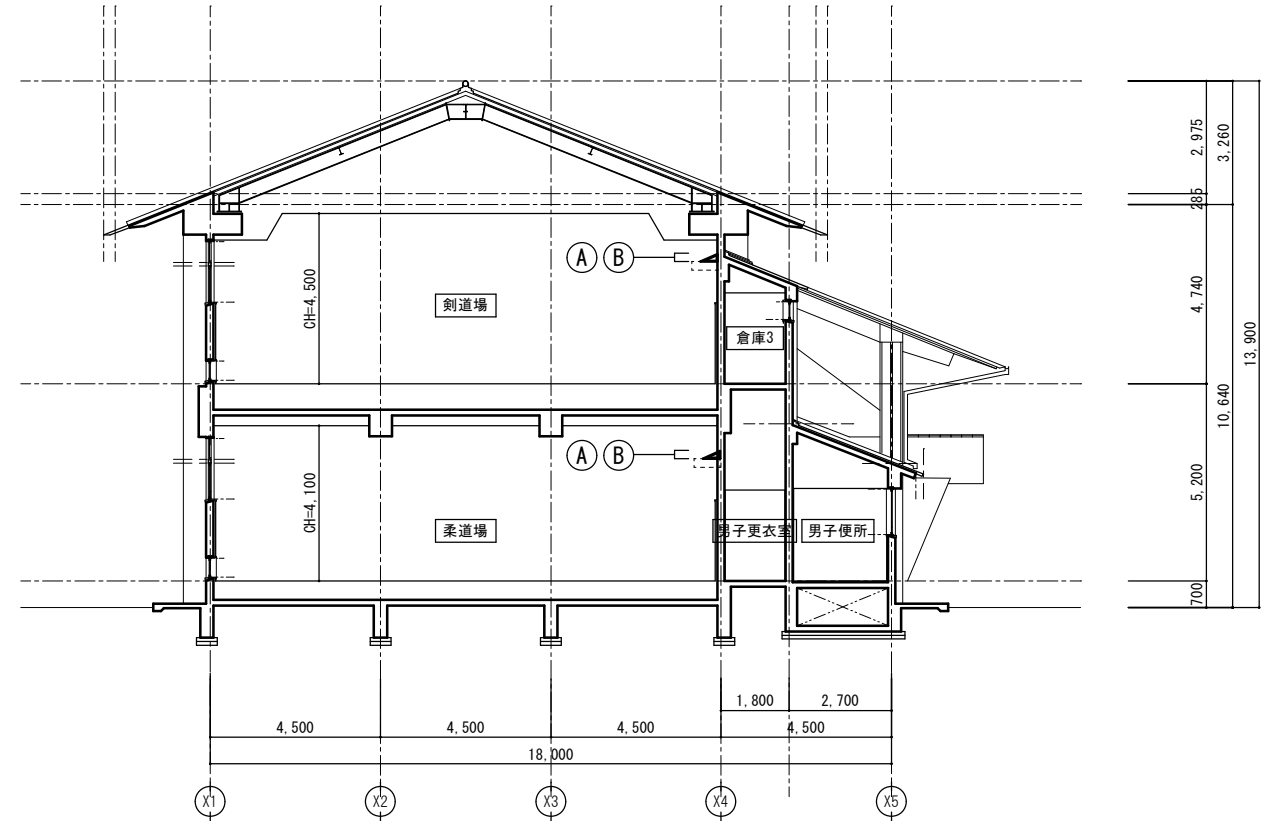


東側立面図（改修前・後）

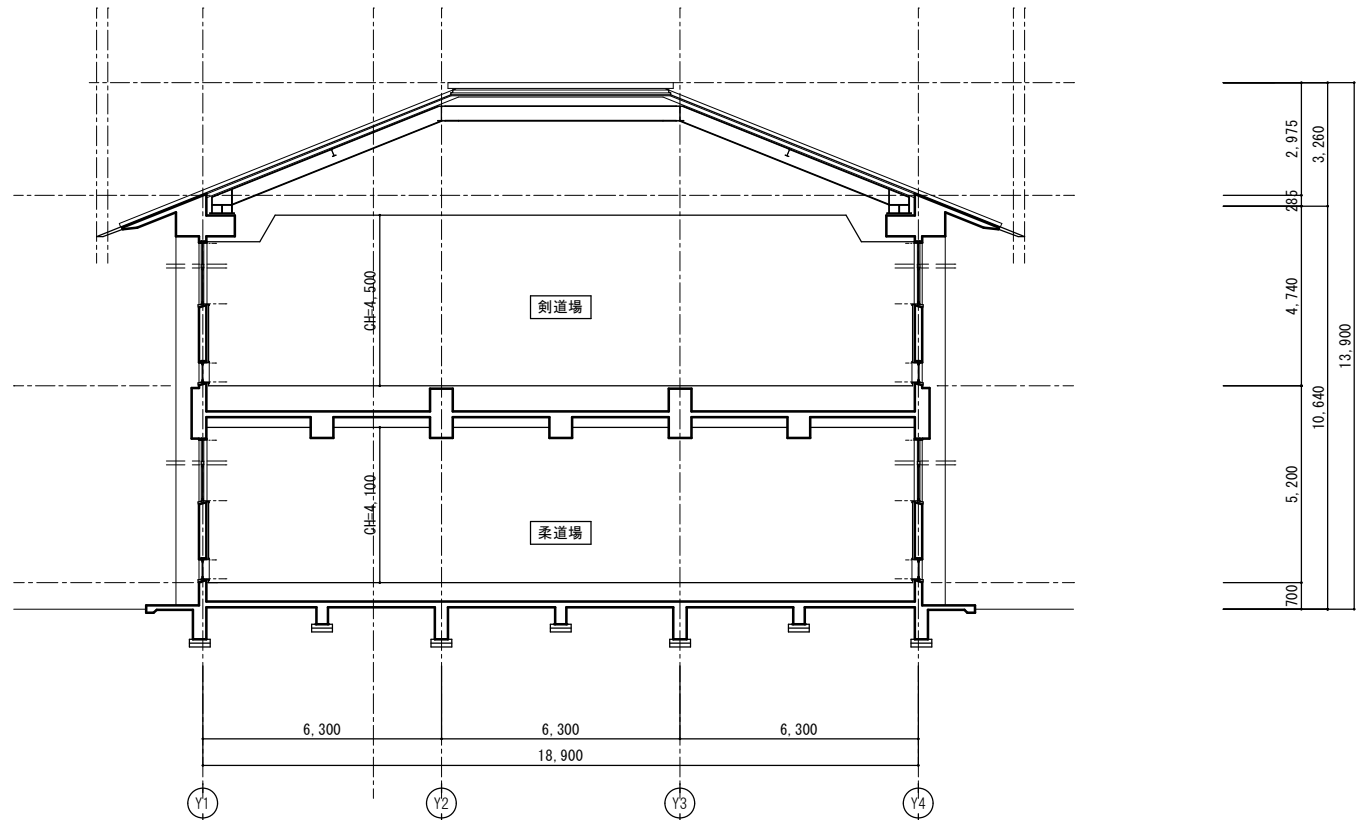
凡例（改修前・後）	A	【改修前】 — 【改修後】 GHP空調室外機置場 新設 ※外構図参照

工事名称	図面名称	A3 縮尺	No
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事	古賀北中学校 武道場 立面図（改修前・後）	—	A-5 1
		A1 縮尺 1:150	日付 2025年12月





断面図1 (改修前・後)



断面図2 (改修前・後)

凡例 (改修前・後)	①	【改修前】壁 下地・仕上 撤去 仕上げ撤去範囲は、ブラケット外形寸法に対し、周囲30～50mm程度のクリアランスを確保した範囲とする 【改修後】壁 下地・仕上 補修 ブラケット取付のため撤去した部分の補修とする。RC躯体固定用ブラケットを避け、周囲を木製の細見切り材 (CL塗装) 等により補修する。
	②	【改修前】— 【改修後】空調取付用ブラケット 新設 D800×H300 L=50×50 t=40 SOP塗装 機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接樹脂アンカー固定とする。



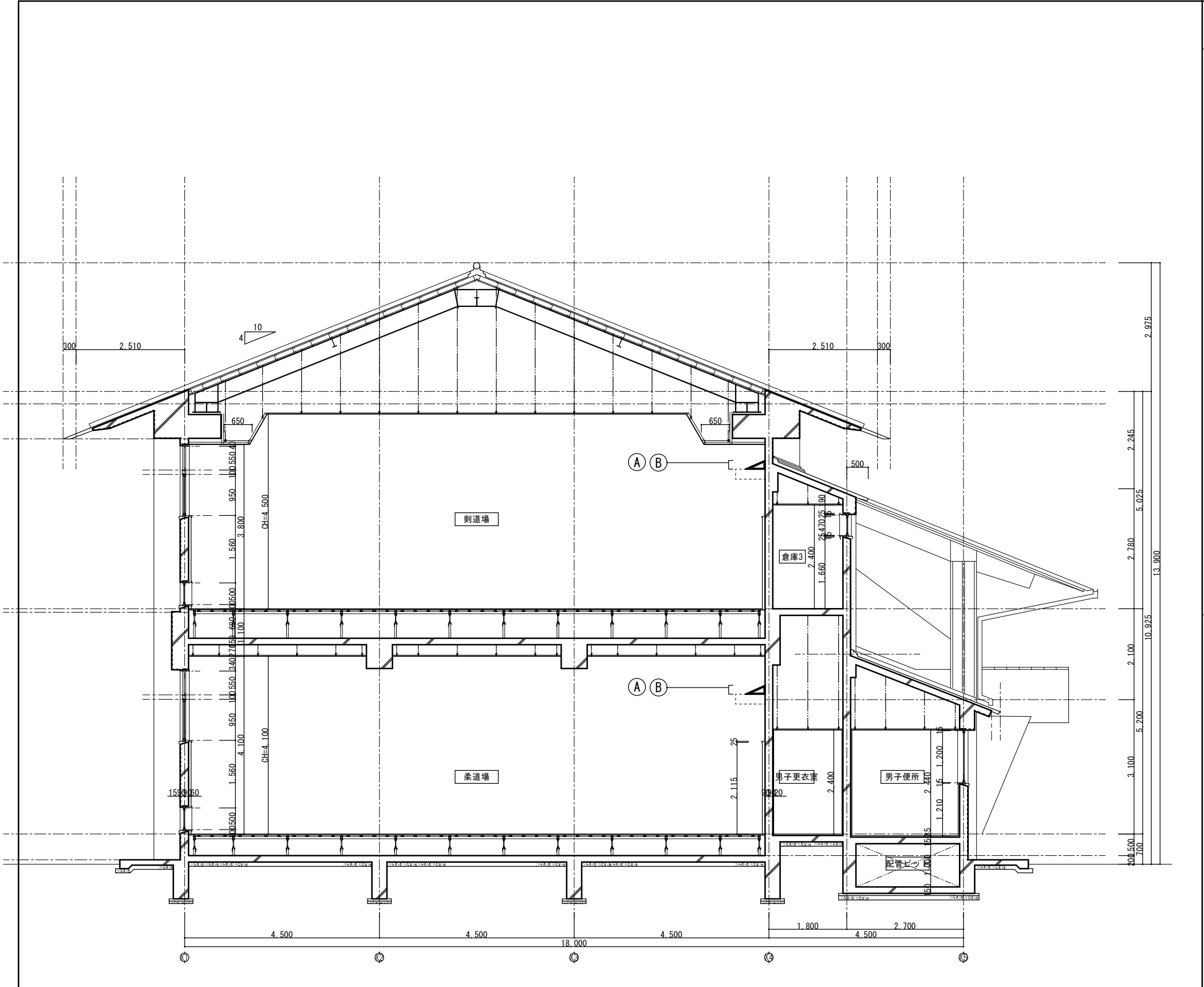
株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称
古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称
古賀北中学校 武道場
断面図 (改修前・後)

A3 縮尺	—	No	A-5 2
A1 縮尺	1 : 100	日付	2025年12月



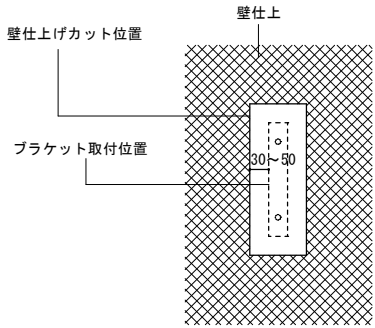
矩計図 S=1/30

凡例 (改修前・後)	①	【改修前】壁 下地・仕上 撤去 仕上げ撤去範囲は、ブラケット外形寸法に対し、周囲30～50mm程度のクリアランスを確保した範囲とする 【改修後】壁 下地・仕上 補修 ブラケット取付のため撤去した部分の補修とする。RC躯体固定用ブラケットを避け、周囲を木製の細見切り材 (CL塗装) 等により補修する。
	②	【改修前】— 【改修後】空調取付用ブラケット 新設 D800×H300 L-50×50 t=40 SOP塗装 機器重量及び作用荷重を考慮し、RC躯体に直接樹脂アンカー固定とする。

支持金物取付参考図

改 修 前

仕上げ撤去範囲は、ブラケット外形寸法に対し、クリアランスを確保した範囲とする

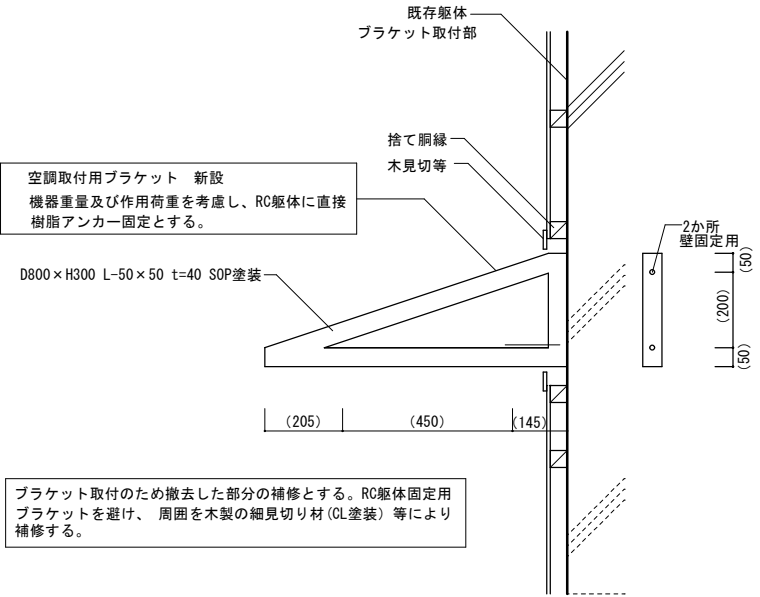


壁 下地・仕上 撤去

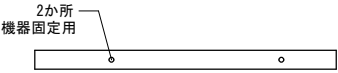
改修前 1/10

改 修 後

- ・必要に応じ、施工時にコンクリート引抜試験を行うこと
- ・必要に応じ、防振材を設置すること



ブラケット取付のため撤去した部分の補修とする。RC躯体固定用ブラケットを避け、周囲を木製の細見切り材 (CL塗装) 等により補修する。



改修後 1/10



株式会社 海 渡 設 計

神崎信二
一級建築士 第323073号
福岡県知事登録第1-30027号

工事名称

古賀東小学校他2校 体育館等 空調設備設置工事

図面名称

古賀北中学校 武道場
矩計図・支持金物取付参考図 (改修前・後)

A3 縮尺

—

No

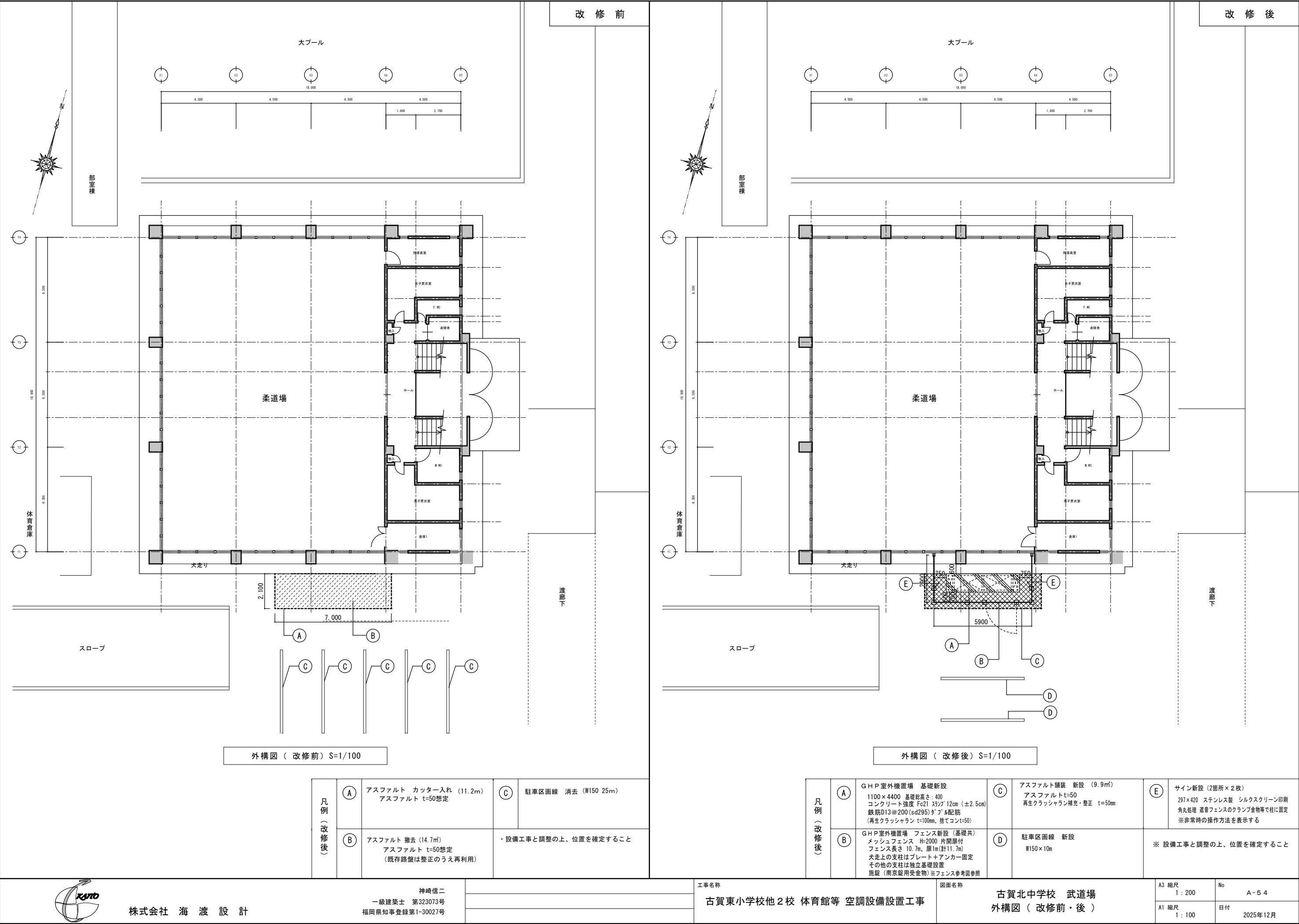
A-5 3

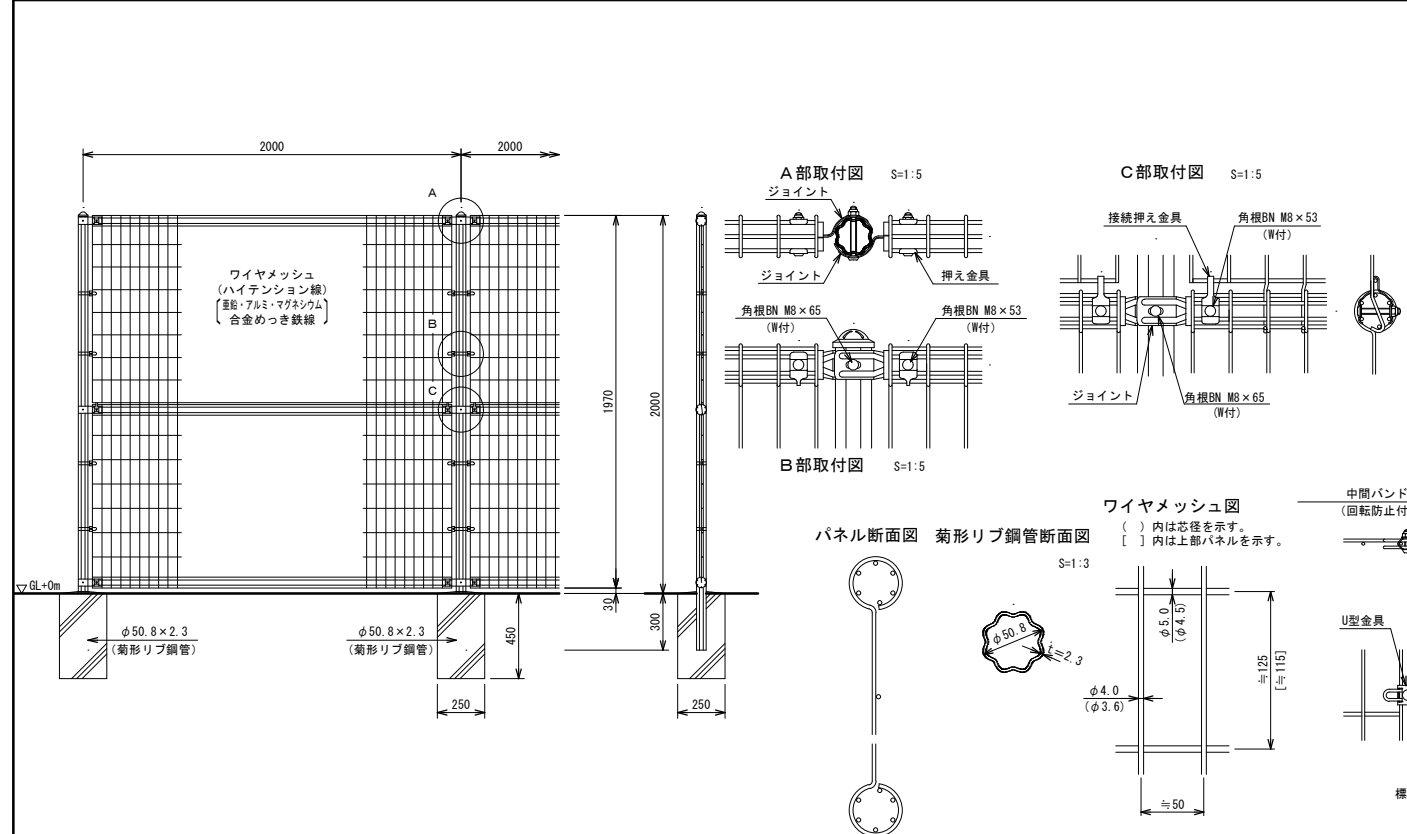
A1 縮尺

1 : 40

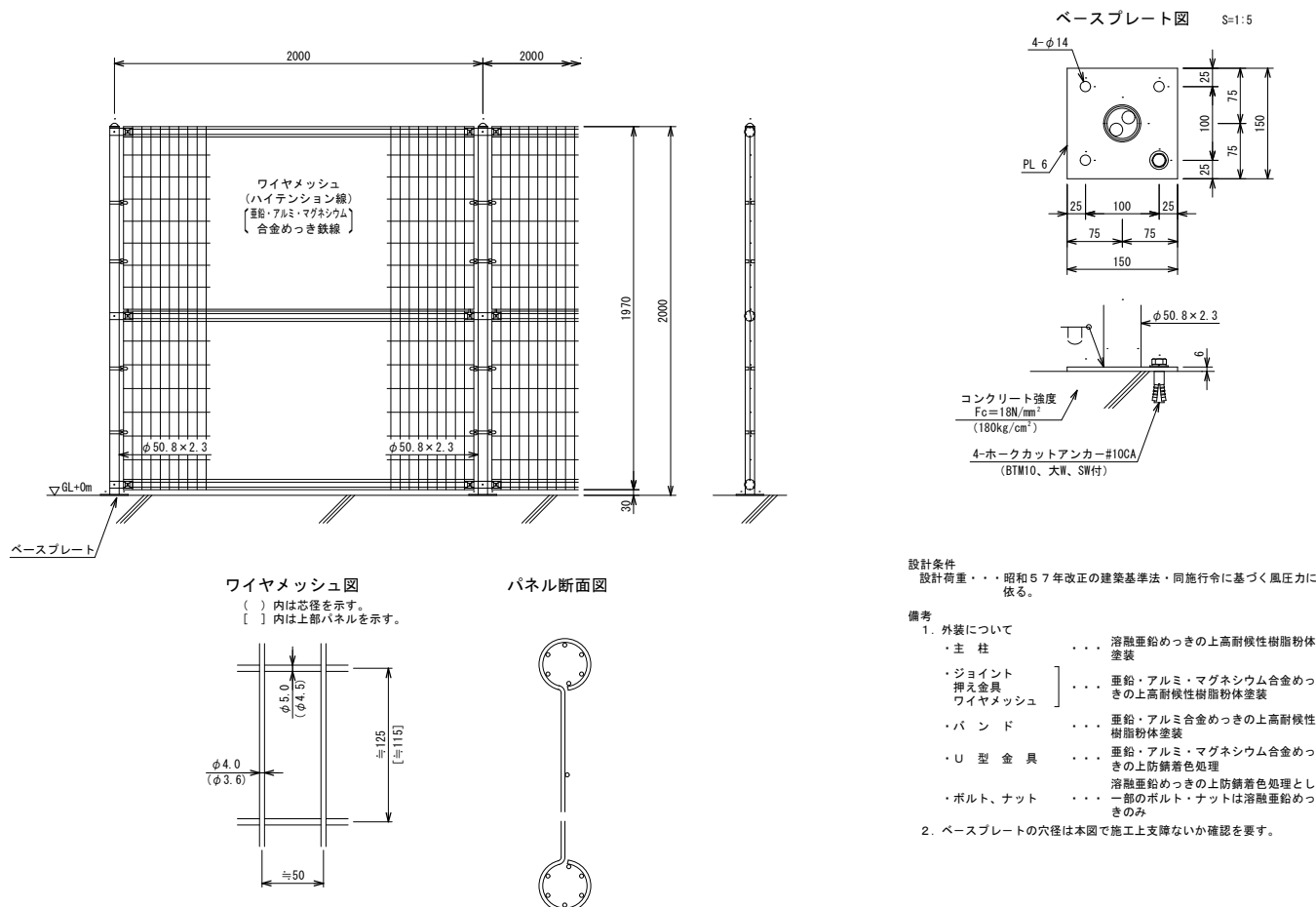
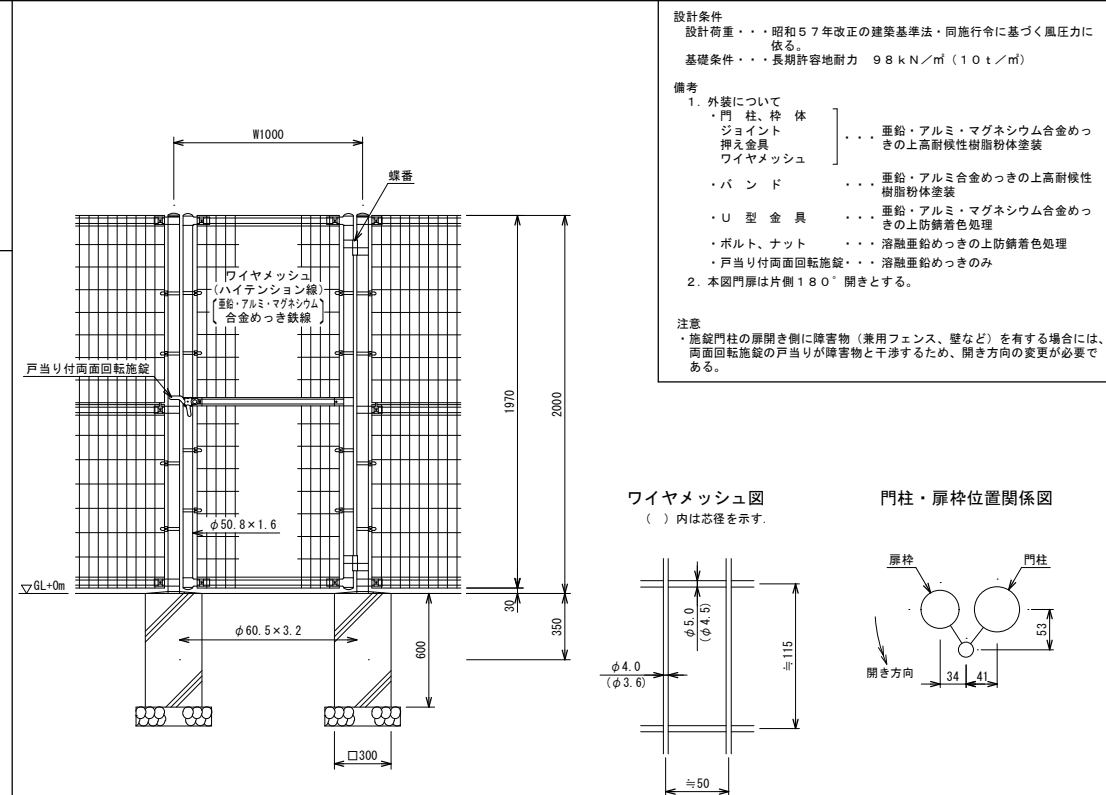
日付

2025年12月













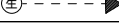
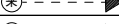


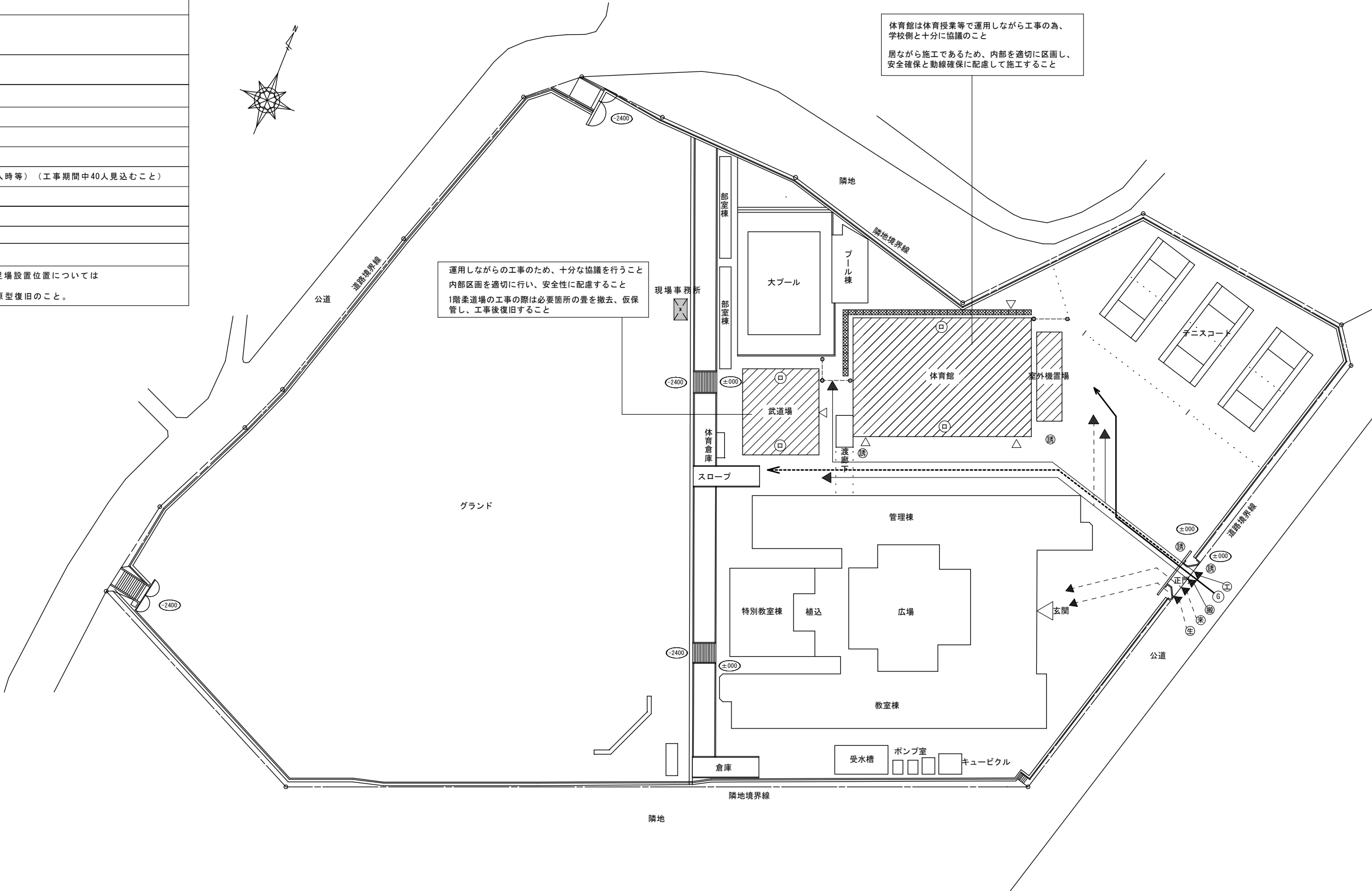
設計条件	
基礎荷重・・・昭和7年改正の建築基準法・同行施行に基く風圧力に依る。	
基礎条件・・・長期許容耐力 98 kN/m^2 (10 t/m^2)	
備考	
1. 外装について	
主柱、ジョイント 押入金具 ワイヤメッシュ	・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高防錆樹脂粉体塗装
パンド	・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高防錆樹脂粉体塗装
U型金具	・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
ボルト、ナット	・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理



設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

備考		
1. 外装について		
・主 柱	・・・	溶融亜鉛めっきの上下耐候性樹脂粉体塗装
・ジョイント 押入金具 ワイヤメッシュ	・・・	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上下耐候性樹脂粉体塗装
・パ ンド	・・・	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上下耐候性樹脂粉体塗装
・U 型 金 具	・・・	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上下防錆青化処理
・ボルト、ナット	・・・	溶融亜鉛めっきの上下防錆青化処理とし一部のボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上下のみ
2. ベースプレートの穴は本図で施工上支障ないか確認を要す。		

凡 例（仮設計画）		
外部足場		2段（H3600程度）
仮囲い		H=2000程度
ローリング足場		工事期間中配置
建物出入口		
高所作業車入場ルート		
LPガス搬入ルート		
現場事務所		
特記事項 現場事務所は10㎡程度とする		
凡 例		
	工事対象棟を示す。	
	既存建物	
	GLからのレベルを示す。	
	交通誘導警備員（資材搬出入時等）（工事期間中40人見込むこと）	
	工事動線を示す。	
	生徒及び職員の動線を示す。	
	来客の動線を示す。	
	搬入車輛出入口を示す。	
特記事項	工事用出入口位置及び作業時間、足場設置位置については学校と十分協議のこと。 工事完了時、作業場及び進入路は原型復旧のこと。	



配置図 S=1/500